

中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会（第26回）  
議事次第

平成21年11月10日（火）  
厚生労働省共用第8会議室

議 題

- 平成20年度診療報酬改定の結果の検証について
  - ・ 平成21年度特別調査について

平成20年度診療報酬改定検証調査(平成21年度調査)一覧

資料番号	調査名	主な調査項目	調査対象	調査実施時期
検 2-1	明細書発行の一部義務化の実施状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明細書の発行状況</li> <li>○明細書を発行出来る旨の周知の状況</li> <li>○実費徴収の有無・徴収額</li> <li>○明細書発行による患者の理解度及び満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 病院、一般診療所、歯科診療所、保検薬局、訪問看護ステーション</li> <li>○患者調査 施設調査で回答のあった各施設の患者</li> </ul>	平成21年7～8月
検 2-2	7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、並びに「地域連携クリティカルパス」に係る調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各施設における患者の入院元、退院先</li> <li>○各施設における患者の状態</li> <li>○在院日数及び総治療期間の変化</li> <li>○算定患者数や連携医療機関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 「亜急性期入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「地域連携診療計画管理料」、「地域連携診療計画退院時指導料」の届出病院、「一般病棟入院基本料」の7対1及び10対1入院基本料の届出病院</li> <li>○病棟調査 施設調査に回答のあった病院の亜急性期病室、回復期リハ病棟、一般病棟</li> <li>○病棟患者調査 対象病棟を平成21年6月に退院した患者(亜急性期病室は、入院中患者含む)</li> <li>○診療所調査 「地域連携診療計画退院時指導料」の届出診療所とそれ以外の有床診療所</li> </ul>	平成21年7～8月
検 2-3	回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された「質の評価」の効果の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設毎の入退院時の患者の状況</li> <li>○居宅等への復帰率、重症患者の受け入れ割合</li> <li>○リハビリテーション提供体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 「回復期リハビリテーション病院入院料」の届出保険医療機関</li> <li>○病棟調査 対象施設における届出病棟</li> <li>○退棟患者調査 対象施設において平成21年6月の1か月間に届出病棟を退棟した「回復期リハビリテーション病院入院料」を算定した患者</li> </ul>	平成21年7～8月
検 2-4	歯科外来診療環境体制加算の実施状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科外来診療時における偶発症等への対応状況</li> <li>○医科の医療機関との連携状況</li> <li>○医療安全に対する歯科医療機関の取り組み及び職員意識の変化</li> <li>○患者の安心感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 「歯科外来診療環境体制加算」の届出保険医療機関</li> <li>○患者調査 対象施設で「歯科外来診療環境体制加算」を算定した患者</li> </ul>	平成21年7～8月
検 2-5	ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における禁煙成功率の実態調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ニコチン依存症管理料」の算定回数</li> <li>○上記算定患者における指導終了9か月後の禁煙成功率</li> <li>○禁煙指導の体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 「ニコチン依存症管理料」の届出保険医療機関</li> <li>○患者調査 対象施設で平成20年6～7月の2か月間に「ニコチン依存症管理料」の算定を開始した患者</li> </ul>	平成21年7～9月
検 2-6	後発医薬品の使用状況調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○処方せん受付枚数、処方せんに「変更不可」と記された割合及び後発医薬品への変更枚数</li> <li>○後発医薬品に変更することによる薬剤料の変化</li> <li>○後発医薬品の使用に係る患者の意思表示の状況(「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など)と医療機関・薬局の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設調査 保険薬局、一般診療所、病院</li> <li>○医師調査 施設調査「病院」の対象施設に勤務する医師</li> <li>○患者調査 施設調査「保険薬局」の対象施設に調査日に来局した患者</li> </ul>	平成21年7～8月

診療報酬改定結果検証に係る調査（平成 21 年度調査）  
明細書発行の一部義務化の実施状況調査 結果概要(速報)

1. 目的

- ・ 保険医療機関等における明細書発行状況およびその変化の把握
- ・ 患者の明細書受領状況の把握
- ・ 患者の明細書発行に関する意識調査

2. 調査対象

■施設調査

- ・ 全国の保険医療機関等から無作為に抽出された 3,000 施設（病院 1,200 施設、一般診療所 800 施設、歯科診療所 600 施設、保険薬局 200 施設、訪問看護ステーション 200 施設）。

■患者調査

- ・ 施設調査で回答の得られた施設の患者を対象とし、1 施設につき無作為に抽出された患者、計 40,000 名（病院 20 名、一般診療所 10 名、歯科診療所 10 名、保険薬局 5 名、訪問看護ステーション 5 名）。

3. 調査方法

■施設調査

- ・ 自記式調査票の郵送配布・回収。
- ・ 調査時期は平成 21 年 7～8 月。
- ・ 施設の概況および明細書の発行状況等について調査した。

■患者調査

- ・ 自記式調査票を保険医療機関等から配布・郵送で事務局に直接回収。
- ・ 調査時期は平成 21 年 7～8 月。
- ・ 明細書の受領状況等について調査した。

4. 調査項目

■施設調査

施設属性項目	開設主体、承認の状況、病床数、患者数
事務処理の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医事関係の事務職員数</li> <li>・ 医事会計システムの稼働状況</li> <li>・ 請求方法</li> </ul>
領収証の発行状況	・ 1 カ月間の発行件数

明細書の発行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明細書発行一部義務化についての認知度</li> <li>・ 明細書発行一部義務化についての患者・職員への周知</li> <li>・ 明細書発行依頼頻度</li> <li>・ 明細書の発行状況</li> <li>・ 明細書の発行時期</li> <li>・ 一部の患者のみに発行している理由</li> <li>・ 1 カ月間の明細書の発行状況</li> <li>・ 領収証に占める明細書の割合</li> <li>・ 明細書発行のタイミング／記載内容／様式／作成方法</li> <li>・ 明細書の費用徴収の方法／費用</li> <li>・ 明細書を発行するようになってからの変化</li> <li>・ DPC 対象病院の状況</li> <li>・ 明細書を発行していない理由</li> <li>・ 明細書の発行依頼があった際の対応</li> <li>・ 明細書発行に関する今後の意向</li> </ul>
----------	---

■患者調査

患者属性項目	年齢、性別、かかりつけの状況、施設の利用状況／頻度、保険の種類
明細書受領状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 領収証の無料発行に関する認知度</li> <li>・ 領収証受領の有無</li> <li>・ 領収証の区分状況</li> <li>・ 領収証の分かりやすさ</li> </ul>
明細書発行に関する意識調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明細書発行の一部義務化に関する認知度</li> <li>・ 明細書発行について知ったきっかけ</li> <li>・ 明細書発行に関する案内を見た経験の有無</li> <li>・ 明細書受領の有無</li> <li>・ 明細書の発行を依頼した経験の有無</li> <li>・ 明細書発行時の医療機関の対応</li> <li>・ 明細書の分かりやすさ</li> <li>・ 明細書を受け取ってよかった点／不満であった点</li> <li>・ 明細書の形式</li> <li>・ 明細書発行に係る手数料</li> <li>・ 明細書に対する要望</li> <li>・ 明細書が治療内容の理解のために役立つか</li> <li>・ 明細書発行の希望の有無</li> </ul>

5. 結果概要

(1) 回収状況

・ 回収状況 (図表 1-1)

調査票	有効回収数	回収率
施設調査票	1,039	34.6%
病院	445	37.1%
一般診療所	189	23.6%
歯科診療所	241	40.2%
保険薬局	95	47.5%
訪問看護ステーション	69	34.5%
患者調査票	3,718	
病院・一般診療所	2,779	
歯科診療所	694	
保険薬局	143	
訪問看護ステーション	102	

※平成 21 年 9 月 30 日現在の状況

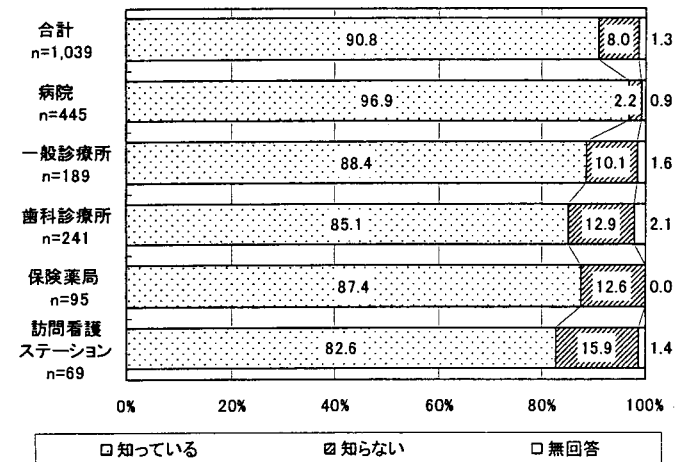
(2) 施設調査

・ 1ヶ月間の領収証の発行状況 (図表 2-1)

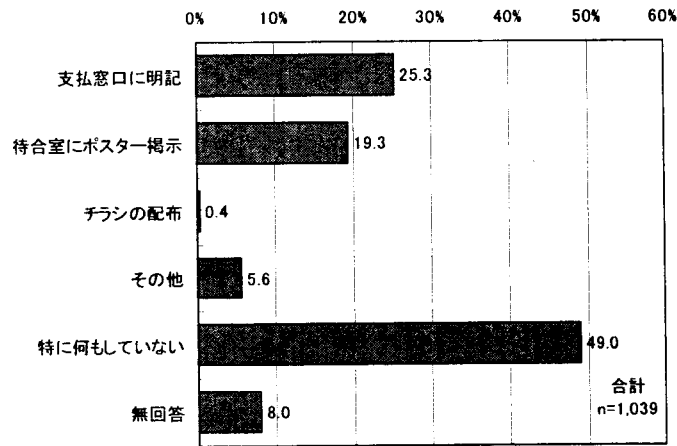
合計	中央値	平均値	標準偏差
病院 (n=420)	1,973	6,451.9	10,516.7
一般診療所 (n=174)	846	1,069.6	943.3
歯科診療所 (n=217)	420	468.8	325.6
保険薬局 (n=87)	774	901.2	747.2
訪問看護ステーション (n=67)	7	12.6	15.2
入院	中央値	平均値	標準偏差
病院 (n=420)	180	487.2	1,008.6
一般診療所 (n=19)	10	18.0	29.9
外来	中央値	平均値	標準偏差
病院 (n=420)	1,773	5,962.0	9,933.3
一般診療所 (n=174)	839	1,067.6	942.9
歯科診療所 (n=217)	420	468.8	325.6

※外来部分に記載のある票についてのみ集計

・ 明細書発行一部義務化についての認知度 (図表 2-2)

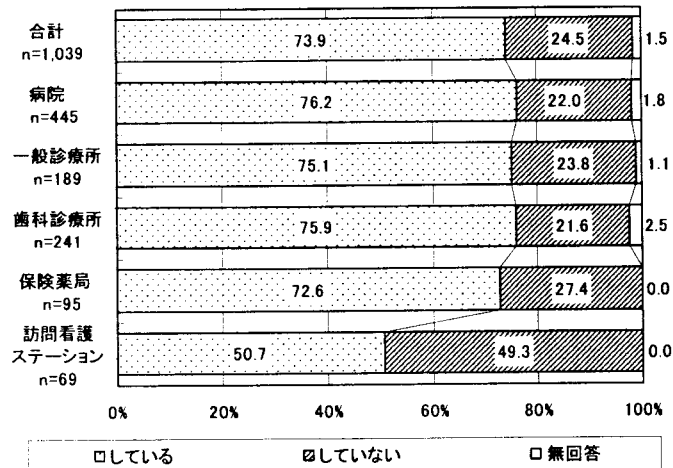


・ 明細書発行一部義務化についての患者への周知方法（図表2-3）：複数回答

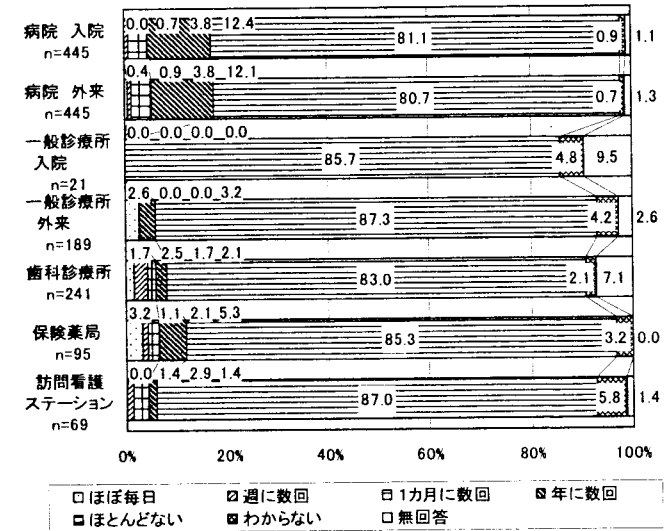


その他の内容としては、「入院案内、契約時の重要事項説明書に記載」「口頭で説明」「今後対応予定」となっている。

・ 明細書発行一部義務化についての職員への周知（図表2-4）

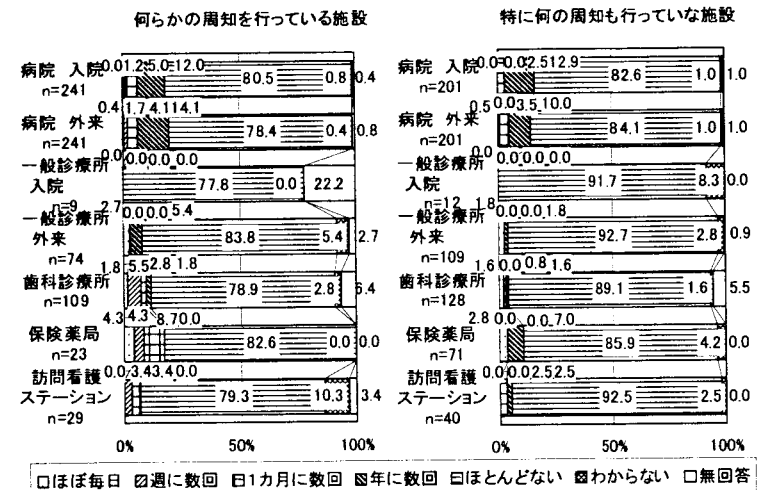


・ 明細書発行依頼頻度（図表2-5）

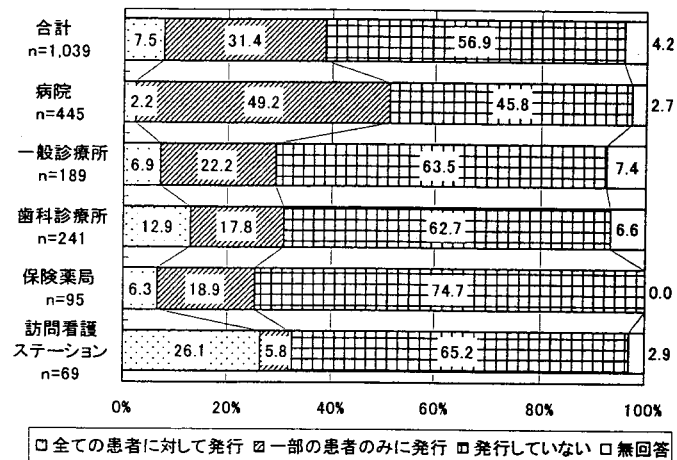


※一般診療所は、入院については有床診療所のみ、外来については有床診療所、無床診療所をあわせた集計

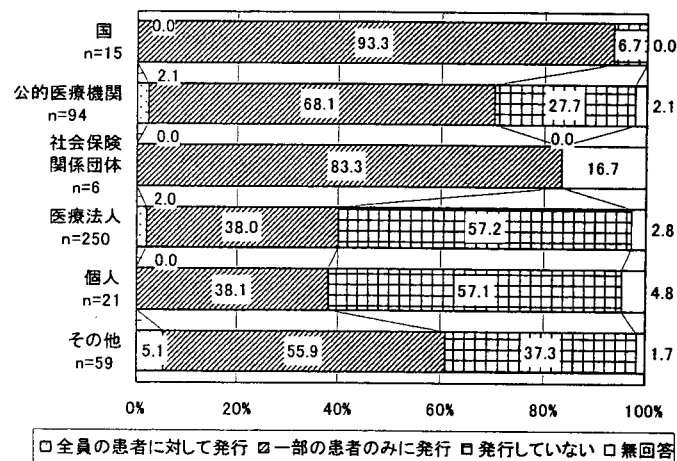
＜患者への周知の有無別にみた明細書発行依頼頻度＞



明細書の発行状況（図表2-6）



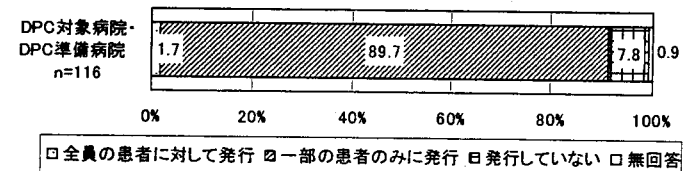
<開設者別>



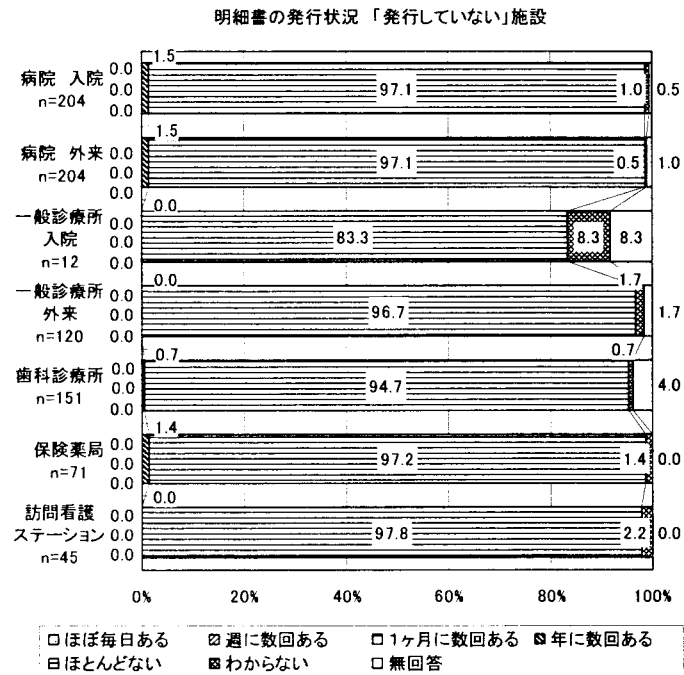
※開設者の内訳は以下の通り

国	厚生労働省, 独立行政法人国立病院機構, 国立大学法人, 独立行政法人労働者健康福祉機構等
公的医療機関	都道府県, 市町村, 地方独立行政法人, 日赤, 済生会, 北海道社会事業協会, 厚生連, 国民健康保険団体連合会等
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会, 厚生年金事業振興団, 健康保険組合, 共済組合, 国民健康保険組合等
医療法人	
個人	
その他	公益法人, 学校法人, 社会福祉法人, 医療生協, 会社等

<DPC対象病院・DPC準備病院>



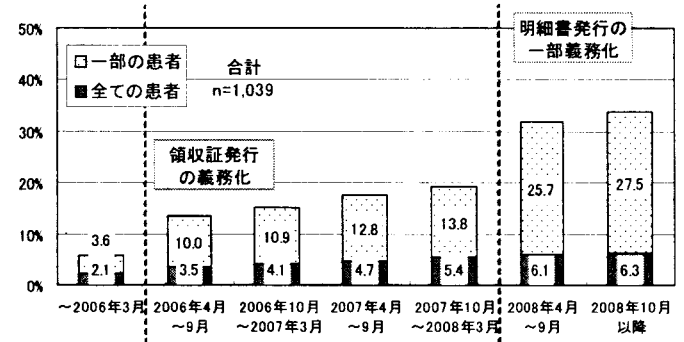
<明細書の発行していない施設における明細書発行依頼頻度>



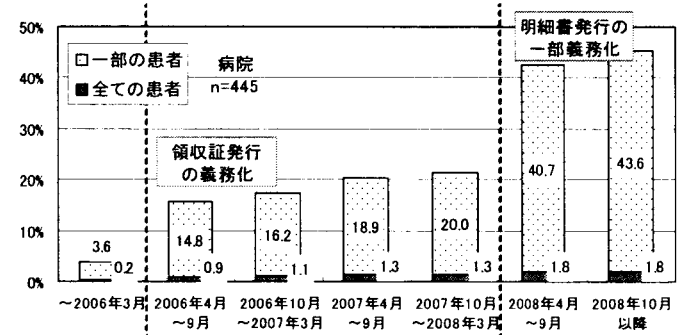
※一般診療所は、入院については有床診療所のみ、外来については有床診療所、無床診療所をあわせた集計

・明細書の発行時期 (図表2-7)

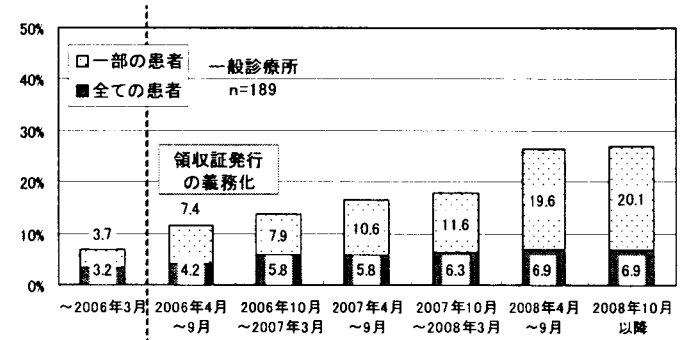
<合計>



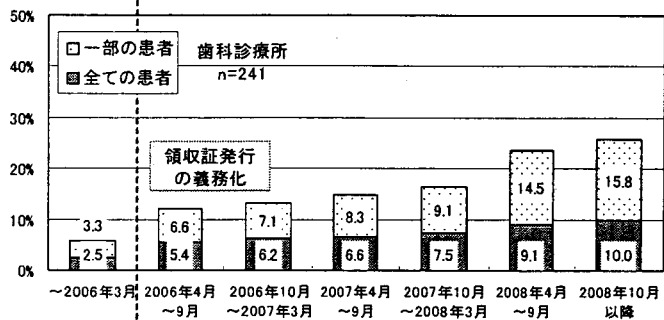
<病院>



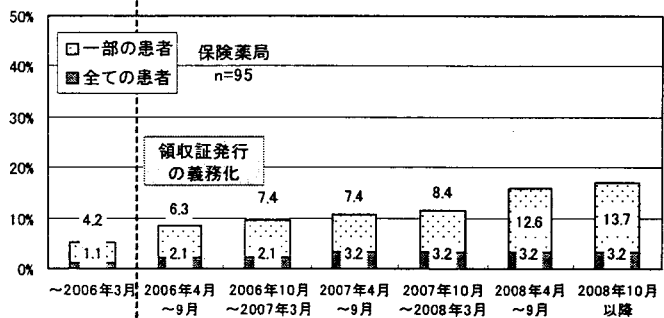
<一般診療所>



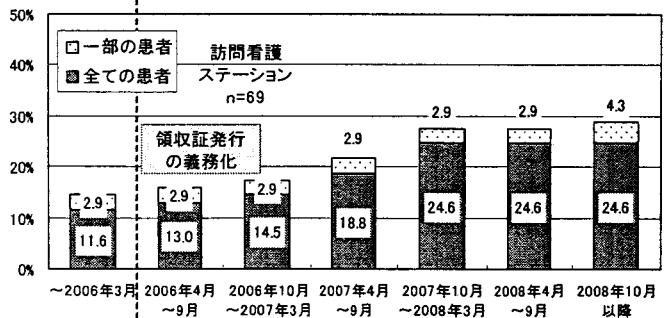
<歯科診療所>



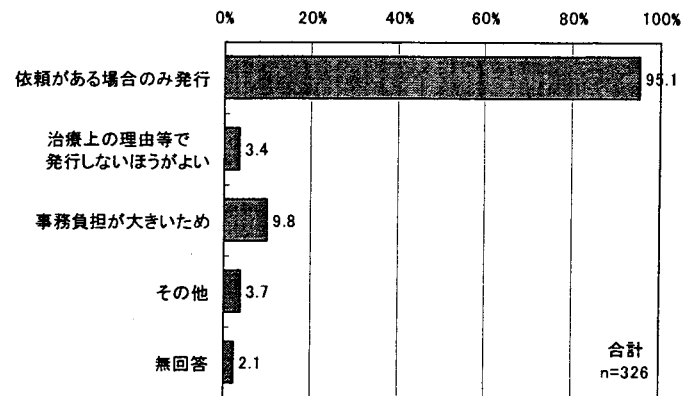
<保険薬局>



<訪問看護ステーション>



一部の患者のみに発行している理由 (図表2-8): 複数回答



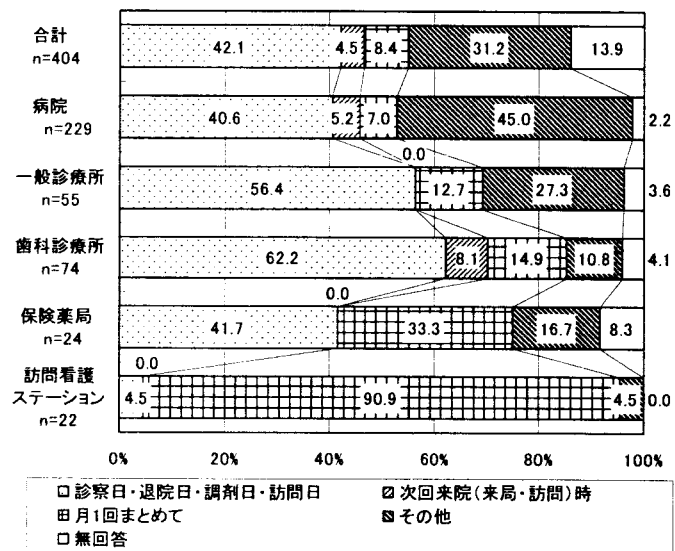
1ヵ月間の明細書の発行状況 (図表2-9)

施設	合計	中央値	平均値	標準偏差
病院	(n=222)	0	150.7	1,475.1
一般診療所	(n=52)	0	199.7	610.5
歯科診療所	(n=67)	0	158.6	279.4
保険薬局	(n=21)	0	109.1	370.4
訪問看護ステーション	(n=22)	7.5	9.7	9.1
<b>入院</b>				
病院	(n=222)	0	16.7	125.6
一般診療所	(n=8)	0	0.3	0.7
<b>外来</b>				
病院	(n=222)	0	134.0	1,359.1
一般診療所	(n=52)	0	199.7	610.5
歯科診療所	(n=67)	0	158.6	279.4

※入院もしくは外来部分のいずれかに記載のある票についてのみ集計



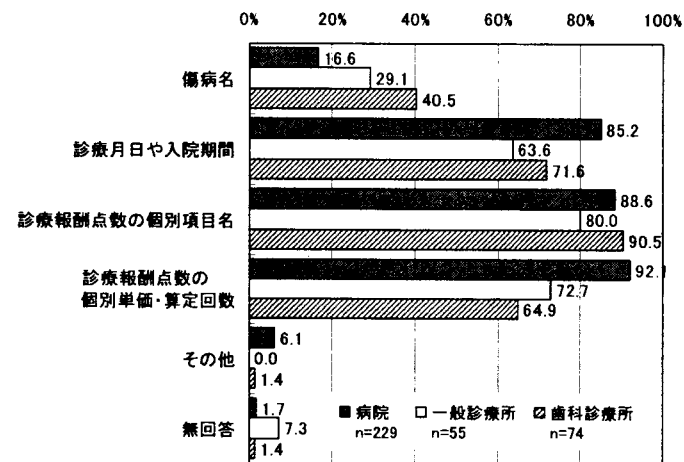
・ 明細書発行のタイミング (図表 2-10)



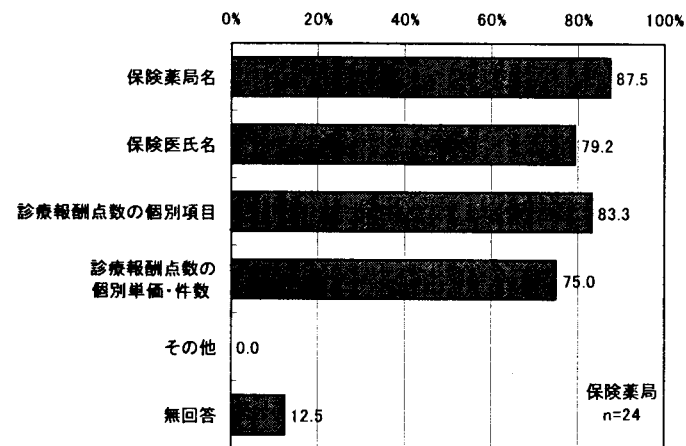
その他の内容	
依頼、希望があった時	74件
定期的	5件
原則、患者様と相談し決定	1件
ケースバイケース	3件
会計支払い時	7件
必要時に発行	3件
その他	4件

・ 明細書の記載内容 (図表 2-11)

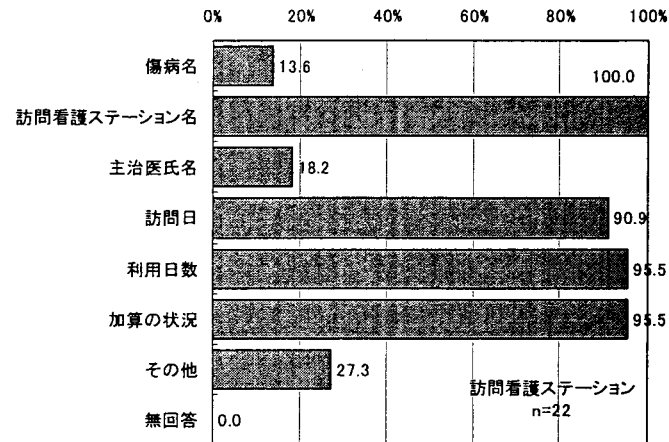
< 病院・一般診療所・歯科診療所 >



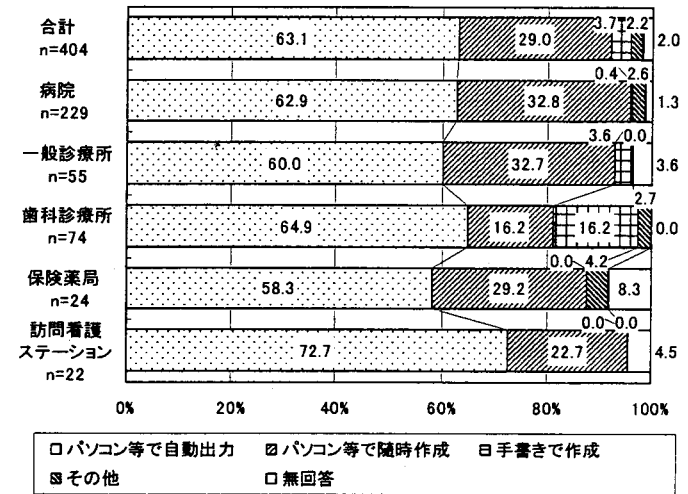
< 保険薬局 >



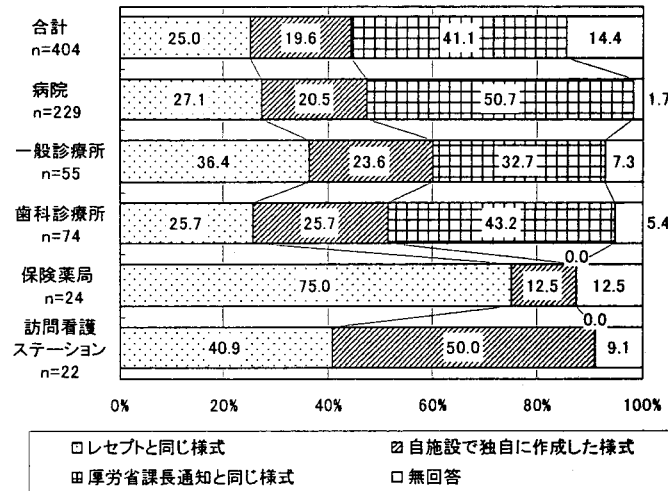
＜訪問看護ステーション＞



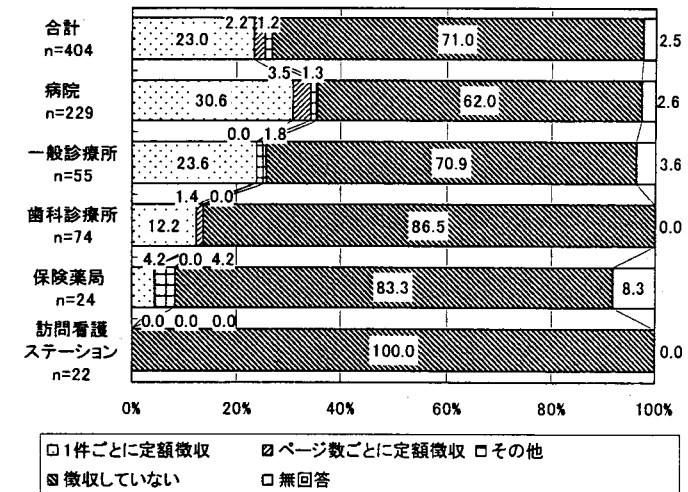
・ 明細書の作成方法 (図表 2-13)



・ 明細書の様式 (図表 2-12)



・ 明細書の費用徴収の方法 (図表 2-14)



・ 明細書の費用 (図表 2-15)

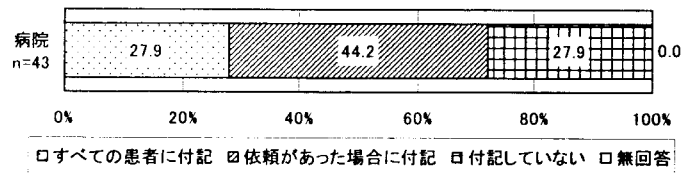
<費用徴収している施設のみ>

	最大値	最小値	中央値	平均値	標準偏差
合計 (n=98)	3,000	10	460.0	527.6	578.8
病院 (n=73)	2,100	10	50.0	452.2	385.4
一般診療所 (n=13)	3,000	100	500.0	675.8	785.3
歯科診療所 (n=10)	3,000	30	307.5	849.5	1,171.9
保険薬局 (n=2)	1,050	360	705.0	705.0	487.9
訪問看護ステーション (n=0)	-	-	-	-	-

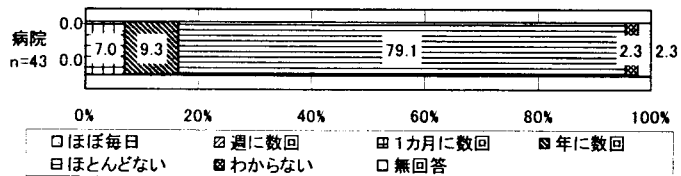
<費用徴収していない施設を含む>

	最大値	最小値	中央値	平均値	標準偏差
合計 (n=404)	3,000	0	0.0	134.3	370.9
病院 (n=229)	2,100	0	0.0	153.5	309.9
一般診療所 (n=55)	3,000	0	0.0	168.9	482.1
歯科診療所 (n=74)	3,000	0	0.0	114.8	504.8
保険薬局 (n=24)	1,050	0	0.0	64.1	233.2
訪問看護ステーション (n=22)	0	0	0.0	0.0	0.0

・ DPC対象病院の状況<DPC明細書への検査や薬剤名の付記> (図表 2-16)

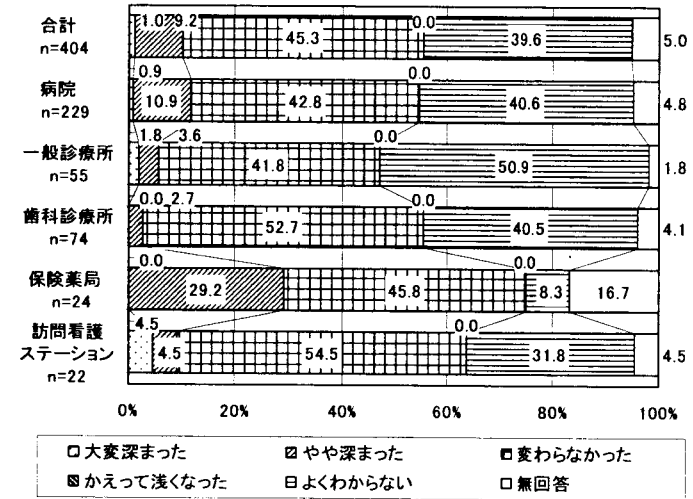


・ DPC対象病院の状況<DPC明細書への検査や薬剤名の付記の依頼の頻度> (図表 2-17)

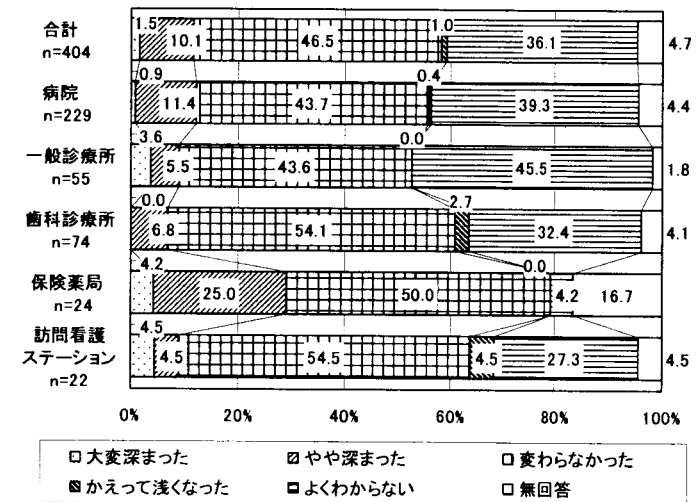


・ 明細書を発行するようになってからの変化<患者の医療内容への理解>

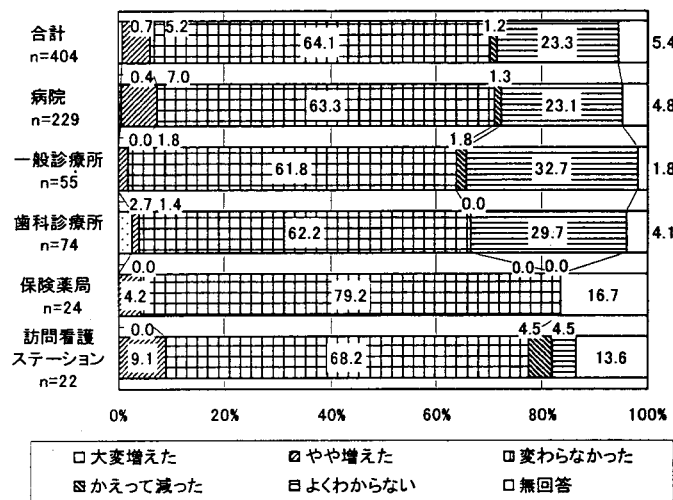
(図表 2-18)



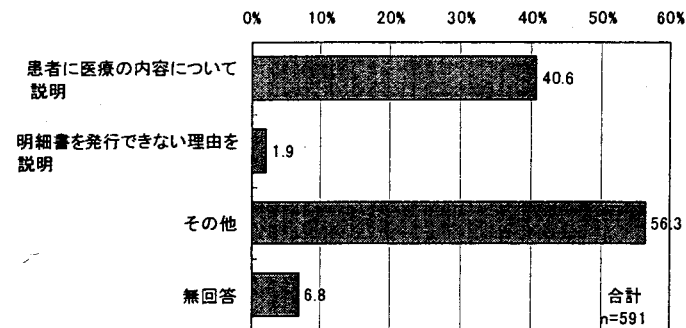
・ 明細書を発行するようになってからの変化<患者との信頼関係> (図表 2-19)



・ 明細書を発行するようになってからの変化<患者からの問い合わせ>  
(図表 2-20)

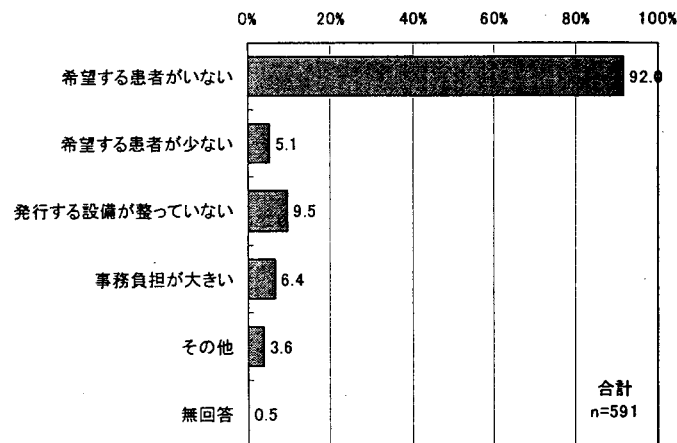


・ 明細書の発行依頼があった際の対応 (図表 2-22): 複数回答

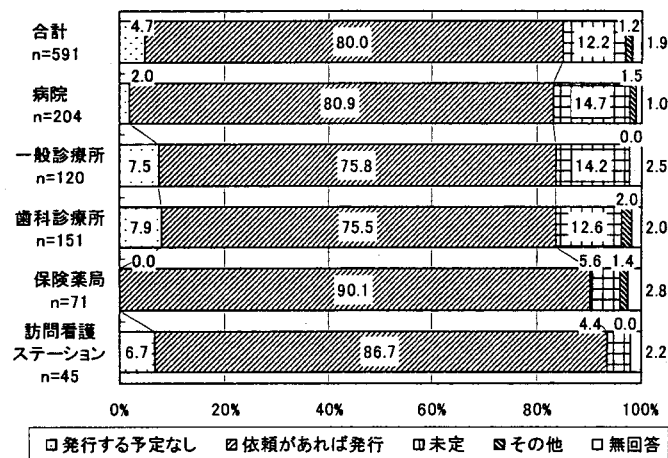


その他の内容	
発行する、依頼・希望があれば発行、説明する、発行する準備は整っている	216 件
依頼がない	81 件
システム、レセプト、領収証で対応	22 件
検討中、今後、発行していく予定	6 件
何もしていない、対応策がわからない	3 件

・ 明細書を発行していない理由 (図表 2-21): 複数回答  
<合計>



・ 明細書の今後の発行意向 (図表 2-23)



・ 領収証・明細書の発行等に関する主な自由回答意見

領収証について良かった点	
病院	保険負担分と自費(保険外)分が区分され見やすい。
	金額及び内訳について、領収証ならびに明細書の内訳を示しながら説明が出来る。
	以前より領収証の発行は行っていたが、医療費の内訳がわかるものという指定になってから見やすくなり、患者からの問い合わせが少なくなった。
	レセプトとの整合性(表示区分)がとれているので、保険請求部門としては理解しやすい。
	治療内容の説明がしやすい。
	領収証に番号入力されている為、控えが残るので紛失、廃棄がしっかりと確認出来る
	「義務づけられた様式の領収証です」という説明で納得してもらえる。
	未収金等がなくなった。
	診療内容説明の際、各項目ごとに説明できるため、理解を得易い。・高額療養費の申請にそのまま利用してもらえる
	それぞれ項目別になっているので、レシートのみでの発行よりも患者様に費用の自覚が出てきていると思われる。また、別途、領収証作成が必要なくなった。
一般診療所	保険分、保険外診療分が明確になる。高額な請求になった場合、検査、処置、手術分について点数の内訳が解かりやすい。
	明瞭会計で検査がやりやすくなった。
	患者さん自身が自分の使っている医療費のことを理解できる
	手書きだと、各項目ごとに詳しく記載できなかったが発行する事により詳しく表示されるのですかった。
歯科診療所	患者が治療についてお金がかかることをきちんと意識するようになった。
	年末のまとめでの領収発行がなくなった。
	医療費の透明性が明らかになり、患者から信頼されている。
	患者がコストを感じるようになった。
	以前は問い合わせがあったが、現在、ほとんど皆無になった。
	手書きしなくてよくなった。
保険薬局	治療の内容がわかり、特に訪問診療のように家族が治療現場にいないとき説明しやすい。
	収支がはっきりわかる。
	年度末に年度の領収証を発行することがなくなった。
	簡単な説明を求めている患者様には明細書ではなく領収証で対応できる。
	詳細が表示されたので薬代と技術料とが明確に判る様になりました。
訪問看護ステーション	手帳や情報提供にお金がかかっていることが周知された。
	請求内容の内訳が明確のため説明がしやすい。
	高額医療の方には薬剤料がいかに高いか認識してもらえて良かったと思う。
	薬剤料が明示してあるため、後発品変更のお話がしやすくなりました。患者さまも自身のお薬の料金がわかるため、医療費への関心が高まった気がする。
患者から代金についての問い合わせがあった時、医療費の内訳が記載されている領収証であるため、説明しやすかった。	
訪問日、利用料金が明確に記されているので問い合わせがなかった。領収証を渡す時に説明しやすいこと。	
訪問看護料金の内容を理解していただけるので良い。	

領収証について困った点	
病院	領収証発行によるコスト増。
	DPCの診療費について説明を求められた際に包括払いと出来高払いの違いについて説明をする必要もあり、なかなか理解してもらえず、窓口で大変苦労した。
	患者からの項目の点数や料金(特に入院費用)の問合せや質問が増えている。
	請求内容が分かりやすくなった反面、内容についての問い合わせ、クレーム等が増えた。
	説明が大変である。実際と項目名の説明が大変。(処置、手術、輸血名、医学管理等) 初診料、再診料の定義の説明を求められて、困った。
	領収証の控えの保管場所に困っている。
	説明の時間がかかる。
	時間がかかる。導入コストが大きかった約600万円
	事務職員の負担の増加。患者の待ち時間の増加。
	検査から、病理が分かれたりと、マイナーチェンジする度に医療機関にシステム整備負担がかかる点。また管理料となるもの(検査なの)の説明等で、たいへん手間がかかる。
一般診療所	用紙が大きい。
	歯科などの50円未満の領収証でも発行しているので、「資源(紙)のムダ遣いだ」と患者さんに言われる。
	保険請求上、どうしても診察日より後に発生する料金(感受性検査等)があり、患者に対して改めて説明を行い理解して頂かなければならず、この点の改善を求めたい。
	毎回発行するか紛失されるため再発行等の依頼が増えた。
	項目が一般の患者には理解し難い。
	外来管理加算や医学管理料の費用請求について説明の求めがあった場合、説明をしても理解がなかなか得られず、不満の声が多い。
	わかりやすくなった反面、負担金に関して、シビアになった方も多く、窓口で質問される事もしばしば。その際に専門用語を使って説明しても、理解されず、説明に苦慮する事もある。
	小児科外来診療料の様な包括点数の場合、指導料区分の1ヶ所のみで、内訳の説明を余計にしなければならない。
	子供が破ったり、紛失したりして再発行を年末に求められる場合。
	レセプト発行の時に内容の間違いがあった場合患者さんに発行した点数と正しい点数に違いが出る
歯科診療所	患者が各項目の内容をよく理解できない。
	用紙代がかかる。手間もかかる。
	公費で上限負担がある場合、明細書を発行できない。
	用紙が大きすぎる。
	紛失して確定申告前に1年分請求される点。
	複雑な診療報酬体系の中で名前をつけた項目名に説明を求められても事務員が説明に窮する場合があった。(何故、前回と点数が違うのか?) 領収証を受取らない患者が必ず何名かいる。
患者さんに領収証を受け取って貰えないことがある紙が勿体無いとよく言われる。不要な方が多くゴミが増えた。	
一般診療所	受付の前のゴミ箱に捨てていく人が多い。必要な人のみでも良いと思う。
	用紙代がかかる。控をとっておくのに量が多かきさばるためスペースに困る。
	事務負担が大きい。
	行政が定める領収証なのであれば無償で医療機関に提供し徹底すべきと思う
	発行が義務づけになった当初、レセコンの入れ替えしなければならず、導入のための費用がかかった。
患者さんが領収証をなくされた場合の再発行の場合の対応。	

領収証について困った点	
	指導料、管理料など患者さんには理解しづらいと思う。月に1回だけ算定することなど患者さんに説明しにくいと思う。
	発行後、誤請求、請求漏れが生じた場合、領収証の金額、請求点数を実際の額、点数の間に違いが生じる。
	時間がかかるので診療時間が減った。
	受付対応時間が増え、待たせるようになった。
	再診料のみで終るケースや簡単な処置で終るケースではこの様式の領収証では紙が大きすぎるし不便です。
	未来院補綴物を装着した時、領収証の内容について説明の必要がある(前回未収金と印刷される為)
	必要のない患者様も沢山いて、紙・インクetcの無駄にならないか、もったいないと思うことがある。
保険薬局	薬学管理料について患者様に理解してもらえなかった時があり、必要ないとの指摘を受けることが時々ある。
	基本調剤料や調剤料の内容が複雑で説明するのが難しかった。
	詳しい表示になったため一つ一つ説明を求められ、薬代以外は不当であるとクレーム付けられようになった。
	不要の患者様に対する対応と署名していただく時間理解していただくための説明に要する時間が負担。
	薬局によって支払い金額が異なる事について理解が得られにくい。
	紙が大きい、1枚がB5の大きさ。
訪問看護ステーション	実際には訪問料は高いんだと、回数を減らす希望があった。
	単位数＝金額にならない。
	年末税金控除の為、年間まとめて記入してほしいと頼まれる事がある。
	様々な管理費や加算があり、領収証をみせられただけでは「何のことが判らない」と利用者家族に云われたことがある。

明細書について良かった点	
	従来は明細を求められた時には、レセプト発行の手続きを取っていたが明細書発行により、手続きが容易になった。
	患者さんに治療内容の説明をする際に点数含めて説明できる。
	診療内容について説明がしやすい。
病院	以前より患者様から依頼があれば手書きしていた。レセコンで発行できるようになり、すぐ対応できるようになったので良かった。
	患者が支払う一部負担金の金額に納得いただける。
	患者様の疑問点に対し説明しやすくなった。
	納得していただく事が増えた。
	自分の疾患に対する費用を自覚していただき、患者も医療者側も信頼関係がつけれる。
	カルテ開示未済の患者さんの希望に添える。
一般診療所	診療内容を理解してもらえた。
歯科診療所	より詳細な内容を知りたい方に十分な情報提供を行えるようになったこと。
保険薬局	患者さん自身が自分の医療費の総額を理解するようになった。(窓口で支払額が自分にかかった医療費と勘違いしている人がいた。)
訪問看護ステーション	自分が受けたケアについて納得していただける。不明な点についてはその都度説明し、理解していただける。

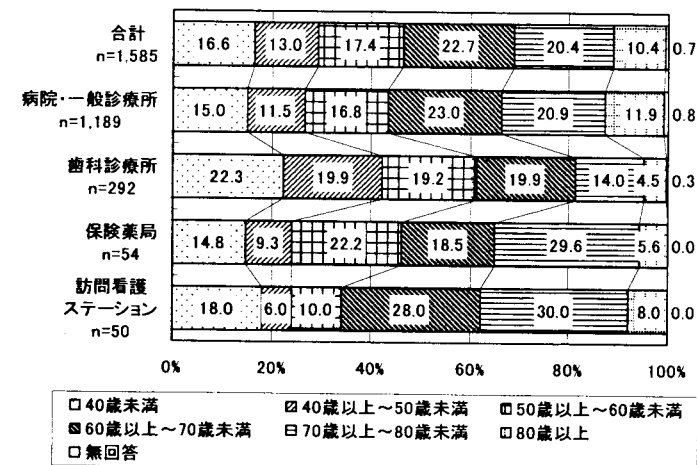
明細書について困った点	
	患者への診断名の告知の有無についての確認が必要になった。
	診療内容から疾患名等もうかがえるので個人情報等の問題があり本人確認や同意に関して苦労している。
病院	医事会計システムが標準では対応していないため、業務的に複雑になり体制、郵送料等も必要となるが、そこに対する費用的な補償がされない。
	悪性腫瘍手術などのように、項目から病名や症状が推測できる内容を含んだ明細書を患者に手渡す前に、主治医に確認をとる必要があるなど、手間が増えた。
	設備投資等で発生した費用の回収(診療報酬上での評価を希望する。)
	診療報酬制度に対するある程度の知識がなければ容易に内容(名称や算定ルール等)を理解することは難しく、内容の説明が必要になり対応が難しい。
	保険請求の仕組みより説明しなければならぬケースが発生しており、人手が取られ業務が滞るケースが発生している。
	外来管理加算や医学管理料の費用請求について説明の求めがあった場合、説明をしても理解がなかなか得られず、不満の声が多い。
	医科点数表に則って発行しているため、表現や言い廻しを理解されない。そのため、不当な請求をされているのではないかと、不信感を持つ方がいる。
一般診療所	事務負担が大きい。
	用紙代がかかる。手間がかかる。
	患者が各項目の内容をよく理解していない。
	この2年で1件しか依頼がなく、あまりニーズがないようである。領収証がかなり細かく書いてある為と思われる。
歯科診療所	あまり興味がない人には紙ゴミがふえたと感じる。
	患者さんに渡しても、説明するのに、時間がかかり医院側の労力、時間が、沢山費やされた。患者さんも良く理解できなかった。
	点数がつかないでサービスの診療が増えた。
	事務負担が大きく、患者さんを待たせる時間が長くなる。費用がかさむ。
	①慣れた受付の者でないと書けない。②事務の時間が、増えて受付の負担が大きい
	事務処理能力を超えた処理だと思う。レセプトの発行で良いと思う。
	依頼があればレセコンでいつでも発行できると思うが依頼は皆無。
	所定の様式があった方が良く感じた。手間がかかるため。
保険薬局	明細書があるのは知っていたのですが、一部あたりの料金の相場がわからず困っている。
	困った点は上記のように希望されたわりに、本物をおわたしすると個人情報の多さにいやがられる。「これを役所に出さねばいけないんですか?」とはよく質問される。
	レセコンがないので手書きで出すのは時間・手間がかかる。
	渡すだけではわからないため説明が必要。
訪問看護ステーション	レセプトの計算は、むずかしい、週単位での計算もある。相手にわかる様説明するのは、時間がかかる。
	自己負担のない患者様にもお渡しするようになって「こんなに公費を使っているなんて」と納得してもらえない場合があり困る。
	制度や報酬が変わるごとに説明しないとイケない。

	その他、患者への情報提供に関して積極的に取り組んでいること
病院	・高額療養費限度額認定証の案内 ・入院前説明にて、入院期間及び治療費負担額概算の案内 ・テレビインフォメーションシステムを導入し患者様への情報提供を行っている。(出来る限り掲示物を少なくし、必要な物だけ残したと考えます) 院内で診療情報提供に関する規程を作成し、それに沿って情報提供を行っている。 ・診療録開示・検査結果情報の提供。
	患者からの問い合わせにはていねいに対応している。 医療現場の電子化を推し進め、以前と比べて、より詳細な説明を行っている。検体検査の結果はプリントし患者へ渡している。 自費負担額等、制度変更に合わせて説明する場を設けたり、文書による連絡をとっている。
	患者様より領収証について質問があった時は、くわしく説明している。 検査の必要性をきちんと説明している。処方箋の点数の違いにより毎回の支払いが異なる場合は説明するようにしている。 患者とよく話ができるような雰囲気づくりにつとめている。
	検査結果がすぐ解る場合は、別紙にて検査項目、検査結果を渡すようにしている。医療と介護の会計の区別を解かりやすく工夫している
一般診療所	患者様には診察中に、当日の検査予定とその必要性について説明の上検査しているし、検査結果についても正常値を含めてくわしく説明するよう心がけている。その結果だと思いが、明細書を要求されたことはない。
	治療計画と医療費の呈示を行っている。今まで明細書の請求がなされた事はありません。
	ポスター、リーフレット等の自院による製作 カルテの積極的な公開。 写真など使ってビジュアルな説明を心掛けている。
	積極的ではないですが、会計の時、治療内容や費用の内容を聞かれたら、カルテを開示して、説明している。カルテの開示義務なら、費用がかからないので、明細書の発行より実行しやすい。
歯科診療所	治療内容の説明、また金属の費用など高額(4000円以上)な場合には、前もって知らせる。 自費診療の患者様は、ほぼ毎診療毎に口腔内写真をプリントして渡している。写真を見せつつ、診療内容の説明を行っている。 2大病気の説明などクリニカルコーディネーターが、予防や治療の相談にのっている。 1日の治療内容を説明しながら領収証を渡している。 領収証で医療費控除が受けられる事を説明している。 カウンセリングシステムを導入し、検査結果などを、時間をとって説明し、治療を行っている。
	印刷された薬剤情報以外に新しい情報は手書きで渡すようにしている。 必要なクスリのみを医師に要求して余っているクスリや不必要なクスリを要求しないように雑談しながら話すようにしている。
	薬局独自のミニ情報書を作り、その都度内容を変えてお渡ししています。主に医療関係情報の提供。 助成金などの種類や利用の説明。 薬局改善の為患者にアンケートの協力をお願いしている。
	疾患・施設・福祉用具などの、問合せに対して、パンフレット、ネット情報などを集め説明している。
訪問看護ステーション	

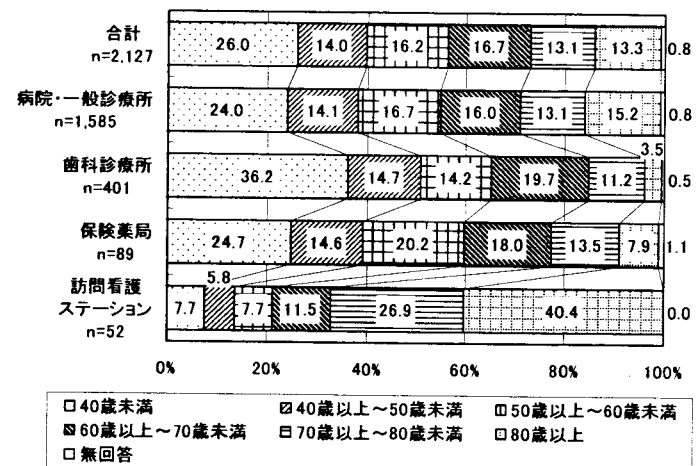
### (3) 患者調査

・ 性・年齢区分 (図表3-1)

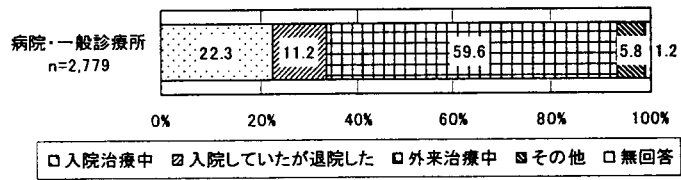
<男性> 平均 58.2歳



<女性> 平均 55.0歳

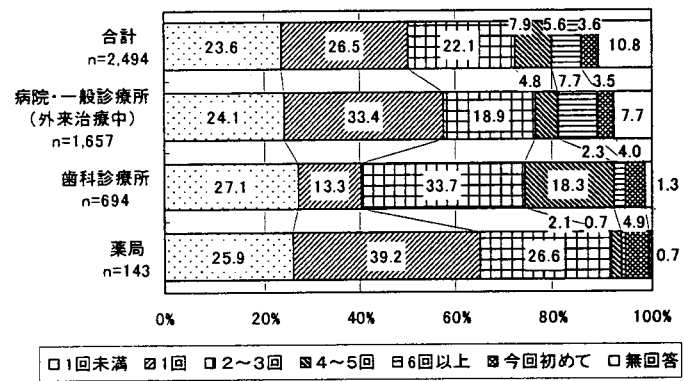


施設の利用状況（病院・一般診療所のみ）（図表3-2）

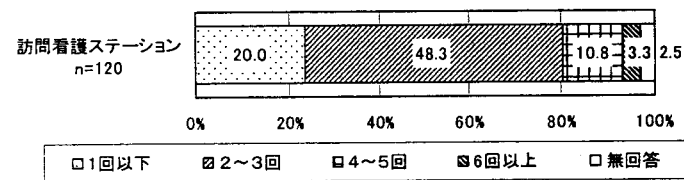


調査票を受け取った医療機関の利用頻度（図表3-3）

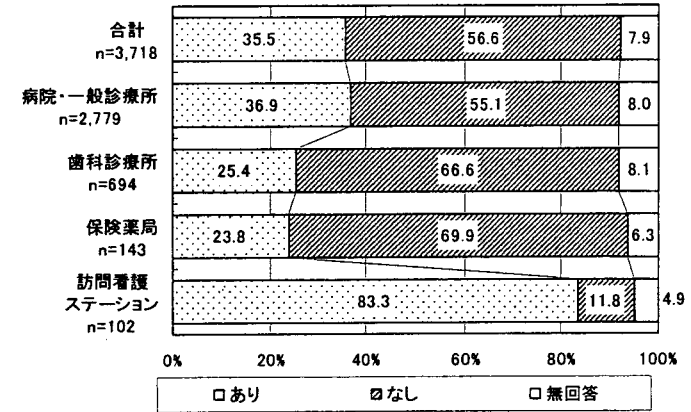
<病院・一般診療所、歯科診療所、保険薬局：1ヵ月あたりの利用回数>



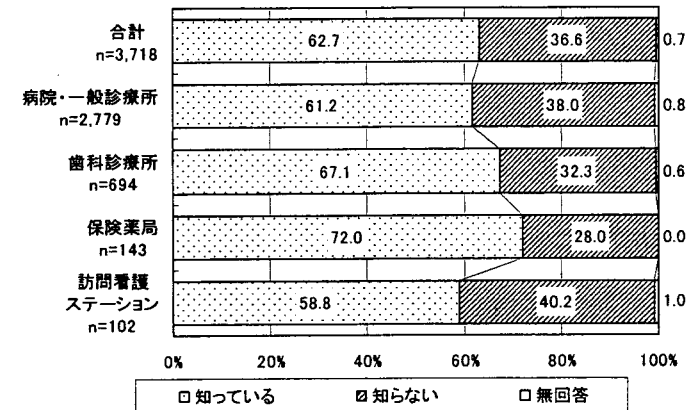
<訪問看護ステーション：1週間あたりの利用回数>



公的負担医療による自己負担軽減の有無（図表3-4）

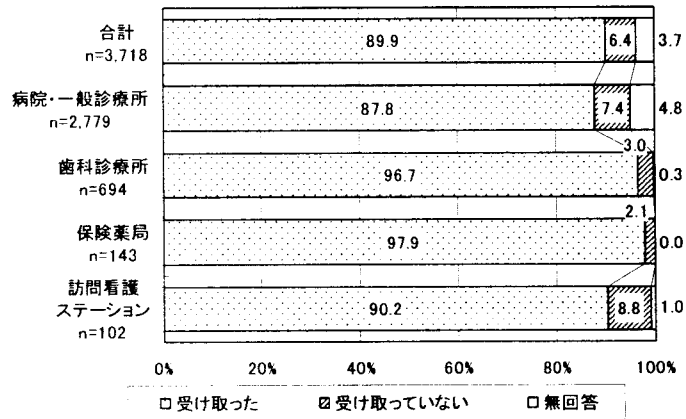


領収証の無料発行に関する認知度（図表3-5）

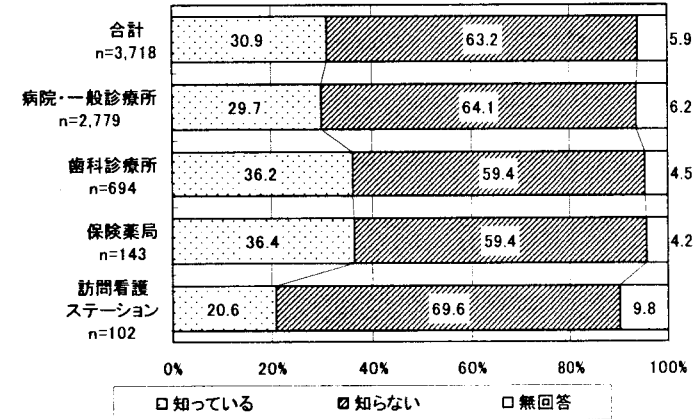




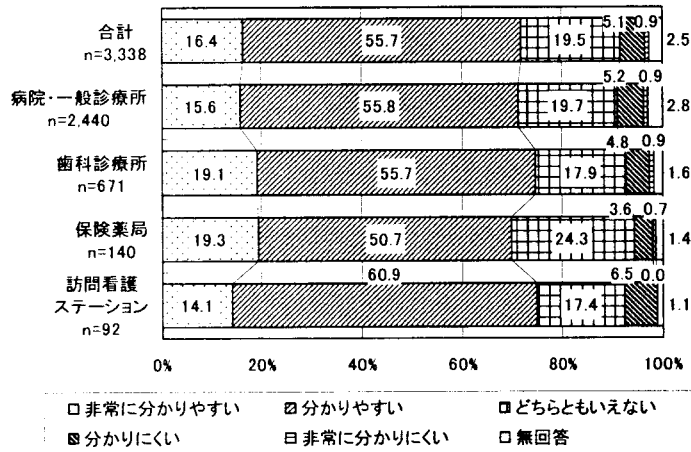
領収証を受け取った経験の有無 (図表3-6)



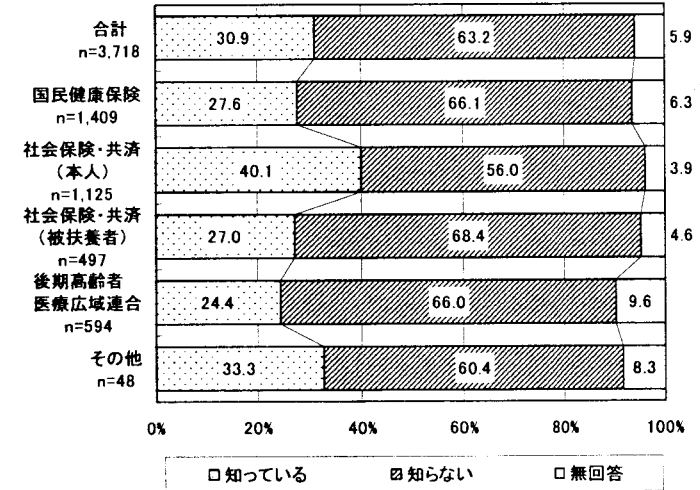
明細書発行の一部義務化に関する認知度 (図表3-8)



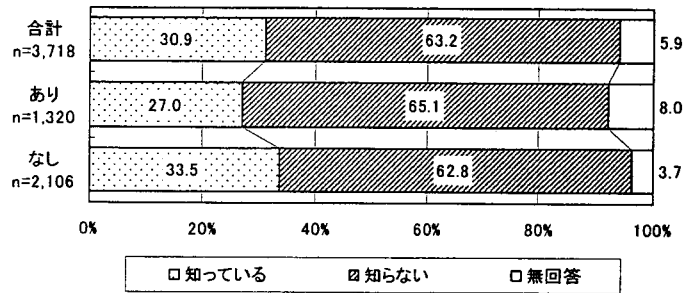
領収証の分かりやすさ (図表3-7)



<健康保険の種類>

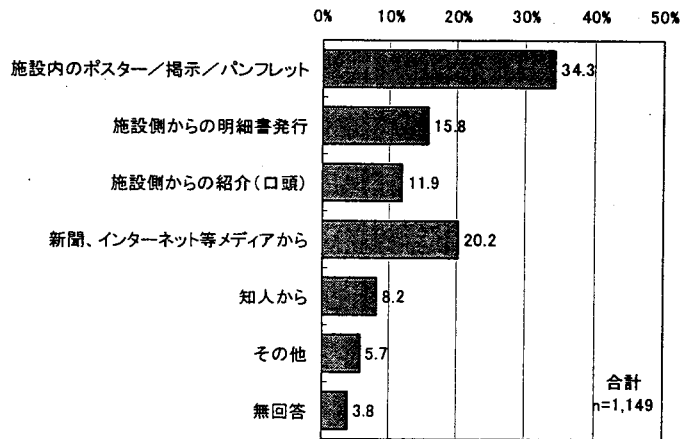


<公的負担医療による自己負担軽減>

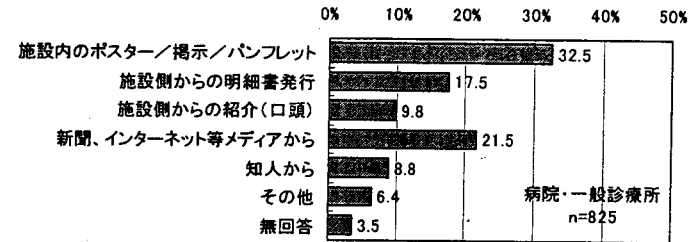


明細書発行について知ったきっかけ (図表3-9)

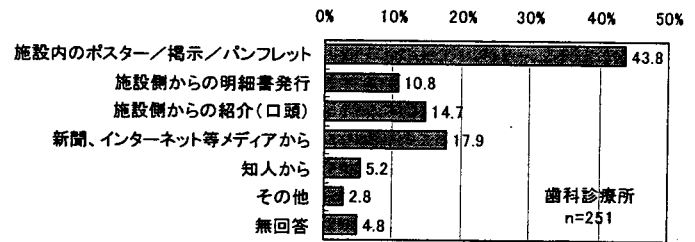
<合計>



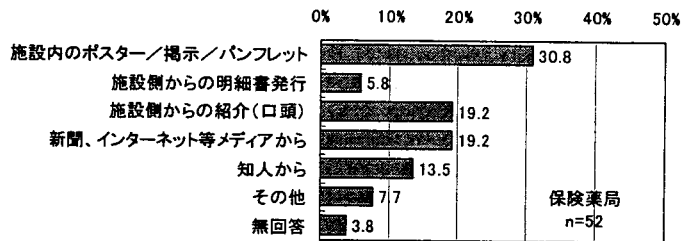
<病院・一般診療所>



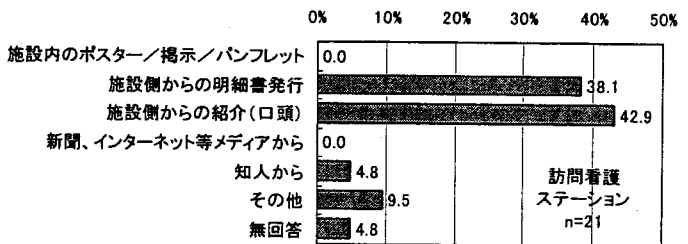
<歯科診療所>



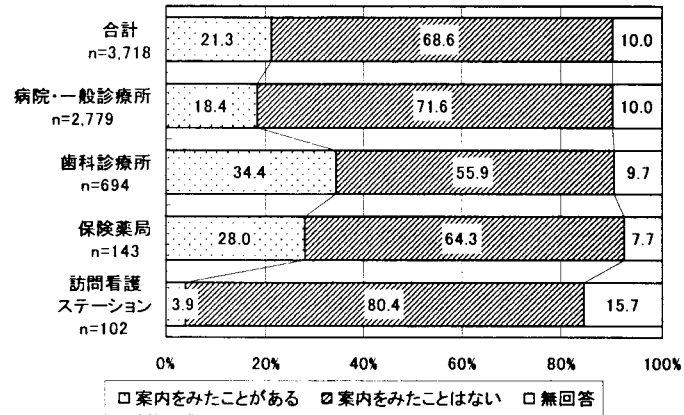
<保険薬局>



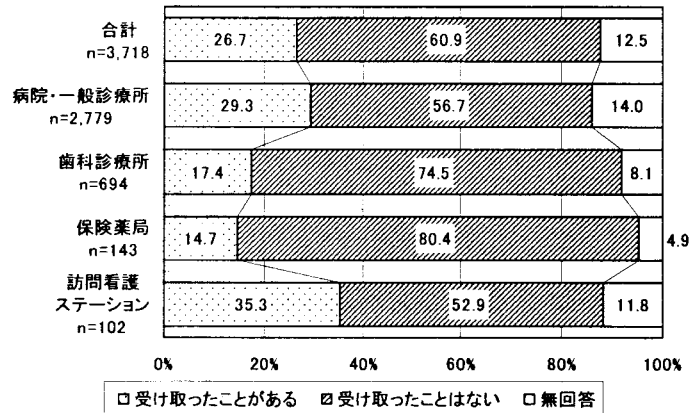
<訪問看護ステーション>



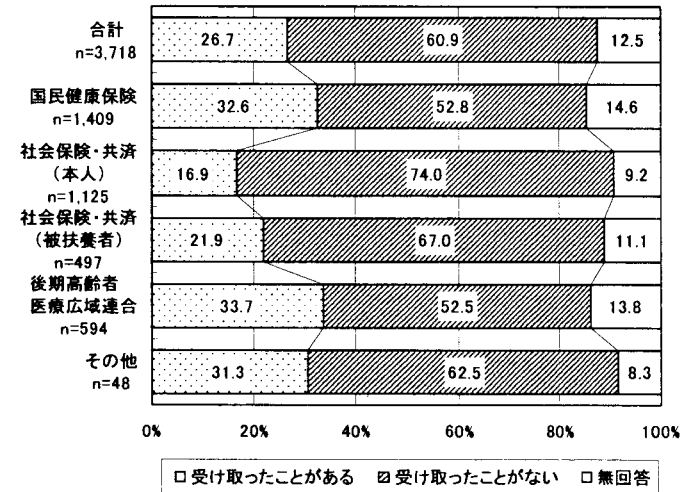
・ 調査票を受け取った医療機関での明細書発行に関する案内をみた経験の有無  
(図表3-10)



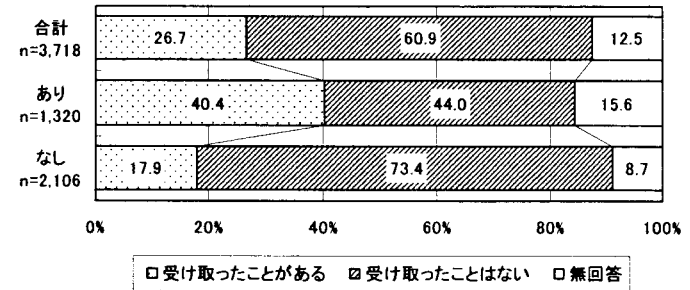
・ 明細書を受け取った経験の有無 (図表3-11)



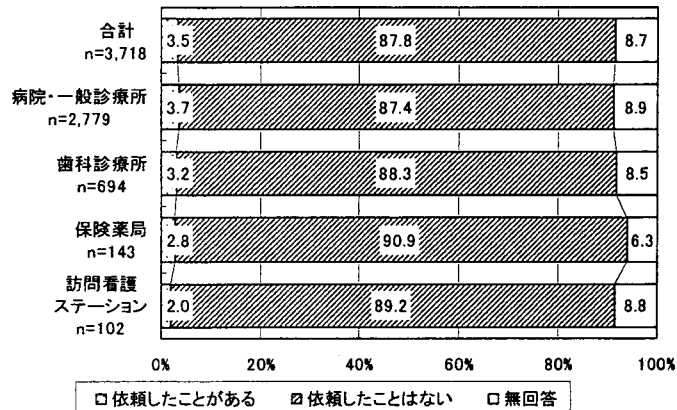
<健康保険の種類>



<公的負担医療による自己負担軽減>

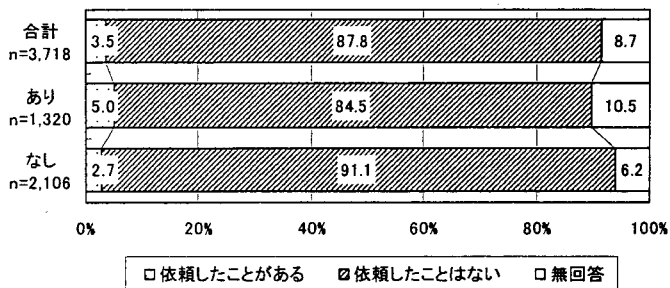


明細書の発行を依頼した経験の有無 (図表 3-12)

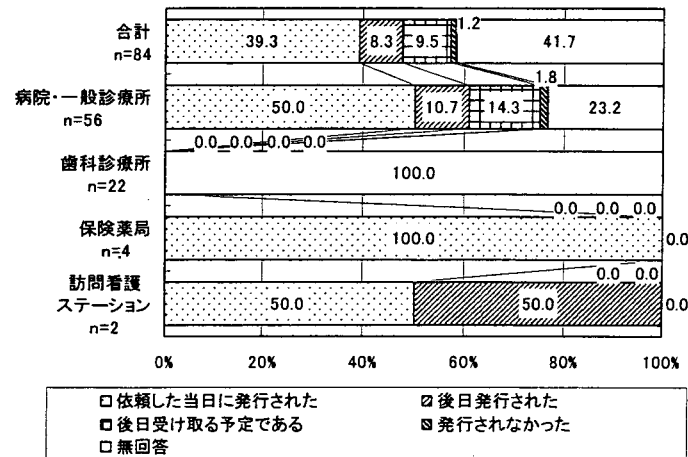


※ (病院・一般診療所については、「今回始めて依頼した」「今回も過去も依頼した」「過去に依頼したことがある」を回答したものをまとめて「依頼したことがある」に計上している)

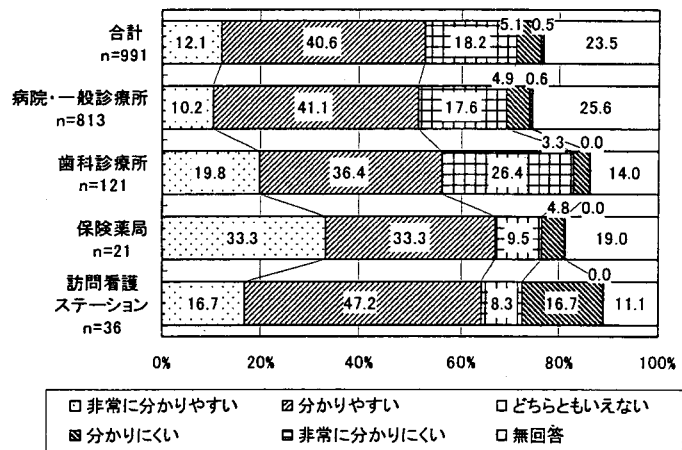
< 公的負担医療による自己負担軽減 >



明細書発行時の医療機関の対応 (図表 3-13)

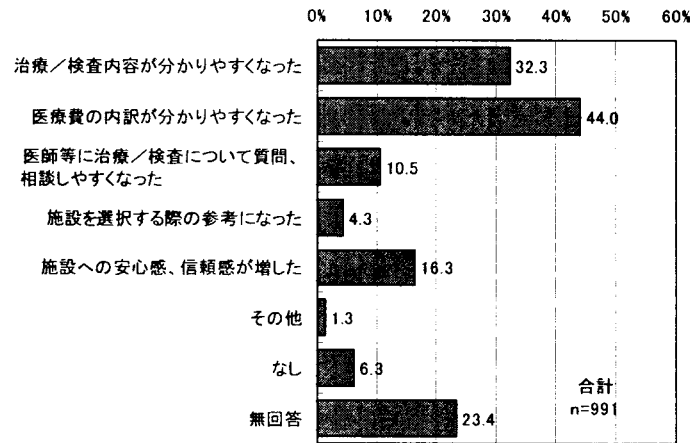


明細書の分かりやすさについて (図表 3-14)

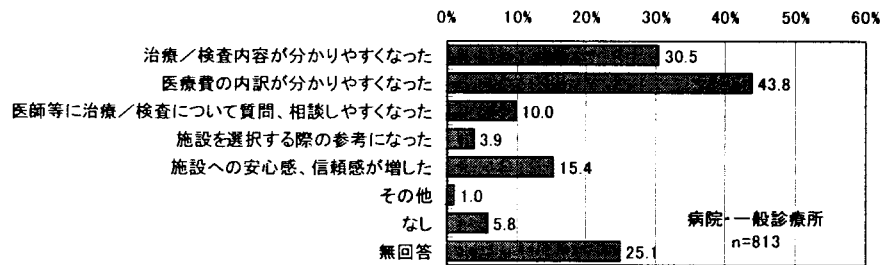


・ 明細書を受け取ってよかった点 (図表 3-15) : 複数回答

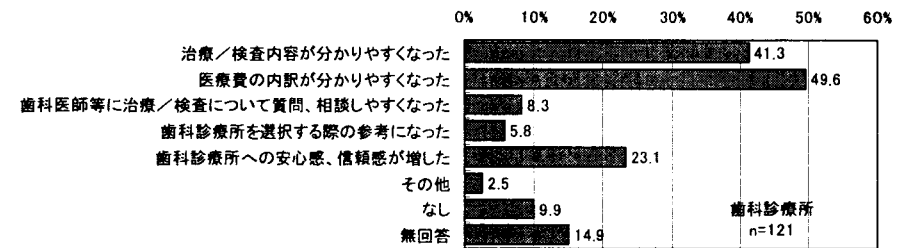
<合計>



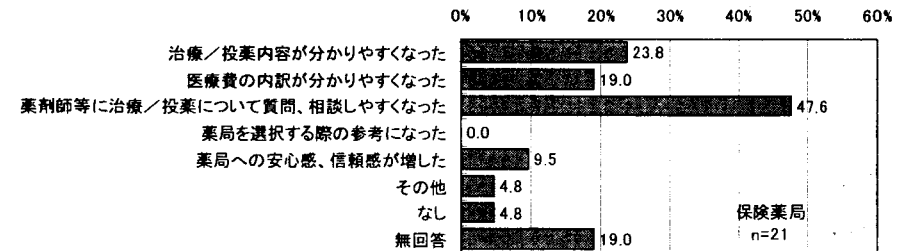
<病院・一般診療所>



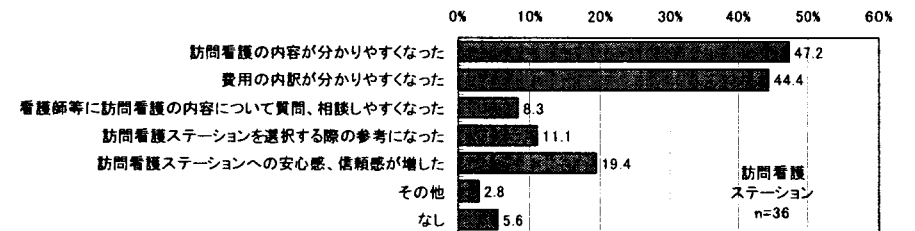
<歯科診療所>



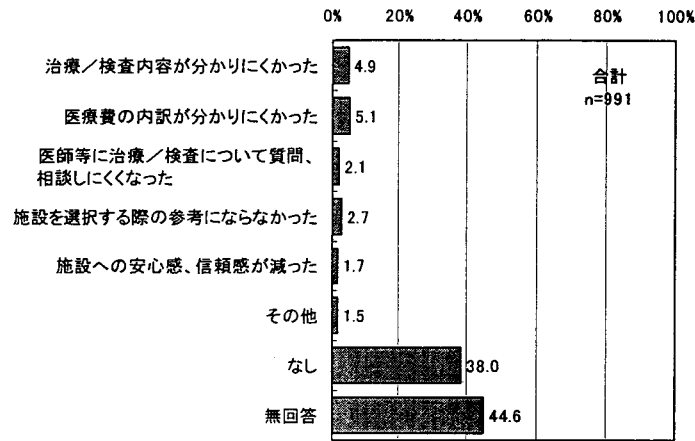
<保険薬局>



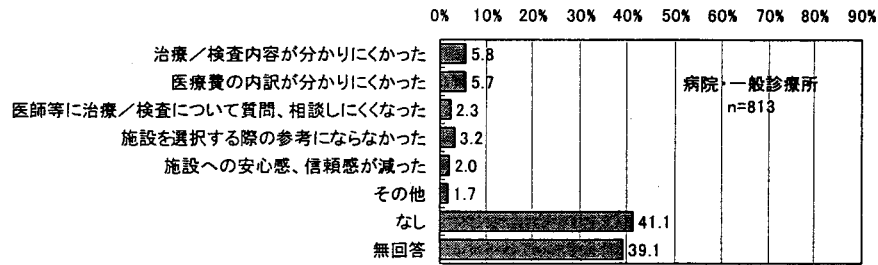
<訪問看護ステーション>



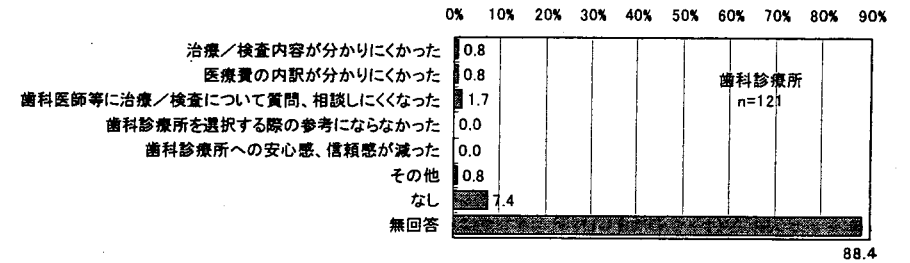
・ 明細書を受け取って不満だった点 (図表3-16): 複数回答  
 <合計>



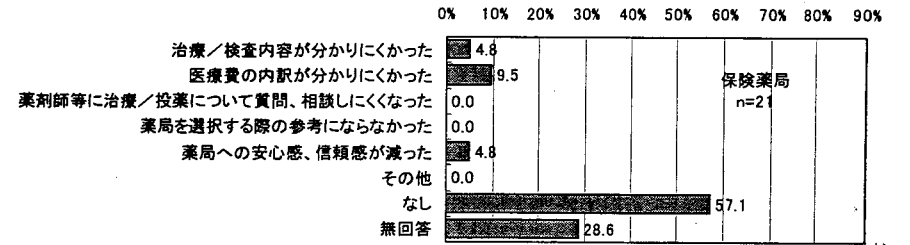
<病院・一般診療所>



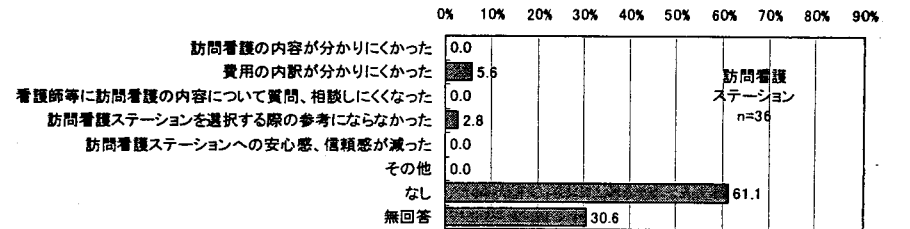
<歯科診療所>



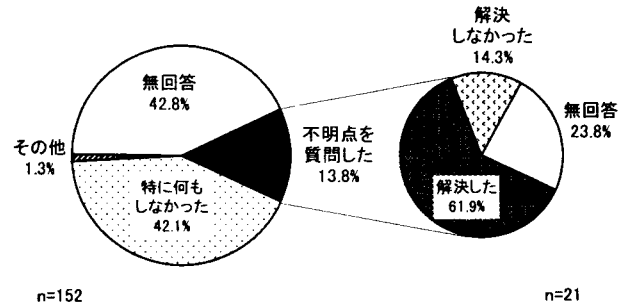
<保険薬局>



<訪問看護ステーション>

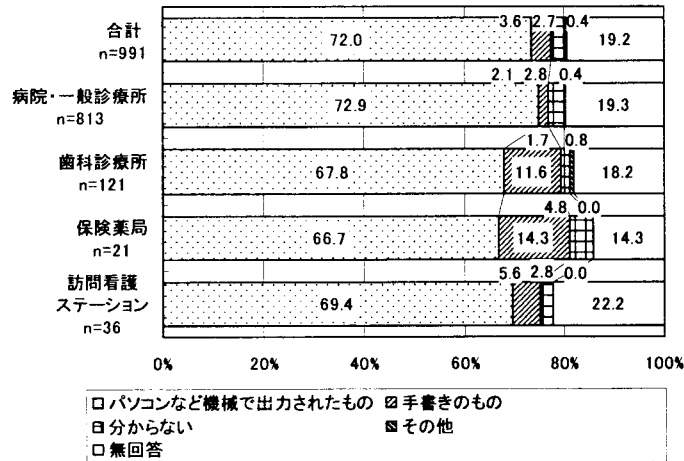


・ 不明点があったときの対応 (図表3-17)



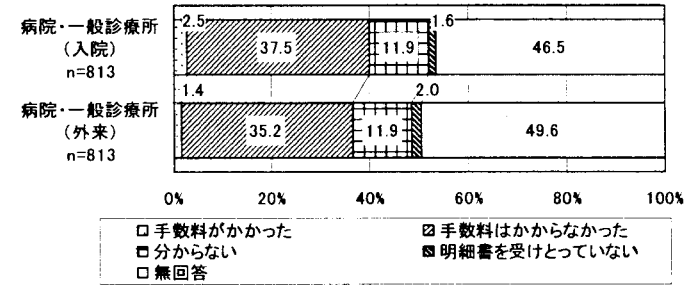
※図表3-16で「なし」「無回答」以外のものについて集計

・ 明細書の形式 (図表3-18)

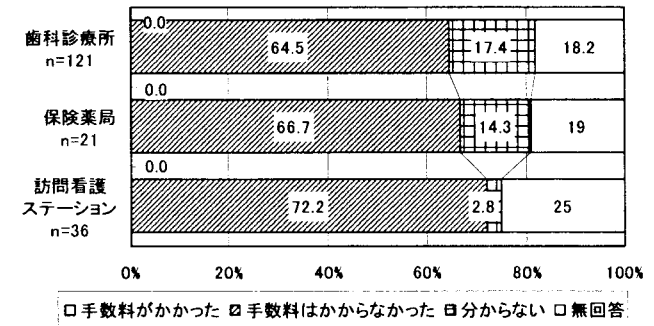


・ 明細書発行に係る手数料 (図表3-19)

<病院・一般診療所>



<歯科診療所・保険薬局・訪問看護ステーション>



・ 手数料の金額 (図表 3-20)

<入院・外来別>

外来 (n=7)	入院 (n=11)
30 円	100 円
380 円	200 円
470 円	210 円
500 円	525 円
520 円	1,000 円
1,840 円	1,000 円
5,000 円	3,000 円
	5,000 円
	5,000 円
	10,000 円
	39,000 円

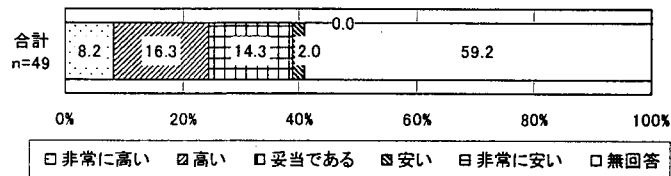
※回答のあったもののみ集計(n=18)

※回答数が 18 と少なく、回答中には治療費と思われる金額の記載があった。

病院・一般診療所(外来): 平均値 1,248.6 円、中央値 500 円

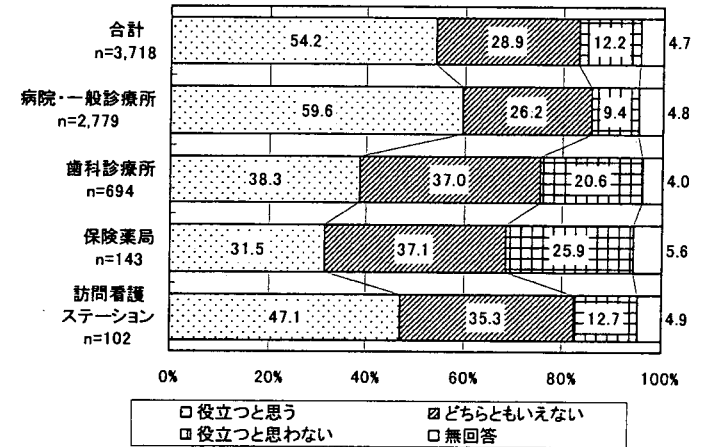
(入院): 平均値 5,912.3 円、中央値 1,000 円

・ 手数料に対する感想 (図表 3-21)

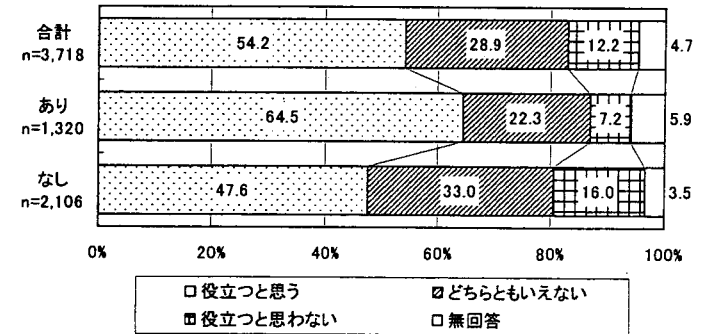


※図表 3-19 で手数料がかかったと回答したもの

・ 明細書が治療内容の理解のために役立つか (図表 3-22)

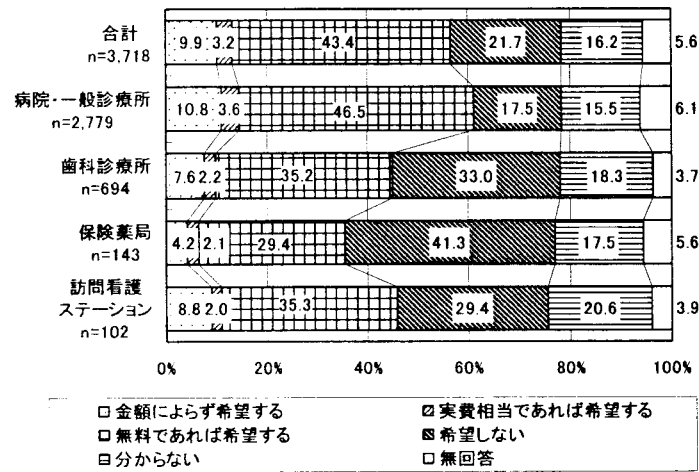


<公的負担医療による自己負担軽減>

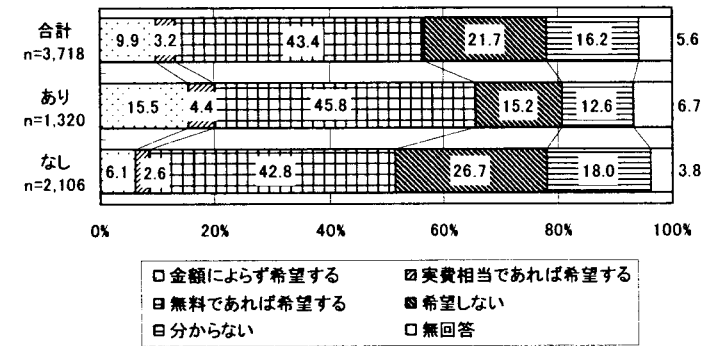




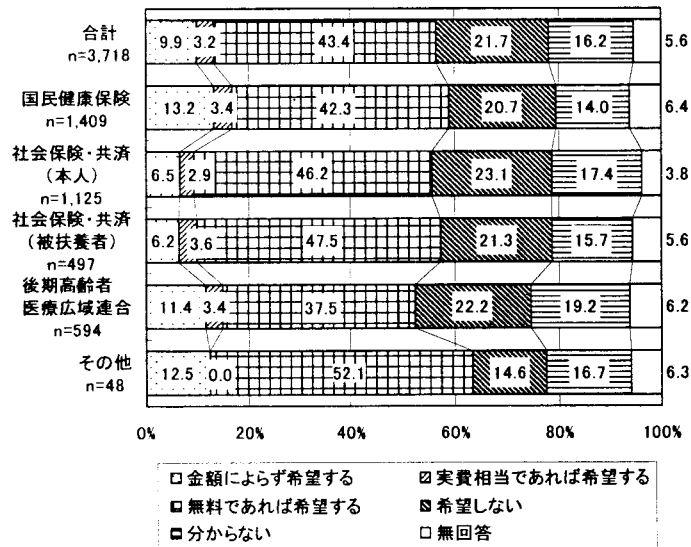
・ 明細書の発行の希望 (図表 3-23)



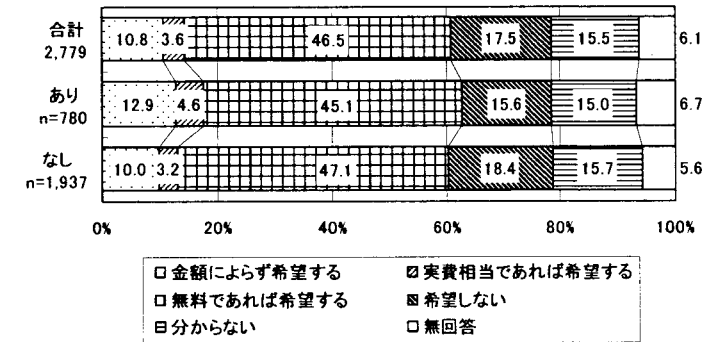
< 公的負担医療による自己負担軽減 >



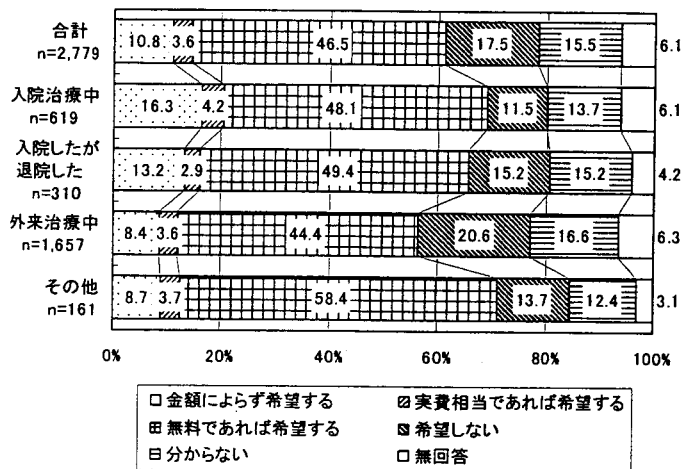
< 健康保険の種類 >



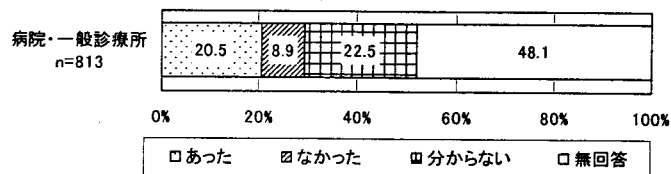
< 過去の調査票を受け取った医療機関での入院経験 (病院・一般診療所のみ) >



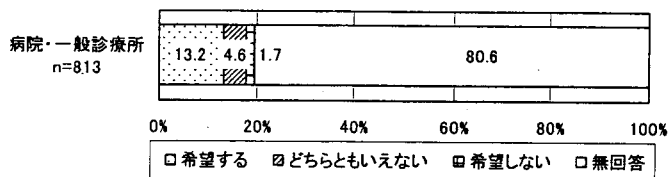
<施設の利用状況（病院・一般診療所のみ）>



・ DPC の医薬品・検査の名称の明細書への記載の有無 (図表 3-2 4)



・ DPC の医薬品・検査の名称の明細書への記載の希望の有無 (図表 3-2 5)



・ 領収証・明細書についての意見、要望

施設	意見・要望
病院・一般診療所	領収証について
	保険内訳の項目のうち(医学管理等)の意味がわからない。項目ごとの説明を領収証のどこかに明記しておくとうかり易い。
	もう少し、字を大きくした方が見えない方にはよいのではないかと考えた。
	医院・歯科医院、どの医療機関でも保険点数のわかる領収証を発行してほしい。
	領収証明細書を一緒にした様式にしたなら一目で全て理解出来ると思う。
	2度目に同じ領収証をもらう時、お金をとられる。(再発行)高齢者はなくすことがあるのでお金はとらないでもらいたいと思う。
	あとで必要になった時に困らないようにいつ取りに来ても手にはいるように何10年も保管しておいてもらいたい。5-6年で廃棄処分をしないでもらいたい。
	過去は診療内容がわからなかったが、少しずつではあるが、診療内容が見える様になった。将来、明細書が添付される事になれば、治療(診療)のプロセスがわかる様になり、患者も“治療・薬”に対し理解度が向上すると思う。
	点数なので金額との関連がよくわからない。
	専門用語ではなく、一般の人にも分かりやすい言葉で書かれたものにして欲しい。
	領収証はもう少し小さいサイズにしてほしい。
	項目について、説明したパンフ等を院内(受付等)に常時置いて欲しい。
	領収証は、かなり詳しいので明細書の必要を感じない。
	領収証としてあっても、明細書も兼ねている場合が多いので、現状で良いと思う。但し、薬局の領収証の内容は良く分らない。
	医療費は内容が煩雑でわかりにくい。詳細にわかる物があっても、医療制度そのものを理解出来なければ、結局、病院の人に内容を聞く事になると思う。
待ち時間が長くなることはやめてほしい。後日、郵送等とかで対応出来ないか(次回、来院時でも可)	
領収証だけでは、前回と金額が違う時に、何が今回、違うのかわからない事がよくある。	
各病院ごとに、フォームが違うので、一年分を集計する時に、ふべんな思いをする。	
診療内容が解っても、点数が妥当かの判断は出来ない。各診療内容、費用の一覧表があれば確認しやすい。	
歯科診療所	医師や患者が、たまたま治療当日に領収証、明細書の受けとりや発行を行なわなかった場合には、次回に要求することが出来るようにして欲しい。
	今の内容では、やはり細目がわかりません。必要に応じて、明細書の交付がされることを希望します。(ただ、例示されている一同封のパンフレットの例程度では余り役立たない気がします。)
	毎回は不用、月ごとでよい。
	この封筒にある領収証の例であれば分かりやすいが、以前、レシートの大きさの領収証をもらった事があり、それは大へん見にくいものでした。一応、点数なども記載されていましたが、統一された大きさ(今回の例のようなもの)ものの方が私は好ましい。点数なども記載→治療に関しての点は合算されている。分かりにくい。実際にしていたことが入っていても分からない。
	いつも、かかった時、領収証をいただいているので、わかりやすく、たすかっている。この前に(歯科疾患管理科に係る管理計画書)(継続用)をいただいで、とてもわかりやすく安心した。今迄と異なり、細かく説明されていたので非常に良く解った。明細書は必要なしと思う。
	高額医療費に必要な場合があるので、すべての医療領収証が無償で発行される事はよいと思う。義務化必要。
	一般の人にもわかり易い書類だけでなく、医師からの説明も重要と思う。
	よりいっそう広報活動を願う。
	通常の診療ならばこれで充分だと思う。大きな手術などは別だと思うが。
	「評価療養」など難しい用語は注釈をつけること。
保険薬局	確定申告の際に必要なとするもので、あえて明細書を必要としません。
	現在の領収証形式で充分。

	領収証について
	必要時、詳細のわかるものを発行で、通常は簡単なものでよい。
	毎回、同じ薬で同じ金額であれば、内訳のわかる領収証は一度もらえば、あとはレシート程度で金額がわかればいかなと思います。領収証に保険、名前、内訳があると、いざ捨てる時に気を使うので…。レシートなら金額にまちがいがなければ処分するのも気を使わないかな…。
訪問看護 ステーション	現在の領収証の内容でもかなり詳しく記されているので安心している。
	点数で表示されると計算が分かりづらいのではないかと。医療従事者である為、ある程度の事は理解できるが、全くの一般利用者にとって、計算しにくいのではないかと。説明記載すると大変なことになるのか…。
	領収証は毎月発行してもらいたい。

	明細書について
	軽い病気の場合は必要ない。重い病気や入院・手術など記録としてあった方がよい。
	薬代の単価(注射の値段)などわかりやすいと助かる。(だいたいの治療費の目安になるので。)特に入院中だと一ヶ月分まとめてなのでわかりづらい。
	明細書の存在は、今回初めて知った。自分の医療費を把握する為にも必要な物だと思う。しかし明細書の存在を知らない人が多いと思うので、領収証と共にもらえれば良いのではないかと。思う。
	領収証だけでは、自分に対してどのような投薬をされ、どれぐらいの量、料金等が疑問に思われる方に対して納得ができると思う。知っている人は少ないと思うから、もっとアピールした方がよいのかもしれない。
	必要な患者のみで必要のない方へはいらないと思う。又病名により考慮がいると思う。
	明細書の発行の案内をもっとやって欲しい。
	明細書の内容にそって、処置や手術の説明を詳しくやってもらえれば明細書の発行は、有意義である。
	常時、発行するのが当然であり不要の場合のみ当業者が拒否すれば良いと思う(無料)
	領収証と同じようにいつまでも保管しておいてもらいたい。5、6年で廃棄処分しないでもらいたい
	医療に知識がないので、受け取っても良く分らないのが実情だ。
	病院をかえるとセカンドオピニオンを受ける際にも、明細書があることでどんな治療を受けていたのか教える時に使えるという点も私的にはよいものである。
	希望者のみという事だと、遠慮して発行を申し出しにくいと思う。検査や注射をした場合、義務化をしてくれると受け取る方はありがたい。
	専門用語で記載されてるのが多いので、もっと細かく内訳して欲しい。(例)薬の効きめや名称等は外来時にもらうが、退院時にも念の為病院側から改めて説明を加えてもらいたい。
	自分がどういった治療を受けているか、コンピューターの画面だけでは仲々、理解できない。明細書は安心のためにもほしい。
	手術、入院の場合は、より明細があった方がよいと思う。
	①高額の場合は出す。
	②希望があれば出す。→患者や家族に分り易く説明する事が大切。明細書で判断せよは不親切。
	診療明細書は請求しなくても発行してもらいたい。一般人は、診療時には解らない為、自主的に発行して下さい。
	素人(医療関係者意外)が見ても、わかる内容であってほしい。
	治療内容がわかるので、病院診療所であっても発行してほしい(必ず)
	告知の問題もあるので、全面発行は慎重に検討したほうが良いと思う。
	受診後にだまされて多く請求されたのではないかと。疑念が残る。医療事務や病院関係者だけがわかればよいというのは時代遅れだと思う。明細書は希望者に、というのではなく、全ての患者に渡してもらいたい。たとえ、100円の手数料がかかったとしても、少なくとも医療不信にはならないで済むだろう。

	明細書について
	点滴の名前と効果も記入してあれば良。
	先生がきちんと診療の時、説明して下さる方なら、どの治療にいくらかかったか程度で良いと思う。分かりやすい用語を使うことが大事だと思う。医学用語は分かりづらい。
	お薬手帳のようにシールなどで、こちら(患者側)が管理しやすくなっていると助かる。もしくは、治療の結果(明細)にてらしあわせて、出された薬など一緒に記入してあると実用的だと思います。
	明細書を受け取っても、たとえば検査項目が書かれていてもその意味、何の検査であるかが解からなければ、何もならない。内容を説明してもらった上でいただくのであれば、場合によってはよい。
	内容を見たくない場合(抗癌剤など)もあり、本当に必要な方だけもらえばよい
	不正請求など、自分の受けた診療機関の行為を防止するためにも、明細がわかることは良いことだと思う。
	領収証では確認出来ない部分でも記載される為、病気等への対応の資料にもなるので常時発行が望ましい。
	必要に応じて希望すれば良い。無料にすると必要が無くても出すケースが増え、病院に無駄な負担がかかると。実費を負担するのが当然。
歯科診療所	書いてある治療内容の内訳を、もっと分かりやすく言葉で書いてほしい。
	信頼している病院で明細書の依頼はしにくい。領収証だけで十分です。
	週一ぐらいで通院している時、前回とほとんど同じ様な治療でも金額が違う時があって、何となく納得できない時があり、明細書は絶対必要だと思う。全病院に徹底して欲しい。
	領収証発行でも、時間がかかるので、明細書は、もっと時間がかかるのではないかと。思う。
	必要時、希望すれば有料で発行して頂ければ良い。
	特に使う事が無いので、資源の無駄に思える。見てわからない。紙がふえて困るので、ほしい人だけで良いのでは。
	保険対象外の費用の明細が余りアバウトで分りにくい。
	今回の治療で、どんな事をしたのか、きちんと説明を受けていたので、明細を見てより理解が深まった。何にいくら(何点)とられたのかが、解かりやすいので明細はあった方がいと思う。
	明細書に、現在行っている治療の内容及び今後の日数がどの位かかるのか明記、又は、口頭で教えて欲しい。
保険薬局	医薬、用量、用法の記録を診療の度ごとに薬局からもらっていますので、明細書は問題がありませんので必要がありません。(重複する)
	明細書は発行の依頼した時だけで良い。
	出す意味が全く分からない。それを出すことによって待ち時間が長くなったり、手数料がかかるなら嫌です。
	明細書が希望者に対し発行される事のPRが不足している。明細書発行に、経費がかかるとは思えない。自発的に領収証と一緒に出すべきである。
	専門的な文章や名称で記載されても一般には解りにくいと思う。
	孫の小児ぜんそく申請時に薬局に依頼した。すぐに出していただき、とても助かりましたが、細かい内容まで書いてあり、区役所の方が見ると思うと個人情報漏洩などが少し心配になった。特に必要な時だけ発行して頂くとうれしい。
訪問看護 ステーション	利用日、利用時間をくわしくしてほしい。
	受け取る人にわかりやすい明細にしてほしい。
	事務費用が増加し、メリットはない。患者にとって費用を安くして、長時間、訪問してもらえうほうが良い。
	発行が義務付けられているとすれば、領収証と一緒に記載にして欲しい。

診療報酬改定結果検証に係る調査（平成21年度調査）  
7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料  
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、  
並びに「地域連携クリティカルパス」に係る調査 結果概要（速報）

1. 目的

- 以下の医療機関における機能分化・連携の状況や患者像等の把握
  - 急性期入院医療を行う7：1入院基本料算定病院
  - 急性期治療を経過した患者に対し医療を提供している亜急性期入院医療管理料算定病院及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院
- 「地域連携クリティカルパス」に係る点数を算定している医療機関における連携状況等の把握

〈調査のねらい〉

- 7：1入院基本料算定病棟に係る調査
    - 7：1看護基準を満たす病棟にふさわしい患者が入院しているか
  - 亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査
    - 患者の総治療期間、入院元、退院先はどのような状況にあるか
    - 入院時、退院時の患者はどのような身体の状態にあるか
    - 患者の退院までの経緯（計画通りか、退院が延びた事情があったか 等）
  - 「地域連携クリティカルパス」に係る調査
    - 算定患者数や連携医療機関数はどういった状況にあるか
- 3つの相互に関連した調査を1つの調査の下で実施するのに併せ、調査対象医療機関における退院調整部門の設置状況や、自院の地域での必要に応じた機能分化や連携に関する考え方など、地域における医療機能の分化・連携に係る一般的な調査も行う。

2. 調査対象・方法

■ 調査対象

- 調査票は、「施設調査」「病棟調査」「病棟患者調査」と診療所に対する「診療所調査」からなる。いずれの調査票についても、上記（1）から（3）の調査について調査対象毎に編成し直したものである。
- 病院に対する「施設調査」は、以下の病院から無作為抽出した計 3,500 施設を対象とする。（ただし、亜急性期入院管理料の届出病院（1,174 施設）及び回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病院（1,011 施設）については全数）
  - 急性期入院医療を行う医療機関として、一般病棟入院基本料の7対1及び10対1入院基本料の届出病院及び地域連携診療計画管理料の届出病院
  - 急性期治療を経過した患者に対し医療を提供している医療機関として、亜急性期入院医療管理料及び回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病院、並びに地域連携診療計画退院時指導料の届出病院
- 「病棟調査」は、「施設調査」に回答のある病院の亜急性期病室、回復期リハ病棟、一般病棟、「病棟患者調査」は当該病棟の患者を対象とする。なお、一般病棟に関しては、重症度・看護必要度の基準を満たす患者割合の高い病棟及び低い病棟より各3病棟を選択し、計6病棟を調査対象とする。

- 「病棟患者調査」は、一般病棟では平成21年6月の退院患者24名（対象6病棟、各病棟4名）を対象とする。亜急性期病室では平成21年6月の入院中・退院患者の全てを調査対象とする。
- 「診療所調査」は、地域連携診療計画退院時指導料の届出診療所とそれ以外の有床診療所から無作為抽出した計1,000施設を対象とする。

■ 調査方法

- 自記式調査票の郵送配布・回収とする。
- 「病棟患者調査」は各病院においてとりまとめの上、「施設調査」と併せての郵送回収とする。
- なお、回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病院については、調査客体の負担軽減の観点から、『回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された「質の評価」の効果の実態調査』の調査票において調査を行う。

3. 調査項目

(1) 施設調査

区 分	内 容
施設属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>開設者、承認等の状況</li> <li>診療報酬に係る届出状況・病床数</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者延数、入院患者延数、全身麻酔手術数、患者紹介比率</li> <li>職員数</li> <li>地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の届出状況</li> <li>計画管理病院、連携保険医療機関の施設数、会合の状況</li> <li>地域連携診療計画管理料、地域連携診療計画退院時指導料の算定患者数</li> <li>大腿骨頸部骨折及び脳卒中の患者の平均在院日数</li> <li>退院調整部門の有無と職員数</li> <li>医療機能に係る今後の方針</li> <li>他の医療機関との連携に関する意向</li> <li>一般病棟の新規の入院等患者数、退院等患者数、平均在院日数、病床利用率の状況</li> <li>一般病棟における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合</li> <li>Aモニタリング及び処置等に係る得点、日患者の状況等に係る得点の平均値と各得点ごとの入院患者延数</li> <li>一般病棟入院基本料を算定している病床を有する病棟数</li> <li>病棟別の患者状態像の違いと重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合</li> </ul>

(2) 病棟調査（一般病棟用）

区分	内容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科目</li> <li>・算定している診療報酬</li> <li>・届出病床数</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年6月時点の入院中の人数、入院前の居場所別人数</li> <li>・平均在院日数、病床利用率</li> <li>・看護師、准看護師、看護補助者の人数</li> <li>・専従・専任している職種別の職員数</li> <li>・退院患者の退院・転院・転棟先別の人数</li> <li>・重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合</li> <li>・Aモニタリング及び処置等に係る得点、B患者の状況等に係る得点の平均値と各得点ごとの入院患者延数</li> <li>・院内の他の病棟と比較した場合の状況の認識</li> </ul>

(3) 病棟調査（亜急性期病室用）

区分	内容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算定している診療報酬</li> <li>・届出病床数</li> <li>・看護師、准看護師、看護補助者の人数</li> <li>・専従・専任している職種別の職員数</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅復帰支援担当者の人数と職種</li> <li>・平均在院日数、病床利用率</li> <li>・H21年6月時点の入院中の人数、入院前の居場所別人数</li> <li>・亜急性期病室の入室患者の在室中の人数、7対1入院基本料等から転床または転院してきた入院患者数</li> <li>・入室患者の入室理由、入室前の居場所別人数</li> <li>・退院患者数、他の保険医療機関へ転院した者等を除く割合</li> <li>・退室先別の人数</li> </ul>

(4) 患者調査（一般病棟用）

区分	内容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症年月日、入棟年月日</li> <li>・主傷病、診療科</li> <li>・性別、世帯構成、入棟期間中の算定状況</li> <li>・院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入棟前の居場所、入棟した背景、入棟した理由</li> <li>・入棟日のAモニタリング及び処置等に係る得点</li> <li>・入棟日のB患者の状況等に係る得点</li> <li>・入棟時の患者のその他の状況等</li> <li>・入棟中の状況（手術の実施、侵襲性の高い検査・処置の実施）</li> <li>・一般病棟の重症度・看護必要度に係る評価票の合計点が最高点の時の</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aモニタリング及び処置等に係る得点、B患者の状況等に係る得点</li> <li>・退棟年月日</li> <li>・退院支援計画書の策定の有無</li> <li>・退棟後の居場所、転帰</li> <li>・退棟日のAモニタリング及び処置等に係る得点</li> <li>・退棟日のB患者の状況等に係る得点</li> <li>・退棟までの経緯</li> </ul>
--	---

(5) 患者調査（亜急性期病室用（入院中））

区分	内容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症年月日、入棟年月日、主傷病、診療科</li> <li>・性別、世帯構成、入棟期間中の算定状況</li> <li>・院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室中のモニタリング及び処置等の状況</li> <li>・入室中の患者の状況等</li> </ul>

(6) 患者調査（亜急性期病室用（退室））

区分	内容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症年月日、入棟年月日</li> <li>・主傷病、診療科</li> <li>・性別、世帯構成、入棟期間中の算定状況</li> <li>・院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室前の居場所、入室した背景、入室中の患者の状況等</li> <li>・退室年月日</li> <li>・退院支援計画書の作成日、作成者</li> <li>・退室先、転帰</li> <li>・退室時の日常生活機能評価、パーセル指数</li> <li>・退室までの経緯</li> </ul>

(7) 診療所調査

区分	内容
施設属性項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設者、診療科目</li> <li>・診療報酬に係る届出状況</li> <li>・医師数、稼働病床数、平均在院日数</li> </ul>
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来患者延数、入院患者延数</li> <li>・外来患者実人数、病院からの紹介患者数</li> <li>・新規入院患者の実人数、病院からの転院患者、紹介患者数など</li> <li>・退院患者の実人数、退院先別の人数</li> <li>・紹介・逆紹介の実績がある保険医療機関数</li> <li>・大腿骨頸部骨折及び脳卒中に係る地域連携診療計画退院時指導料の届出状況</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画管理病院数、計画管理病院とのカンファレンスの頻度、算定患者数</li> <li>・地域連携診療計画退院時指導料の算定患者の日常生活機能評価点数や平均在院日数など</li> <li>・医療機能に係る今後の方針</li> <li>・他の医療機関との連携に関する意向</li> </ul>
---

#### 4. 結果概要

##### (1) 回収状況

調査種別	発送数	有効回収数	回収率
7対1入院基本料 施設調査票	1,060 件	413 件	38.9%
10対1入院基本料 施設調査票	1,891 件	507 件	26.8%
亜急性期入院医療管理料 施設調査票	1,174 件(896 件 <sup>※</sup> )	325 件	27.7% (36.3% <sup>※</sup> )
地域連携診療計画管理料等 施設調査票	2,058 件	744 件	36.1%
診療所調査 施設調査票	1,000 件	200 件	20.0%
一般病棟 (7対1) 調査		1,725 件	
一般病棟 (10対1) 調査		1,142 件	
亜急性期病棟調査		395 件	
一般病棟 (7対1) 患者調査票		6,821 件	
一般病棟 (10対1) 患者調査票		4,493 件	
亜急性期病室 (入院中) 患者調査票		2,966 件	
亜急性期病室 (退室) 患者調査票		2,883 件	

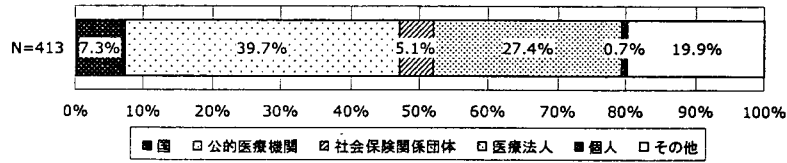
※平成 21 年 9 月 30 日現在

注) 「回復期リハビリテーション病棟入院料において導入された「質の評価」の効果の実態調査」にて回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病院全数への発送を優先させているため、本調査では、当該届出病院との重複を除く亜急性期入院医療管理料届出病院の全数 896 件を発送対象とした。

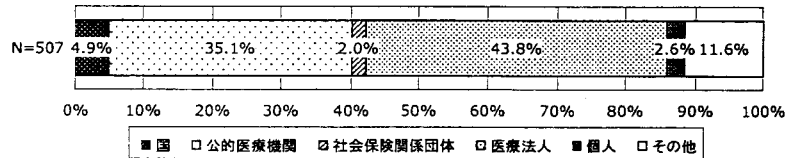
(2) 7対1入院基本料算定 回答病院

■ 施設調査概要

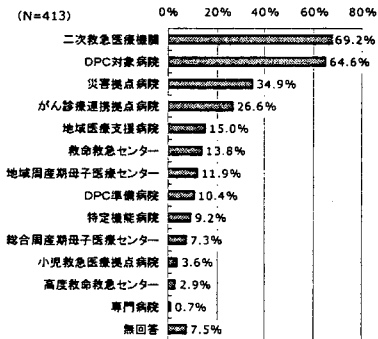
○ 設置主体 (図表 2-1)



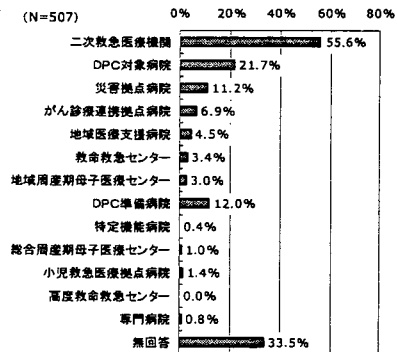
(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-2)



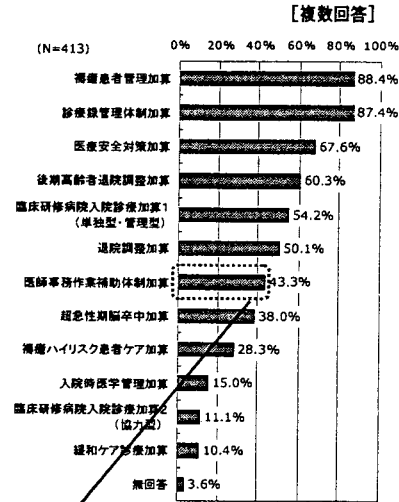
○ 承認等の状況 (図表 2-3) [複数回答]



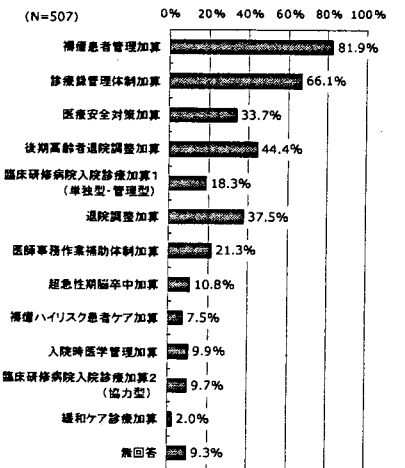
(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-4)



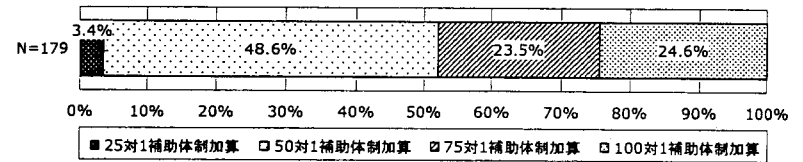
○ 診療報酬に係る届出状況 (図表 2-5)



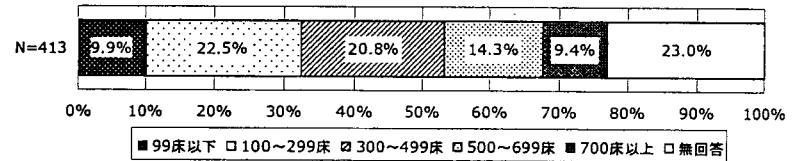
(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-6)



○ 医師事務作業補助体制加算に係る届出状況 (図表 2-7)

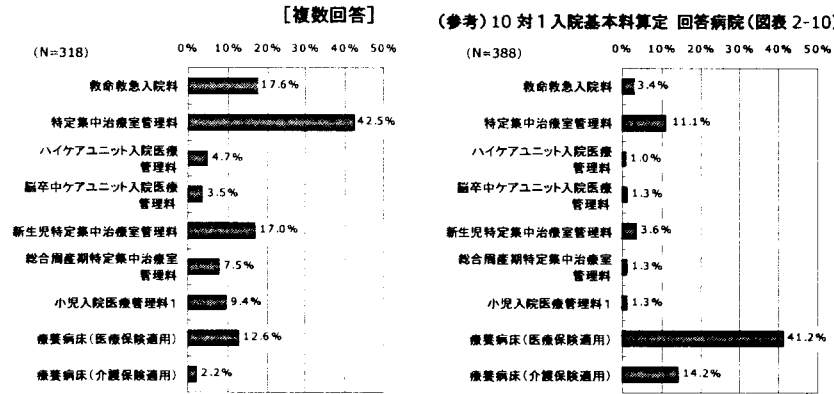


○ 許可病床数 (図表 2-8) ... 平均 387.7 床 ※有効回答 318 件で集計



(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院... 平均 202.8 床 ※有効回答 388 件で集計

○ 診療報酬に係る届出状況 (図表 2-9)



○ 1施設当たり届出病床数の病床種別構成 (図表 2-11)

病床種別	1施設当たり病床数	割合
一般病床	362.0床	93.4%
一般病床入院基本料のみ算定している病床	289.0床	74.5%
救命救急入院料	5.3床	1.4%
特定集中治療室管理料	4.1床	1.1%
ハイケアユニット入院医療管理料	0.6床	0.2%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	0.2床	0.1%
新生児特定集中治療室管理料	1.3床	0.3%
総合産産期特定集中治療室管理料	1.3床	0.3%
小児入院医療管理料1	6.3床	1.6%
療養病床(医療保険適用)	5.7床	1.5%
療養病床(介護保険適用)	1.0床	0.3%
精神病床	13.6床	3.5%
その他(感染病床・結核病床等)	5.4床	1.4%
合計	387.7床	100.0%

※有効回答 318 件で集計

(参考) 10 対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-12)

病床種別	1施設当たり病床数	割合
一般病床	167.7床	82.7%
一般病床入院基本料のみ算定している病床	127.2床	62.7%
救命救急入院料	1.0床	0.5%
特定集中治療室管理料	0.7床	0.3%
ハイケアユニット入院医療管理料	0.1床	0.0%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	0.1床	0.1%
新生児特定集中治療室管理料	0.2床	0.1%
総合産産期特定集中治療室管理料	0.2床	0.1%
小児入院医療管理料1	0.6床	0.3%
療養病床(医療保険適用)	18.7床	9.2%
療養病床(介護保険適用)	4.4床	2.1%
精神病床	6.3床	3.1%
その他(感染病床・結核病床等)	5.6床	2.8%
合計	202.8床	100.0%

※有効回答 388 件で集計

- 1施設1日当たり入院患者数
- … [H20.6] 平均 313.9人 [H21.6] 平均 316.8人 ※有効回答 297 件で集計  
(参考) 10 対1入院基本料算定 回答病院
- … [H20.6] 平均 167.7人 [H21.6] 平均 162.3人 ※有効回答 316 件で集計
- 1施設1日当たり外来患者数
- … [H20.6] 平均 573.9人 [H21.6] 平均 590.0人 ※有効回答 297 件で集計  
(参考) 10 対1入院基本料算定 回答病院
- … [H20.6] 平均 291.0人 [H21.6] 平均 292.1人 ※有効回答 316 件で集計
- 1施設当たり全身麻酔手術件数
- … [H20.6] 平均 134.5件 [H21.6] 平均 152.7件 ※有効回答 297 件で集計  
(参考) 10 対1入院基本料算定 回答病院
- … [H20.6] 平均 35.2件 [H21.6] 平均 39.4件 ※有効回答 316 件で集計
- 1施設当たり他の保険医療機関等からの紹介率
- … [H20.6] 平均 43.6% [H21.6] 平均 44.8% ※有効回答 297 件で集計  
(参考) 10 対1入院基本料算定 回答病院
- … [H20.6] 平均 25.5% [H21.6] 平均 26.6% ※有効回答 316 件で集計



□ 職員配置

○ 職員数（常勤換算人数）（図表 2-13）

職 種	1施設当たり 職員数	100床当たり 職員数
看護 師	323.1人	78.0人
准看護 師	12.4人	5.7人
看護補助者	22.0人	7.1人
医 師	114.9人	22.6人
薬 剤 師	17.1人	4.3人
理学療法士	7.2人	2.3人
作業療法士	2.9人	0.9人
言語聴覚士	1.5人	0.4人
診療放射線技師	17.1人	4.3人
臨床検査技師	24.5人	5.9人
臨床工学技士	5.8人	1.5人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	2.9人	0.9人
事務職員	53.8人	14.9人
合 計	605.3人	148.9人
1施設当たり病床数	394.5床	
一般病棟における看護職員（看護師・准看護師）	218.2人	75.3人
1施設当たり一般病棟入院基本料のみ算定病床数	333.8床	

※有効回答 274 件で集計

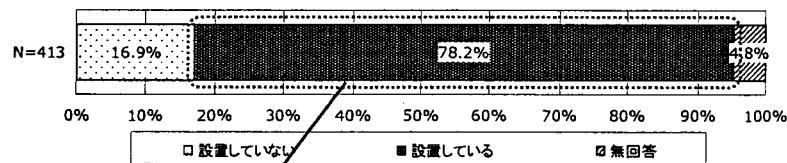
（参考）10 対 1 入院基本料算定 回答病院（図表 2-14）

職 種	1施設当たり 職員数	100床当たり 職員数
看護 師	114.1人	49.1人
准看護 師	15.8人	10.9人
看護補助者	19.7人	11.7人
医 師	30.9人	14.0人
薬 剤 師	6.9人	3.5人
理学療法士	4.9人	3.0人
作業療法士	2.0人	1.1人
言語聴覚士	0.9人	0.5人
診療放射線技師	6.9人	3.4人
臨床検査技師	8.9人	4.0人
臨床工学技士	2.4人	1.3人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.5人	0.7人
事務職員	24.4人	14.3人
合 計	239.4人	117.5人
1施設当たり病床数	208.5床	
一般病棟における看護職員（看護師・准看護師）	76.1人	49.7人
1施設当たり一般病棟入院基本料のみ算定病床数	153.0床	

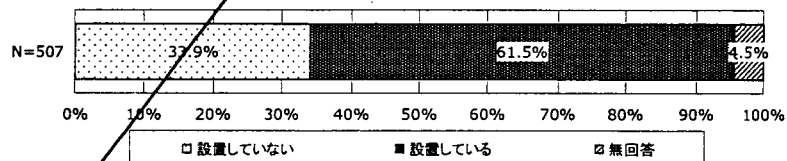
※有効回答 321 件で集計

□ 病院における他の医療機関との連携体制

○ 退院調整に関する部門の設置状況（図表 2-15）



（参考）10 対 1 入院基本料算定 回答病院（図表 2-16）



○ 当該部門に従事する職員数（実人数）（図表 2-17）

職 種	1 部署当たり 職 員 数		
	専 従	専 任	合 計
医 師	0.01人	0.2人	0.2人
看護 師・保 健 師	0.6人	0.7人	1.3人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	1.4人	1.1人	2.5人
事務職員	0.3人	0.3人	0.5人
そ の 他	0.03人	0.01人	0.04人
合 計	2.3人	2.3人	4.6人

※有効回答 323 件で集計

（参考）10 対 1 入院基本料算定 回答病院（図表 2-18）

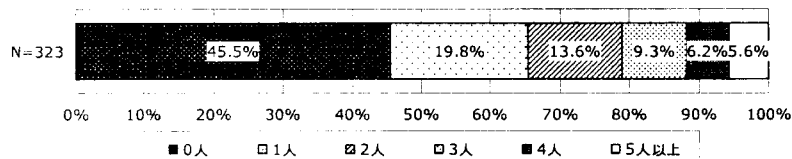
職 種	1 部署当たり 職 員 数		
	専 従	専 任	合 計
医 師	0.00人	0.2人	0.2人
看護 師・保 健 師	0.3人	0.6人	0.9人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	0.8人	0.6人	1.4人
事務職員	0.2人	0.3人	0.5人
そ の 他	0.02人	0.04人	0.06人
合 計	1.3人	1.8人	3.1人

※有効回答 312 件で集計

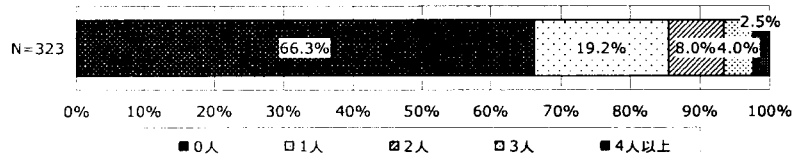
・当該部門に専従の職員配置をしている施設数（図表 2-19）

職 種	施設数	割合 (対全施設数)	平均専従 配置人数 (実人数)
医 師	3 施設	0.7%	1.33 人
看護 師・保 健 師	109 施設	26.4%	1.73 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	176 施設	42.6%	2.59 人
事務職員	43 施設	10.4%	2.12 人
そ の 他	8 施設	1.9%	1.25 人
総 数	413 施設	100.0%	
退院調整に関する部門の設置している施設数	323 施設		
専従の職員を配置している施設数	219 施設		

・当該部門に専従するソーシャルワーカー数（図表 2-20）



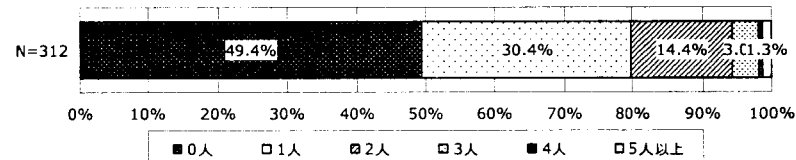
・当該部門に専従する看護師・保健師数（図表 2-21）



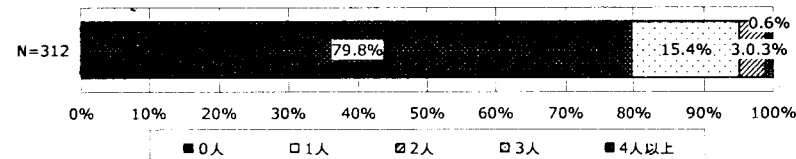
（参考）10対1入院基本料算定 回答病院（図表 2-22）

職 種	施設数	割合 (対全施設数)	平均専従 配置人数 (実人数)
医 師	0 施設	0.0%	0.00 人
看護 師・保 健 師	63 施設	12.4%	1.40 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	158 施設	31.2%	1.60 人
事務職員	33 施設	6.5%	1.42 人
そ の 他	5 施設	1.0%	1.00 人
総 数	507 施設	100.0%	
退院調整に関する部門の設置している施設数	312 施設		
専従の職員を配置している施設数	194 施設		

・当該部門に専従するソーシャルワーカー数（図表 2-23）



・当該部門に専従する看護師・保健師数（図表 2-24）



・当該部門に専任の職員配置をしている施設数（図表 2-25）

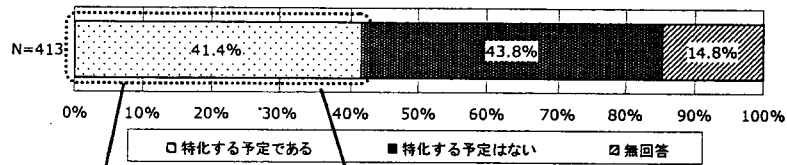
職 種	施設数	割合 (対全施設数)	平均専任 配置人数 (実人数)
医 師	47 施設	11.4%	1.51 人
看護 師・保 健 師	107 施設	25.9%	2.03 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	144 施設	34.9%	2.53 人
事務職員	53 施設	12.8%	1.55 人
そ の 他	2 施設	0.5%	1.00 人
総 数	413 施設	100.0%	
退院調整に関する部門の設置している施設数	323 施設		
専任の職員を配置している施設数	222 施設		

（参考）10対1入院基本料算定 回答病院（図表 2-26）

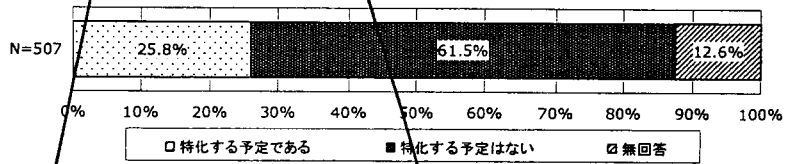
職 種	施設数	割合 (対全施設数)	平均専任 配置人数 (実人数)
医 師	51 施設	10.1%	1.43 人
看護 師・保 健 師	109 施設	21.5%	1.68 人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	116 施設	22.9%	1.70 人
事務職員	62 施設	12.2%	1.55 人
そ の 他	8 施設	1.6%	1.75 人
総 数	507 施設	100.0%	
退院調整に関する部門の設置している施設数	312 施設		
専任の職員を配置している施設数	198 施設		

□ 病院の医療機能に係る今後の予定

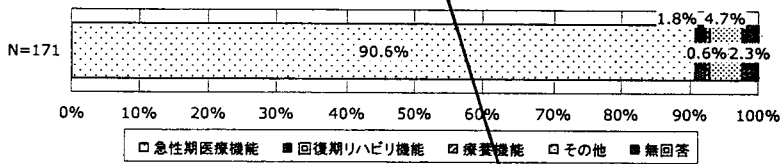
○ 医療機能に係る今後の方針 (図表 2-27)



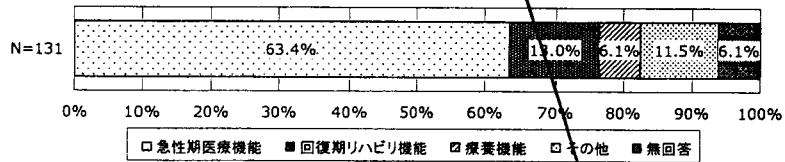
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院 (図表 2-28)



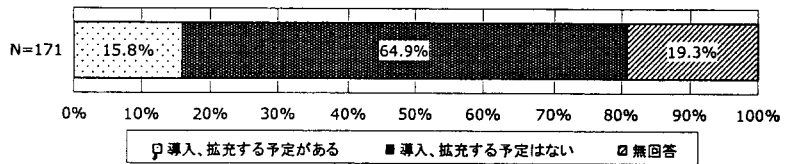
・特化する予定の医療機能 (図表 2-29)



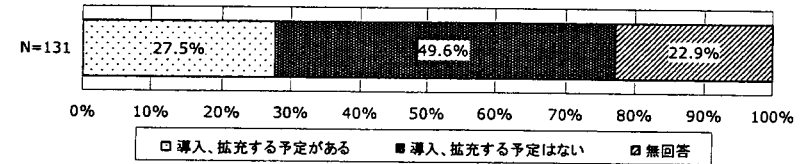
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院 (図表 2-30)



・今後、亜急性期医療機能を導入、拡充する予定の有無 (図表 2-31)

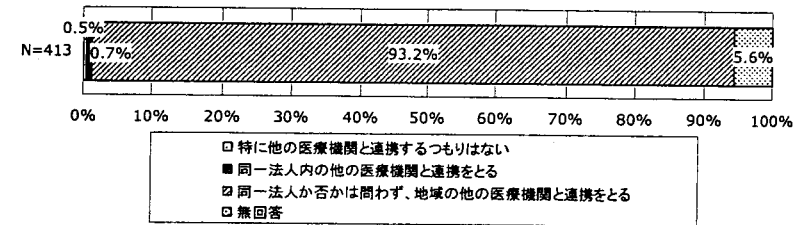


(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院 (図表 2-32)

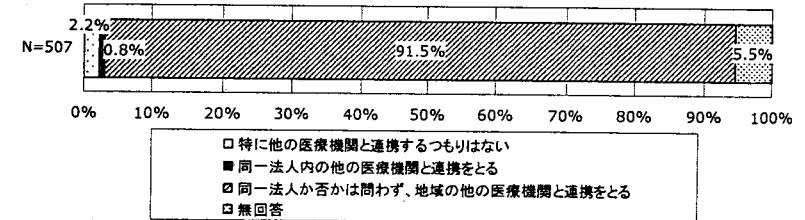


□ 病院の今後の医療機関との連携に関する意向

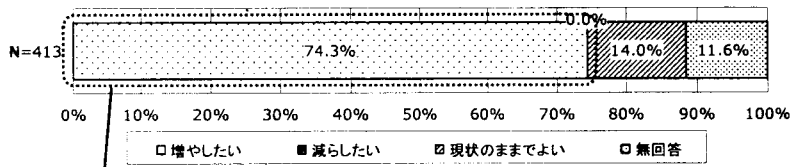
○ 他の医療機関との連携に対する意向 (図表 2-33)



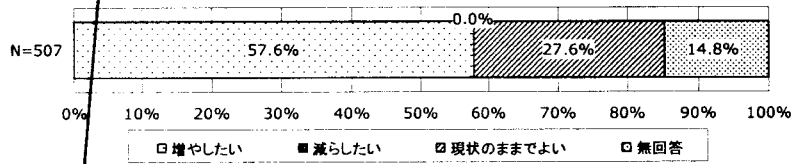
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院 (図表 2-34)



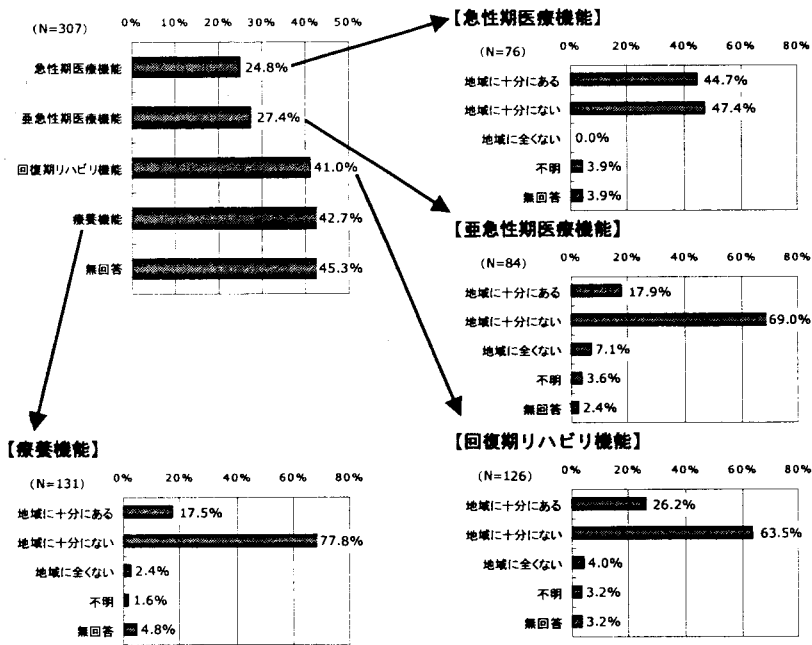
○ 連携する医療機関数に対する意向 (図表 2-35)



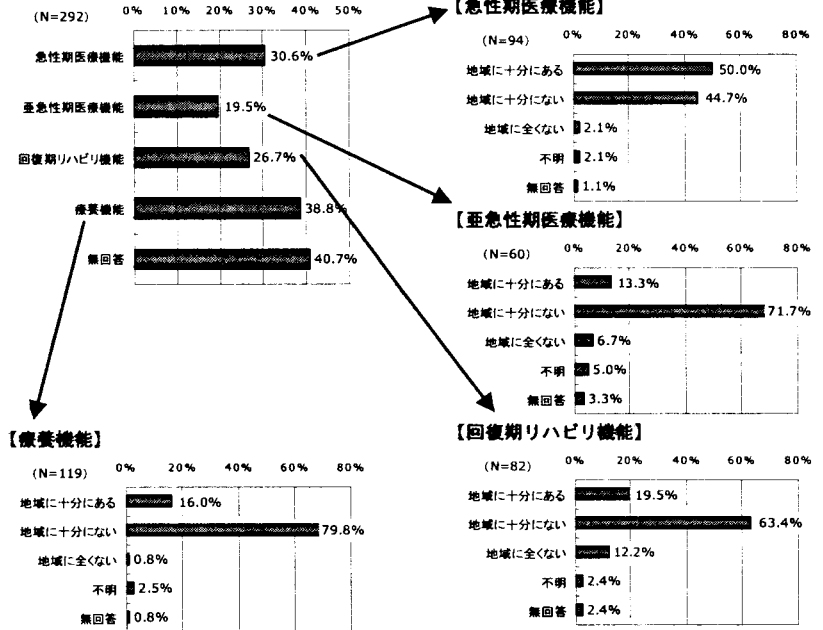
(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-36)



・連携先として増やしたい医療機能 (図表 2-37) [複数回答]

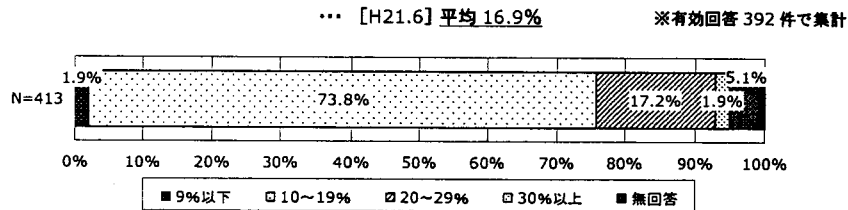


(参考) 10対1入院基本料算定 回答病院 (図表 2-38)



□ 一般病棟用の重症度・看護必要度に係る調査票による評価状況

○ 重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 (図表 2-39)



(参考) [H20.6] 平均 17.2% ※有効回答 313 件で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院… [H21.6] 平均 19.1% ※有効回答 76 件で集計

[H20.6] 平均 21.5% ※有効回答 48 件で集計

○ A モニタリング及び処置等に係る得点の平均値… [H21.6] 平均 1.41 点

※有効回答 335 件で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院… [H21.6] 平均 2.68 点 ※有効回答 77 件で集計

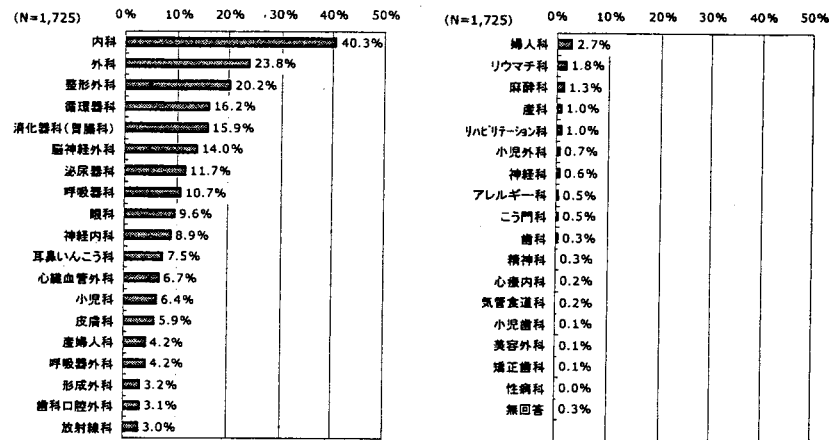
○ B 患者の状況等に係る得点の平均値… [H21.6] 平均 3.98 点

※有効回答 335 件で集計

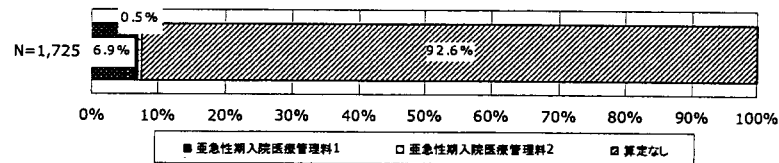
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病院… [H21.6] 平均 7.27 点 ※有効回答 77 件で集計

■ 病棟調査概要

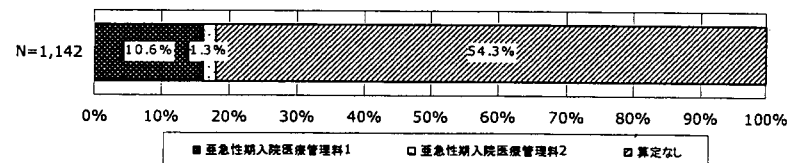
○ 病棟の診療科目 (図表 2-40) [3 つまで選択可]



○ 亜急性期入院医療管理料の算定状況 (図表 2-41)



(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-42)

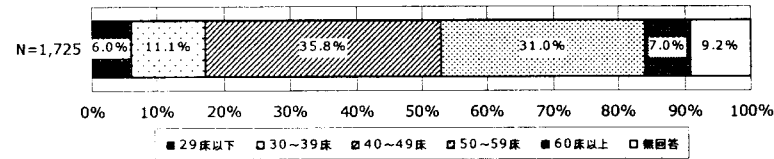


○ 1 病床当たりの病床数 (図表 2-43)

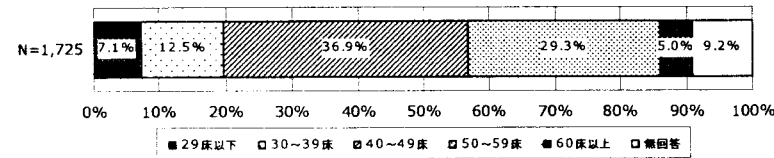
… [H21.6] 平均 46.5 床 再掲：一般病床 平均 45.3 床

(再々掲：亜急性期病室病床 平均 0.69 床 亜急性期病室以外の特定入院料病床 平均 0.39 床)

※有効回答 1,567 病床で集計



【再掲：1 病床当たりの一般病床数】(図表 2-44)



(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病床

1 病床当たりの病床数… [H21.6] 平均 49.7 床 再掲：一般病床 平均 47.5 床

(再々掲：亜急性期病室病床 平均 1.66 床 亜急性期病室以外の特定入院料病床 平均 0.58 床)

※有効回答 906 病床で集計

□ 算定病床の概況

○ 1 病床当たり 1 ヶ月間の一般病床入院基本料算定病床在院患者 (図表 2-45)

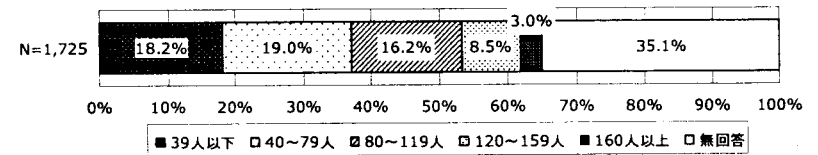
… [H21.6] 平均 75.1 人

※有効回答 1,120 病床で集計

1 病床当たり (一般病床-特定入院料届出病床) 病床数

… [H21.6] 平均 44.4 床

※有効回答 1,086 病床で集計



(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病床… [H21.6] 平均 68.6 人 ※有効回答 686 病床で集計

1 病床当たり (一般病床-特定入院料届出病床) 病床数

… [H21.6] 平均 44.4 床

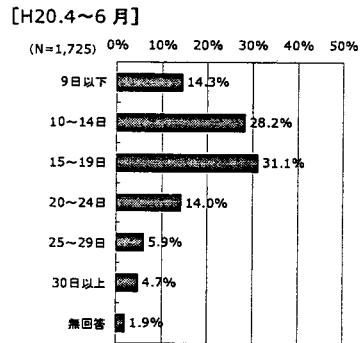
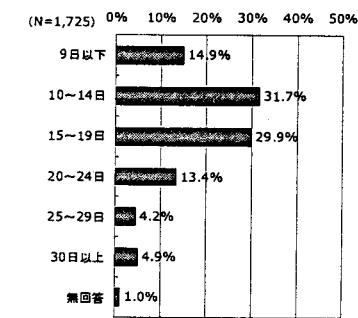
※有効回答 662 病床で集計

○ 在院患者の入院前の居場所 (図表 2-46)

入院前の居場所		人数	割合
自院	自院の急性期病床	4.15 人	5.5%
	自院のその他の病床	6.87 人	9.1%
他院	他病院	3.10 人	4.1%
	有床診療所	1.26 人	1.7%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1.18 人	1.6%
	その他居住系サービス等の施設	0.35 人	0.5%
	在宅	55.26 人	73.6%
	その他	2.93 人	3.9%
合計		75.09 人	100.0%

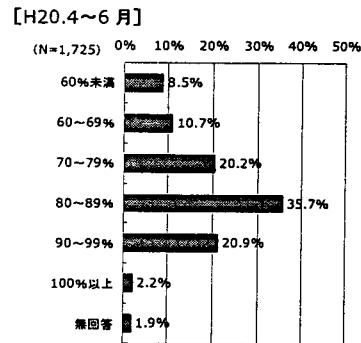
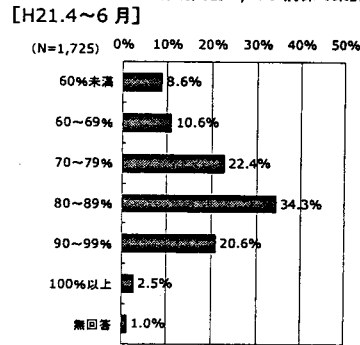
※有効回答 1,120 病床で集計

○ 平均在院日数 (図表 2-47)  
 … [H21.4~6月] 平均 16.7日  
 ※有効回答 1,708 病棟で集計  
 [H20.4~6月] 平均 17.1日  
 ※有効回答 1,693 病棟で集計



(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟  
 … [H21.4~6月] 平均 19.4日  
 ※有効回答 1,099 病棟で集計  
 [H20.4~6月] 平均 20.4日  
 ※有効回答 1,074 病棟で集計

○ 病床利用率 (図表 2-48)  
 … [H21.4~6月] 平均 79.8%  
 ※有効回答 1,708 病棟で集計  
 [H20.4~6月] 平均 80.0%  
 ※有効回答 1,693 病棟で集計



(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟  
 … [H21.4~6月] 平均 76.6%  
 ※有効回答 1,099 病棟で集計  
 [H20.4~6月] 平均 77.6%  
 ※有効回答 1,074 病棟で集計

○ 1 病棟当たりの一般病棟入院料算定病床に配置している看護職員数 (図表 2-49)  
 (非常勤職員は常勤換算人数)

職 種	1 病棟当たり一般病棟 入院料算定病床配置 看護職員数			一般病棟入院 料算定病床 50 床当たり 常勤・非常勤 看護職員数
	常 勤	非 常 勤	合 計	
看護 師	25.5 人	0.6 人	26.2 人	32.5 人
准看護 師	0.9 人	0.1 人	1.0 人	1.2 人
看護補助者	1.5 人	0.6 人	2.0 人	2.5 人
1 病棟当たり (一般病棟一特定入院料 届出病床) 病床数				44.4 床
(参考) 1 病棟当たり一般病床数				45.4 床

※有効回答 1,551 病棟で集計  
 (参考) 病床利用率… [H21.4~6月] 平均 79.7% ※有効回答 1,542 件で集計

○ 1 病棟当たりの一般病棟入院料算定病床に専従・専任している職員数 (図表 2-50)  
 (専任職員は常勤換算人数)

職 種	1 病棟当たり一般病棟 入院料算定病床 専従職員数			一般病棟入院 料算定病床 50 床当たり 専従・専任 職員数
	専 従	専 任	合 計	
薬 剤 師	0.09 人	0.39 人	0.48 人	0.58 人
理学療法士	0.05 人	0.34 人	0.39 人	0.57 人
作業療法士	0.01 人	0.13 人	0.14 人	0.19 人
ソーシャルワーカー (社会福祉士等)	0.01 人	0.13 人	0.14 人	0.20 人
事務職員	0.57 人	0.16 人	0.72 人	0.89 人
1 病棟当たり (一般病棟一特定入院料 届出病床) 病床数				44.4 床
(参考) 1 病棟当たり一般病床数				45.4 床

※有効回答 1,551 病棟で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定病棟の一般病棟 50 床当たりの常勤・非常勤看護職員数

(図表 2-51)

職 種	一般病棟入院料算定病床 50 床当たり 常勤・非常勤看護職員数
看護 師	24.8 人
准看護 師	2.4 人
看護補助者	3.5 人
1 病棟当たり (一般病棟一特定入院料届出病床) 病床数	45.6 床
(参考) 1 病棟当たり一般病床数	47.5 床

※有効回答 887 病棟で集計  
 (参考) 病床利用率… [H21.4~6月] 平均 77.3% ※有効回答 858 件で集計

(参考) 10対1入院基本料算定病床の一般病床50床当たりの専従・専任職員数

(図表 2-52)

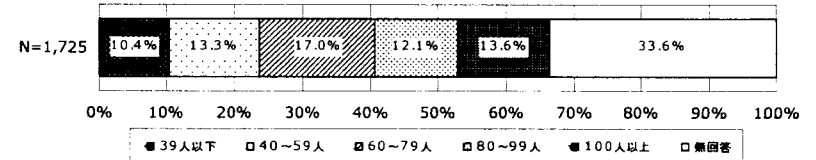
職 種	一般病床入院料算定病床50床当たり 専従・専任職員数
薬剤師	0.76人
理学療法士	0.65人
作業療法士	0.26人
ソーシャルワーカー(社会福祉士等)	0.23人
事務職員	0.80人
1病床当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数	45.6床
(参考)1病床当たり一般病床数	47.5床

※有効回答 887 病棟で集計

□ 退院患者の状況

○ 1病棟当たり1ヶ月間の一般病床入院基本料算定病床退院患者数(図表 2-53)

… [H21.6] 平均71.2人 ※有効回答 1,145 病棟で集計  
1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数  
… [H21.6] 平均44.9床 ※有効回答 1,108 病棟で集計



(参考) 10対1入院基本料算定 回答病棟… [H21.6] 平均63.1人 ※有効回答 784 病棟で集計  
1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数  
… [H21.6] 平均45.3床 ※有効回答 750 病棟で集計

○ 退院患者の退院・転院・転棟先(図表 2-54)

退 院 先		人 数	割 合
自 院	自院の回復期リハ病棟	0.00人	0.0%
	自院の亜急性期病室	0.74人	1.0%
	自院の回復期リハ病棟、亜急性期病室以外の一般病棟	5.28人	7.4%
	自院の回復期リハ病棟以外の療養病棟	0.17人	0.2%
	自院のその他の病棟	1.00人	1.4%
他 院	他病院	4.33人	6.1%
	有床診療所	0.60人	0.8%
そ の 他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1.00人	1.4%
	その他居住系サービス等の施設	0.27人	0.4%
	在宅	53.52人	75.2%
	その他	4.24人	6.0%
合 計		71.16人	100.0%

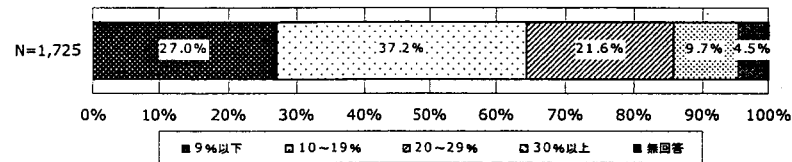
※有効回答 1,145 病棟で集計



□ 一般病棟用の重症度・看護必要度に係る調査票による評価状況

○ 重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 (図表 2-55)

… [H21.6] 平均 17.6% ※有効回答 1,648 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 17.6% ※有効回答 1,277 病棟で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟… [H21.6] 平均 19.0% ※有効回答 266 病棟で集計

[H20.6] 平均 21.0% ※有効回答 124 病棟で集計

○ A モニタリング及び処置等に係る得点の平均値… [H21.6] 平均 1.87 点

※有効回答 1,477 病棟で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟… [H21.6] 平均 1.95 点

※有効回答 250 病棟で集計

○ B 患者の状況等に係る得点の平均値… [H21.6] 平均 5.00 点

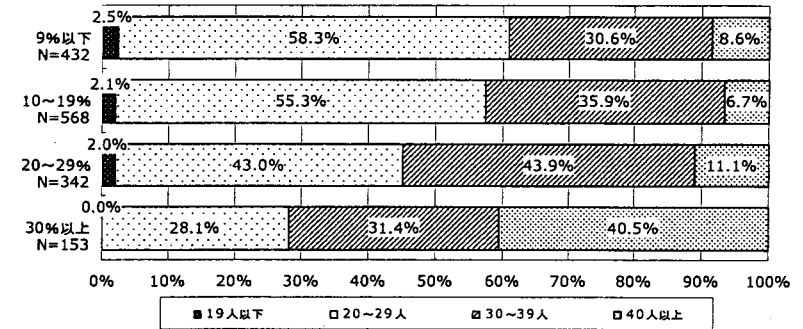
※有効回答 1,477 病棟で集計

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟… [H21.6] 平均 5.15 点

※有効回答 250 病棟で集計

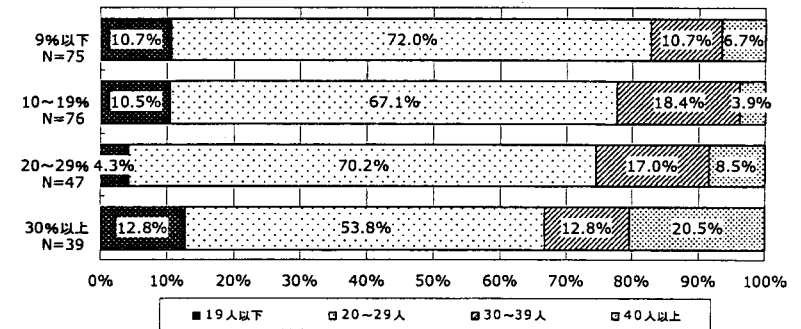
○ 重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合別の一般病棟入院料算定病床 50 床当たり看護職員数の状況 (50 床当たり看護職員 (看護師・准看護師) は常勤換算人数) (図表 2-56)

(N=1,495)

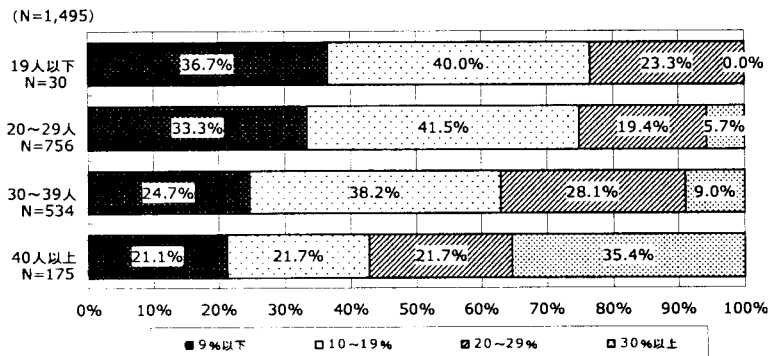


(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-57)

(N=237)



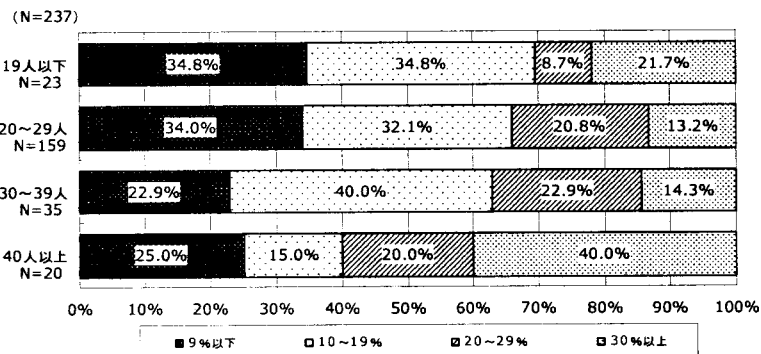
○ 一般病棟入院料算定病床 50 床当たり看護職員数別の重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の状況 (50 床当たり看護職員 (看護師・准看護師) は常勤換算人数) (図表 2-58)



重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合

- … [19人以下] 平均 13.8% ※有効回答 30 病棟で集計
- … [20~29人] 平均 14.9% ※有効回答 756 病棟で集計
- … [30~39人] 平均 17.5% ※有効回答 534 病棟で集計
- … [40人以上] 平均 30.9% ※有効回答 175 病棟で集計

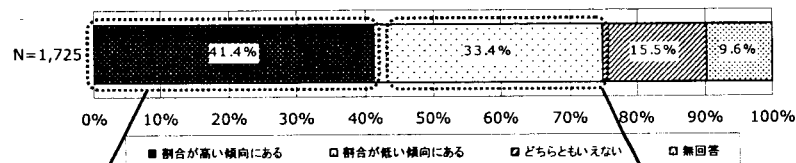
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-59)



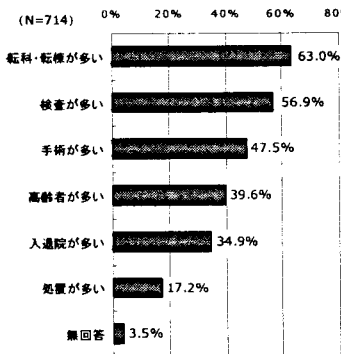
重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合

- … [19人以下] 平均 17.8% ※有効回答 23 病棟で集計
- … [20~29人] 平均 17.5% ※有効回答 159 病棟で集計
- … [30~39人] 平均 18.6% ※有効回答 35 病棟で集計
- … [40人以上] 平均 27.7% ※有効回答 20 病棟で集計

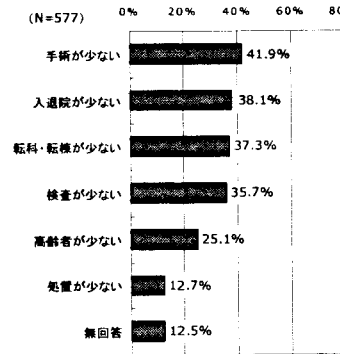
○ 院内の他病棟と比較した場合の重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 (図表 2-60)



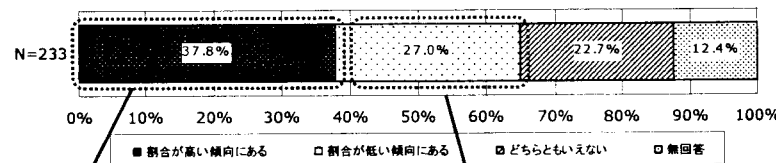
[割合が高い傾向にある理由]



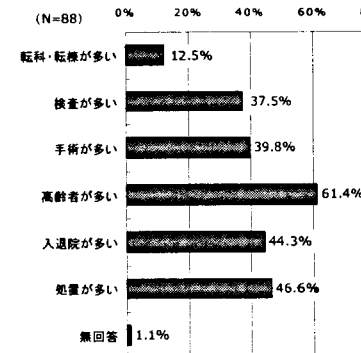
[割合が低い傾向にある理由]



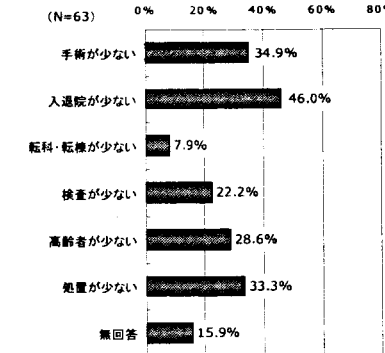
(参考) 10 対 1 入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-61)



[割合が高い傾向にある理由]



[割合が低い傾向にある理由]



○ 重症度・看護必要度に係る評価票の各得点ごとの一般病床50床当たり入院患者延べ数  
(図表 2-62) ※有効回答 1,352 病棟で集計

		B患者の状況等に係る得点		合 計 (延べ数)
		0~2点	3点以上	
如療の病棟等 Aモニタリング及び 及び	0~1点	582.7 (48.9%)	273.2 (22.9%)	856.0 (71.8%)
	2点以上	126.9 (10.6%)	210.1 (17.6%)	336.9 (28.2%)
合 計 (延べ数)		709.6 (59.5%)	483.3 (40.5%)	1192.9 (100.0%)

※ 1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数 平均44.3床

(参考) 10対1入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-63) ※有効回答 202 病棟で集計

		B患者の状況等に係る得点		合 計 (延べ数)
		0~2点	3点以上	
如療の病棟等 Aモニタリング及び 及び	0~1点	406.8 (48.0%)	209.5 (24.7%)	616.3 (72.7%)
	2点以上	80.4 (9.5%)	150.7 (17.8%)	231.1 (27.3%)
合 計 (延べ数)		487.2 (57.5%)	360.2 (42.5%)	847.4 (100.0%)

※ 1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数 平均44.7床

○ 重症度・看護必要度に係る評価票の各得点ごとの一般病床50床当たり入院患者延べ数 (図表 2-64) ※有効回答 1,352 病棟で集計

如療の病棟等 Aモニタリング及び 及び 重症度に係る得点	B患者の状況等に係る得点						合 計 (延べ数)
	0~2点	3点	4点	5点	6~12点		
0~1点	582.7 (48.9%)	38.0 (3.2%)	32.6 (2.7%)	26.9 (2.3%)	175.7 (14.7%)	856.0 (71.8%)	
2点	77.7 (6.5%)	10.8 (0.9%)	6.1 (0.5%)	5.9 (0.5%)	57.0 (4.8%)	157.6 (13.2%)	
3点	34.1 (2.9%)	5.5 (0.5%)	4.0 (0.3%)	3.9 (0.3%)	39.7 (3.3%)	87.2 (7.3%)	
4点	9.3 (0.8%)	2.5 (0.2%)	3.1 (0.3%)	2.1 (0.2%)	21.4 (1.8%)	38.2 (3.2%)	
5~10点	5.8 (0.5%)	2.1 (0.2%)	2.0 (0.2%)	2.8 (0.2%)	41.2 (3.5%)	53.9 (4.5%)	
合 計 (延べ数)	709.6 (59.5%)	58.9 (4.9%)	47.9 (4.0%)	41.5 (3.5%)	335.0 (28.1%)	1192.9 (100.0%)	

※ 1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数 平均44.3床

(参考) 10対1入院基本料算定 回答病棟 (図表 2-65)

如療の病棟等 Aモニタリング及び 及び 重症度に係る得点	B患者の状況等に係る得点						合 計 (延べ数)
	0~2点	3点	4点	5点	6~12点		
0~1点	406.8 (48.0%)	28.1 (3.3%)	20.2 (2.4%)	25.3 (3.0%)	135.8 (16.0%)	616.3 (72.7%)	
2点	53.6 (6.3%)	4.6 (0.5%)	4.6 (0.5%)	5.1 (0.6%)	49.3 (5.8%)	117.3 (13.8%)	
3点	19.4 (2.3%)	3.7 (0.4%)	2.1 (0.2%)	3.0 (0.4%)	27.4 (3.2%)	55.5 (6.5%)	
4点	5.5 (0.6%)	1.2 (0.1%)	1.0 (0.1%)	1.4 (0.2%)	16.4 (1.9%)	25.5 (3.0%)	
5~10点	2.0 (0.2%)	0.7 (0.1%)	0.9 (0.1%)	1.7 (0.2%)	27.7 (3.3%)	32.9 (3.9%)	
合 計 (延べ数)	487.2 (57.5%)	38.3 (4.5%)	28.8 (3.4%)	36.5 (4.3%)	256.7 (30.3%)	847.4 (100.0%)	

※ 1病棟当たり(一般病床-特定入院料届出病床)病床数 平均44.7床

■ 患者調査概要

□ 患者属性

○ 主傷病 (図表 2-66) (N=6,821)

順位	傷病名	割合(全体)
1	その他の消化器系の疾患	7.5%
2	その他の悪性新生物	6.3%
3	骨折	5.0%
4	肺炎	4.5%
5	虚血性心疾患	4.1%
6	脳梗塞	3.5%
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3.3%
8	その他の心疾患	3.1%
9	腎の悪性新生物	2.7%
10	その他の循環器系の疾患	2.6%

(参考) 10対1入院基本料算定 (N=4,493)

順位	傷病名	割合(全体)
1	肺炎	7.4%
2	骨折	5.7%
3	脳梗塞	4.1%
4	その他の心疾患	2.8%
5	糖尿病	2.2%
6	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2.0%
7	脊椎障害(脊椎症を含む)	1.7%
8	その他の損傷及びその他の外因の影響	1.5%
9	脳内出血	1.3%
10	関節症	1.0%

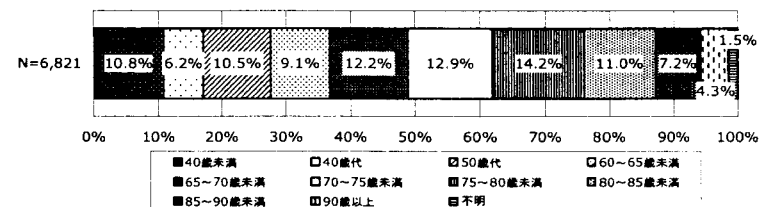
○ 診療科 (図表 2-67) (N=6,821)

順位	診療科名	割合(全体)
1	内科	20.2%
2	外科	13.7%
3	整形外科	11.3%
4	循環器科	8.1%
5	消化器科(胃腸科)	7.4%

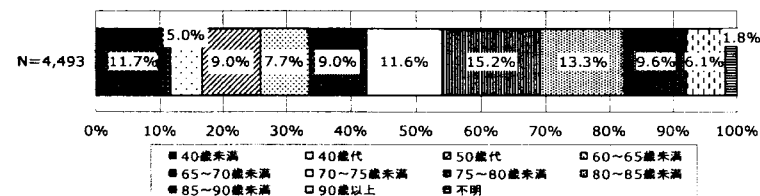
(参考) 10対1入院基本料算定 (N=4,493)

順位	傷病名	割合(全体)
1	内科	30.8%
2	外科	14.6%
3	整形外科	13.5%
4	脳神経外科	5.4%
5	循環器科	5.0%

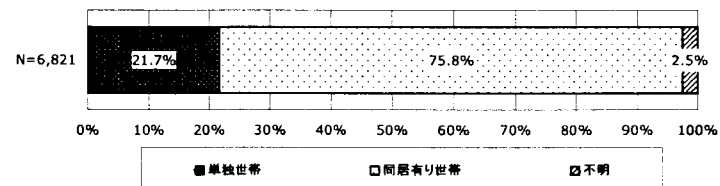
○ 年齢 (図表 2-68) ...平均 65.6 歳



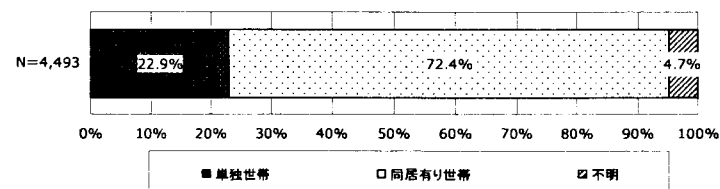
(参考) 10対1入院基本料算定...平均 66.7 歳



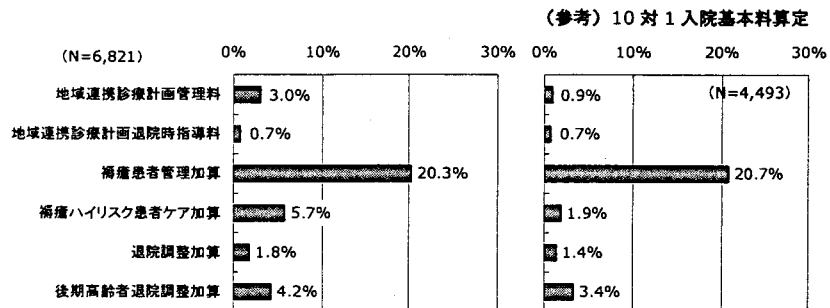
○ 世帯構成 (図表 2-69)



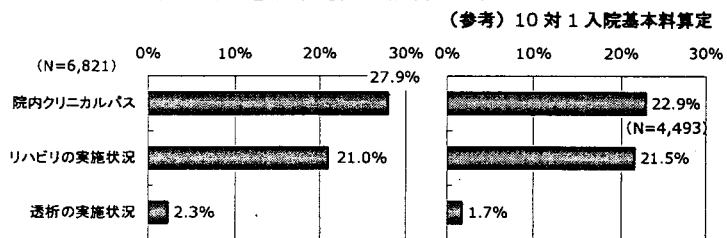
参考) 10対1入院基本料算定



○ 算定状況（図表 2-70）

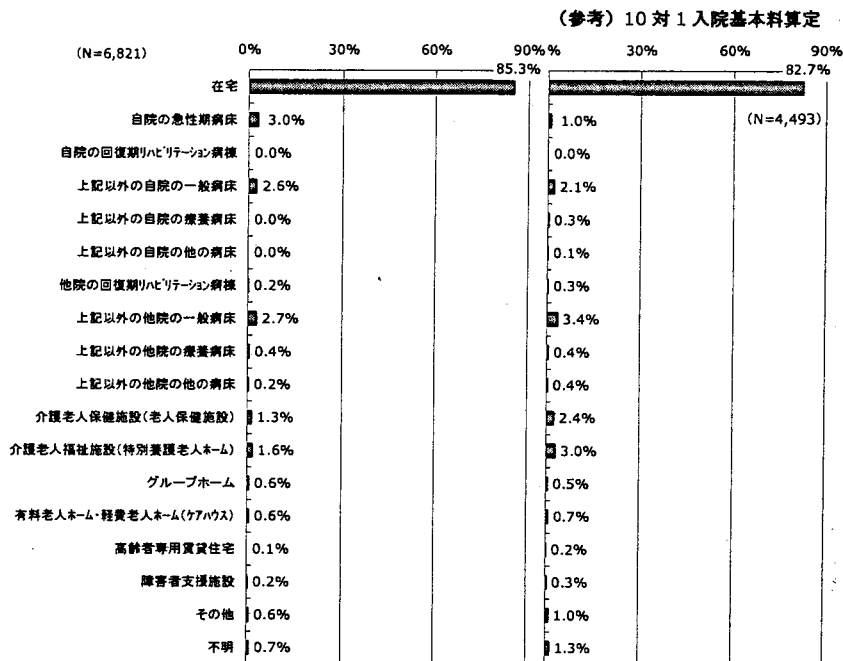


○ 院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況（図表 2-71）

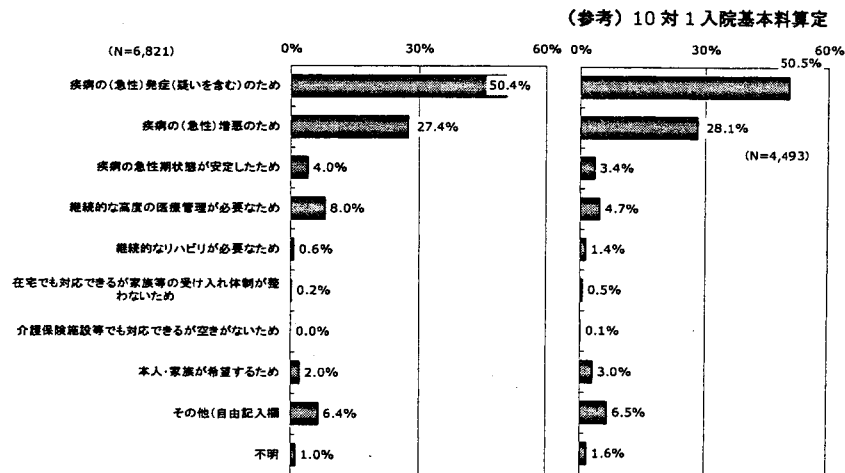


□ 入棟時の患者状況

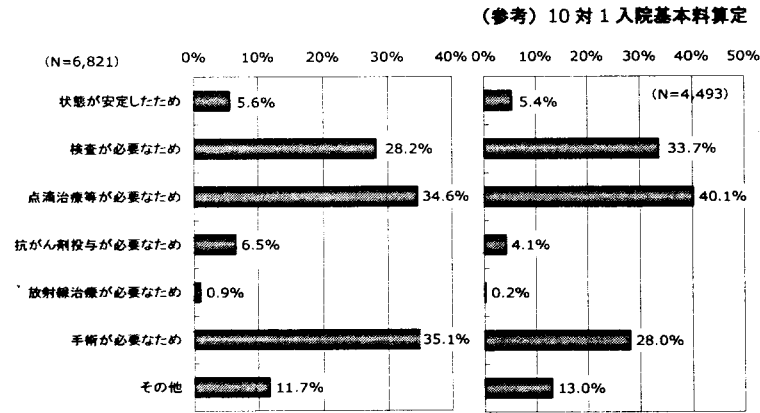
○ 入棟前の居場所（図表 2-72）



○ 入棟した背景（図表 2-73）



○ 入棟した理由 (図表 2-74)



○ 入棟日「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布 (図表 2-75)

A モニタリング 及び 処置等	(N=5,947)	B患者の状況等					合計
		0~2点	3点	4点	5点	6~12点	
0~1点		58.0%	2.8%	2.1%	1.8%	11.4%	76.2%
2点		5.1%	0.6%	0.4%	0.3%	3.8%	10.3%
3点		1.9%	0.3%	0.2%	0.2%	2.4%	5.0%
4点		0.7%	0.0%	0.2%	0.2%	1.9%	3.0%
5~10点		0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	4.9%	5.6%
合計		65.9%	3.8%	3.2%	2.7%	24.4%	100.0%

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 A 得点 - B 得点の分布 (図表 2-76)

A モニタリング 及び 処置等	(N=1,744)	B患者の状況等					合計
		0~2点	3点	4点	5点	6~12点	
0~1点		55.5%	3.5%	1.8%	1.5%	13.5%	75.8%
2点		5.5%	0.1%	0.3%	0.3%	4.0%	10.2%
3点		2.5%	0.3%	0.2%	0.2%	2.4%	5.6%
4点		0.9%	0.2%	0.1%	0.2%	1.3%	2.6%
5~10点		1.0%	0.0%	0.2%	0.2%	4.4%	5.8%
合計		65.4%	4.1%	2.6%	2.4%	25.6%	100.0%

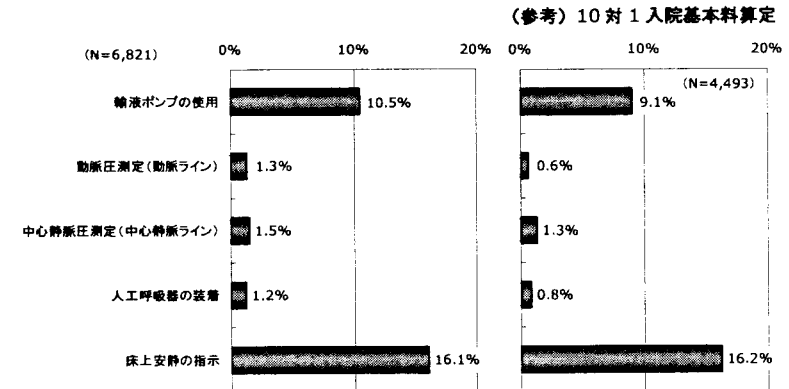
○ 入棟日「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-77)

A モニタリング 及び 処置等	(N=5,947)	B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置		5.31%	4.89%	5.36%	6.12%	5.26%	3.75%	6.34%
血圧測定		9.52%	9.33%	10.12%	11.40%	9.55%	5.11%	11.18%
時間尿測定		3.50%	3.36%	3.68%	3.92%	3.63%	2.66%	3.90%
呼吸ケア		11.67%	11.33%	12.22%	14.24%	12.66%	6.51%	13.45%
点滴ライン同時3本以上		4.52%	4.56%	4.76%	5.18%	4.74%	2.44%	4.96%
心電図モニター		11.06%	11.10%	11.96%	14.23%	12.48%	6.36%	14.04%
シリンジポンプの使用		4.36%	4.49%	4.73%	5.21%	4.96%	2.79%	5.08%
輸血や血液製剤の使用		2.15%	2.24%	2.29%	2.64%	2.24%	1.53%	2.54%
専門的な治療・処置		5.41%	5.26%	5.67%	6.73%	5.58%	2.99%	6.68%

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-78)

A モニタリング 及び 処置等	(N=1,744)	B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置		5.79%	5.96%	6.25%	6.94%	5.96%	5.28%	7.11%
血圧測定		9.98%	9.98%	11.01%	13.19%	11.18%	8.49%	13.19%
時間尿測定		4.07%	4.30%	4.30%	4.64%	4.36%	3.50%	4.76%
呼吸ケア		10.84%	11.07%	11.47%	12.67%	11.93%	8.77%	12.96%
点滴ライン同時3本以上		3.78%	3.90%	4.19%	4.24%	3.90%	3.04%	4.47%
心電図モニター		9.06%	9.35%	10.21%	11.64%	9.98%	6.48%	11.53%
シリンジポンプの使用		3.84%	4.07%	4.42%	4.64%	4.36%	3.27%	4.76%
輸血や血液製剤の使用		2.01%	2.18%	2.24%	2.41%	2.24%	2.06%	2.47%
専門的な治療・処置		4.19%	4.30%	4.76%	5.91%	4.64%	3.15%	5.91%

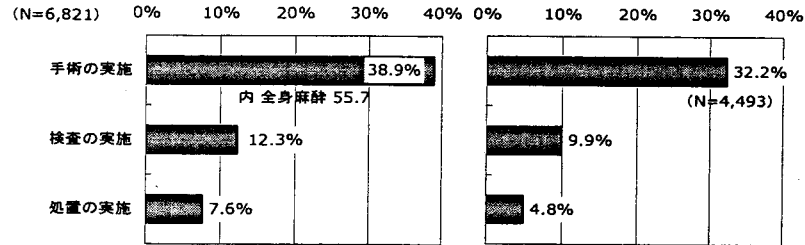
○ 入棟時の患者のその他の状況等 (図表 2-79)



□ 入棟中の患者状況

○ 手術、侵襲性の高い検査、侵襲性の高い処置の実施 (図表 2-80)

(参考) 10 対 1 入院基本料算定



○ 最高点時「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布 (図表 2-81)

A. モニタリング及び処置等	(N=5,940)	B. 患者の状況等					合計
		0~2点	3点	4点	5点	6~12点	
0~1点	28.5%	2.4%	1.9%	1.8%	12.2%	46.8%	
2点	7.0%	1.1%	0.6%	0.6%	6.9%	16.1%	
3点	3.9%	0.5%	0.4%	0.5%	6.3%	11.6%	
4点	1.6%	0.2%	0.4%	0.4%	5.4%	7.9%	
5~10点	1.0%	0.4%	0.4%	0.3%	15.6%	17.6%	
合計	41.9%	4.5%	3.6%	3.5%	46.4%	100.0%	

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 A 得点・B 得点の分布 (図表 2-82)

A. モニタリング及び処置等	(N=1,690)	B. 患者の状況等					合計
		0~2点	3点	4点	5点	6~12点	
0~1点	34.4%	2.8%	2.1%	1.3%	11.7%	52.2%	
2点	7.1%	0.8%	0.5%	0.3%	6.4%	15.1%	
3点	4.0%	0.5%	0.5%	0.6%	5.8%	11.4%	
4点	1.7%	0.1%	0.2%	0.2%	3.8%	6.0%	
5~10点	1.6%	0.4%	0.5%	0.3%	12.5%	15.3%	
合計	48.8%	4.5%	3.8%	2.7%	40.2%	100.0%	

○ 最高点時「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-83)

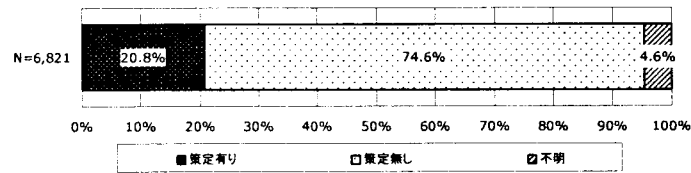
A. モニタリング及び処置等	B. 患者の状況等						
	寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置	16.55%	15.96%	16.60%	18.50%	15.72%	9.55%	18.67%
血圧測定	28.03%	28.00%	29.09%	32.12%	26.85%	13.69%	30.54%
時間尿測定	10.51%	10.40%	10.72%	11.01%	10.03%	5.56%	10.54%
呼吸ケア	28.40%	27.88%	29.04%	31.38%	28.48%	14.70%	29.88%
点滴ライン同時3本以上	10.20%	10.39%	10.62%	11.13%	10.29%	4.93%	10.76%
心電図モニター	25.40%	25.74%	26.78%	29.51%	25.99%	14.16%	28.65%
シリンジポンプの使用	7.90%	8.06%	8.30%	8.94%	8.38%	4.73%	8.91%
輸血や血液製剤の使用	4.88%	4.81%	4.93%	5.49%	5.00%	3.01%	5.42%
専門的な治療・処置	18.08%	17.64%	18.30%	20.39%	17.46%	8.57%	20.00%

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-84)

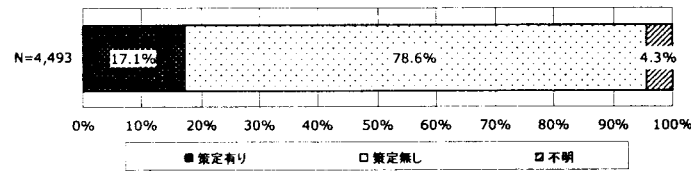
A. モニタリング及び処置等	(N=1,690)	B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置	14.85%	15.44%	15.38%	17.04%	15.09%	10.77%	17.99%	
血圧測定	25.09%	26.33%	26.80%	29.47%	25.03%	16.63%	29.35%	
時間尿測定	10.24%	10.71%	10.71%	11.07%	10.00%	7.34%	11.18%	
呼吸ケア	22.84%	23.37%	23.55%	25.09%	23.08%	14.38%	25.33%	
点滴ライン同時3本以上	8.88%	8.82%	8.82%	9.23%	8.46%	4.91%	9.76%	
心電図モニター	20.71%	21.30%	21.89%	23.25%	21.07%	13.96%	24.38%	
シリンジポンプの使用	7.28%	7.69%	7.63%	7.59%	7.87%	5.50%	8.64%	
輸血や血液製剤の使用	4.08%	4.14%	4.26%	4.79%	4.08%	3.02%	4.79%	
専門的な治療・処置	13.31%	13.31%	13.31%	15.09%	12.90%	7.34%	15.68%	

□ 退棟時の患者状況

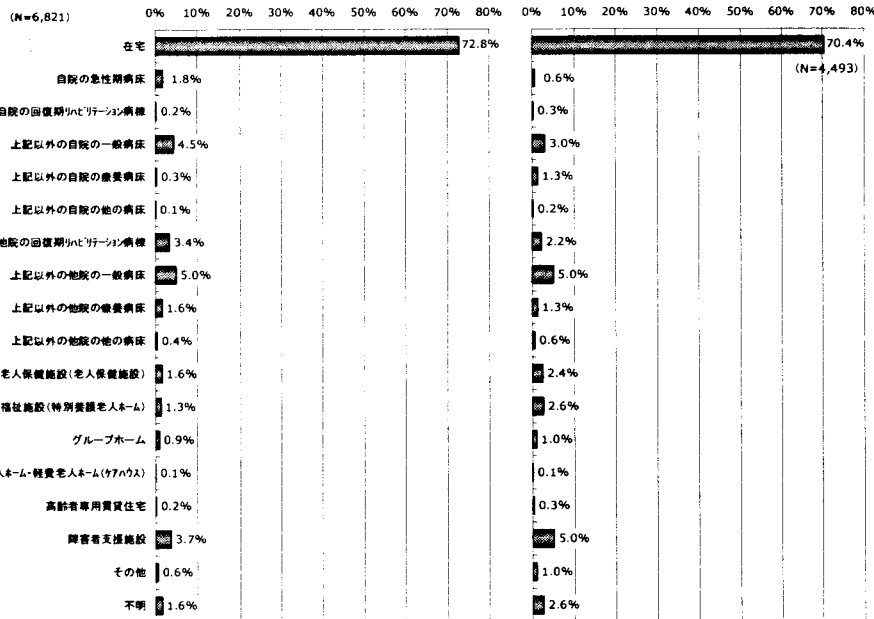
○ 退院支援計画書の策定 (図表 2-85)



(参考) 10 対 1 入院基本料算定

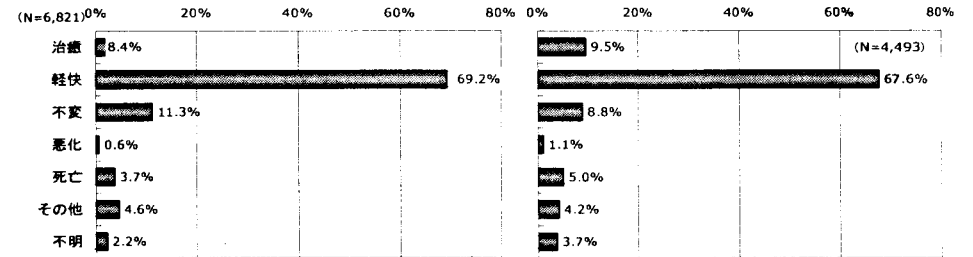


○ 退棟後の居場所 (図表 2-86)



○ 転帰 (図表 2-87)

(参考) 10 対 1 入院基本料算定



○ 選棟日「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布 (図表 2-88)

A モニタリング 及び 処置等 (N=6,103)	B 患者の状況等					
	0~2点	3点	4点	5点	6~12点	合計
0~1点	68.3%	2.6%	2.4%	1.7%	9.7%	84.6%
2点	4.3%	0.3%	0.2%	0.2%	2.0%	7.1%
3点	1.0%	0.2%	0.1%	0.1%	1.4%	2.8%
4点	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	1.1%	1.7%
5~10点	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	3.6%	3.8%
合計	74.0%	3.2%	2.9%	2.1%	17.8%	100.0%

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 A 得点・B 得点の分布 (図表 2-89)

A モニタリング 及び 処置等 (N=1,806)	B 患者の状況等					
	0~2点	3点	4点	5点	6~12点	合計
0~1点	68.3%	2.0%	1.4%	1.4%	12.0%	85.2%
2点	3.9%	0.2%	0.1%	0.2%	2.5%	7.0%
3点	1.2%	0.1%	0.1%	0.1%	1.1%	2.5%
4点	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.7%	1.0%
5~10点	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	3.8%	4.4%
合計	74.0%	2.4%	1.8%	1.8%	20.0%	100.0%



○ 退棟日「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-90)

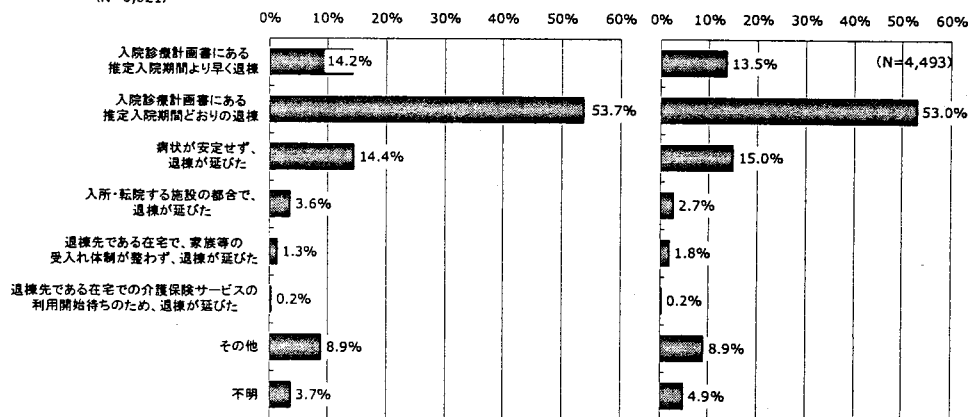
(N=6,103)		B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
A モニタリング 及び 処置等	褥瘡処置	4.80%	4.23%	4.37%	5.00%	4.87%	3.83%	6.05%
	血圧測定	6.01%	5.77%	5.82%	6.46%	5.96%	3.42%	6.60%
	時間尿測定	2.28%	2.28%	2.21%	2.29%	2.20%	1.69%	2.28%
	呼吸ケア	8.59%	8.44%	8.68%	9.09%	9.06%	5.65%	9.31%
	点滴ライン同時3本以上	2.88%	2.92%	2.88%	2.88%	2.92%	1.65%	2.92%
	心電図モニター	6.70%	6.72%	6.78%	7.72%	7.29%	4.03%	7.73%
	シリンジポンプの使用	3.01%	2.98%	2.98%	3.08%	3.08%	1.79%	3.13%
	輸血や血液製剤の使用	1.82%	1.82%	1.84%	1.90%	1.85%	1.43%	1.90%
	専門的な治療・処置	4.51%	4.18%	4.37%	5.15%	4.74%	2.83%	5.23%

(参考) 10 対 1 入院基本料算定 「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布 (図表 2-91)

(N=1,806)		B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
A モニタリング 及び 処置等	褥瘡処置	4.26%	4.21%	4.32%	4.82%	4.32%	3.49%	5.37%
	血圧測定	7.53%	7.09%	7.25%	8.36%	7.70%	5.26%	8.64%
	時間尿測定	3.10%	3.05%	3.10%	3.21%	3.10%	2.38%	3.32%
	呼吸ケア	8.80%	8.86%	9.03%	9.19%	9.14%	6.31%	9.58%
	点滴ライン同時3本以上	2.99%	2.99%	3.16%	3.16%	2.93%	1.94%	3.16%
	心電図モニター	6.26%	6.15%	6.48%	6.81%	6.26%	3.82%	6.76%
	シリンジポンプの使用	3.10%	3.16%	3.21%	3.21%	3.16%	1.94%	3.32%
	輸血や血液製剤の使用	1.66%	1.66%	1.66%	1.72%	1.55%	1.33%	1.66%
	専門的な治療・処置	3.60%	3.65%	3.88%	4.26%	4.10%	2.49%	4.54%

○ 退棟までの経緯 (図表 2-92)

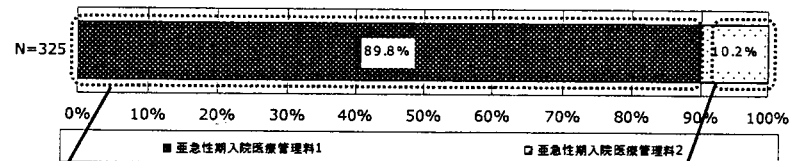
(N=6,821)



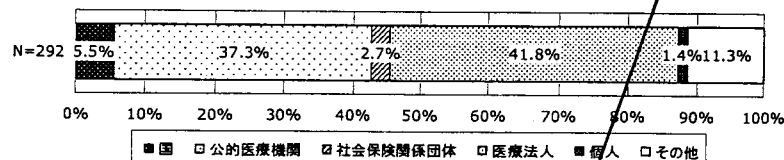
(3) 亜急性期入院医療管理料算定 回答病院

■ 施設調査概要

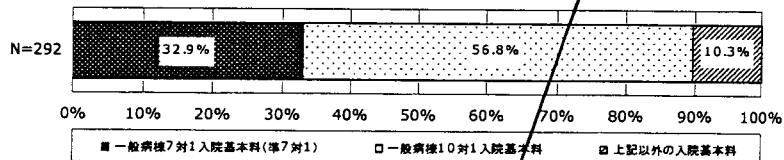
○ 算定している診療報酬 (図表 3-1)



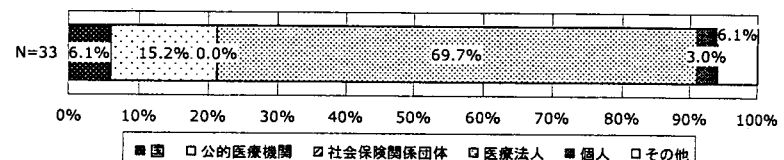
・ 亜急性期入院医療管理料1における設置主体 (図表 3-2)



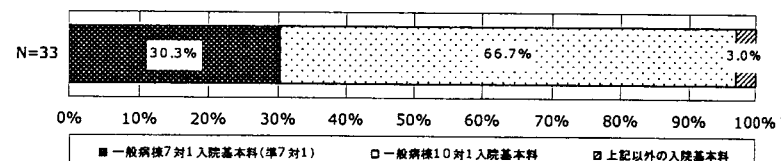
・ 亜急性期入院医療管理料1における入院基本料 (図表 3-3)



・ 亜急性期入院医療管理料2における設置主体 (図表 3-4)

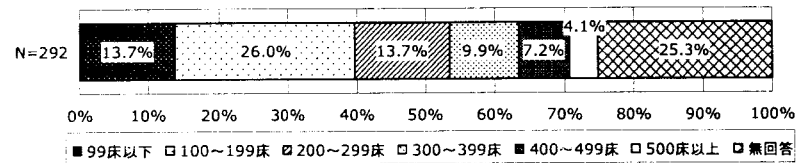


・ 亜急性期入院医療管理料2における入院基本料 (図表 3-5)

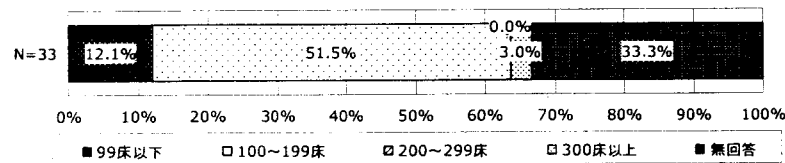


○ 許可病床数

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-6) … 平均 232.3 床 ※有効回答 218 件で集計



・亜急性期入院医療管理料 2 (図表 3-7) … 平均 138.3 床 ※有効回答 22 件で集計



○ 1施設当たり届出病床数の病床種別構成

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-8)

病床種別	1施設当たり病床数	割合
一般病床	191.4 床	82.4%
一般病床入院基本料のみ算定している病床	150.3 床	64.7%
亜急性期入院医療管理料	11.2 床	4.8%
療養病床 (医療保険適用)	19.1 床	8.2%
療養病床 (介護保険適用)	5.0 床	2.2%
精神病床	8.8 床	3.8%
その他 (感染病床・結核病床等)	7.9 床	3.4%
合計	232.3 床	100.0%

※有効回答 218 件で集計

・亜急性期入院医療管理料 2 (図表 3-9)

病床種別	1施設当たり病床数	割合
一般病床	101.9 床	73.6%
一般病床入院基本料のみ算定している病床	63.2 床	45.7%
亜急性期入院医療管理料	16.7 床	12.1%
療養病床 (医療保険適用)	24.5 床	17.7%
療養病床 (介護保険適用)	5.0 床	3.6%
精神病床	4.5 床	3.3%
その他 (感染病床・結核病床等)	2.4 床	1.7%
合計	138.3 床	100.0%

※有効回答 22 件で集計

○ 1施設1日当たり入院患者数

・亜急性期入院医療管理料 1 … [H20.6] 平均 181.3 人 [H21.6] 平均 177.5 人  
※有効回答 215 件で集計

・亜急性期入院医療管理料 2 … [H20.6] 平均 114.9 人 [H21.6] 平均 111.3 人  
※有効回答 22 件で集計

○ 1施設1日当たり外来患者数

・亜急性期入院医療管理料 1 … [H20.6] 平均 295.4 人 [H21.6] 平均 299.0 人  
※有効回答 215 件で集計

・亜急性期入院医療管理料 2 … [H20.6] 平均 184.1 人 [H21.6] 平均 186.9 人  
※有効回答 22 件で集計

□ 職員配置

○ 職員数 (常勤換算人数)

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-10)

職 種	1施設当たり職員数	100床当たり職員数
看護 師	136.7 人	54.5 人
准看護 師	17.5 人	9.5 人
看護 補助 者	21.1 人	11.6 人
医 師	29.6 人	12.2 人
薬 剤 師	7.8 人	3.5 人
理 学 療 法 士	6.3 人	3.5 人
作 業 療 法 士	2.7 人	1.3 人
言 語 聴 覚 士	1.1 人	0.5 人
診 療 放 射 線 技 師	7.7 人	3.4 人
臨 床 検 査 技 師	10.0 人	4.2 人
臨 床 工 学 技 士	2.4 人	0.9 人
ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー (社 会 福 祉 士 等)	2.0 人	1.0 人
事 務 職 員	28.9 人	13.9 人
合 計	273.8 人	120.0 人
1施設当たり病床数	234.3 床	

※有効回答 195 件で集計

・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-11)

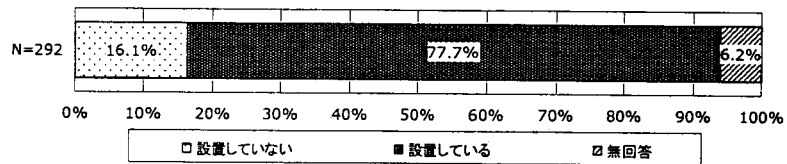
職 種	1施設当たり 職 員 数	100床当たり 職 員 数
看護 師	60.1人	47.0人
准看護 師	18.4人	15.0人
看護補助者	24.0人	18.7人
医 師	13.5人	11.0人
薬 剤 師	4.4人	3.6人
理学療法士	9.3人	9.0人
作業療法士	3.9人	3.1人
言語聴覚士	1.7人	1.3人
診療放射線技師	5.4人	4.4人
臨床検査技師	5.5人	3.9人
臨床工学技士	1.0人	0.7人
ソーシャルワーカー (社会福祉士等)	2.0人	1.5人
事務職員	20.8人	16.6人
合 計	170.0人	135.8人
1施設当たり病床数	128.3床	

※有効回答 19 件で集計

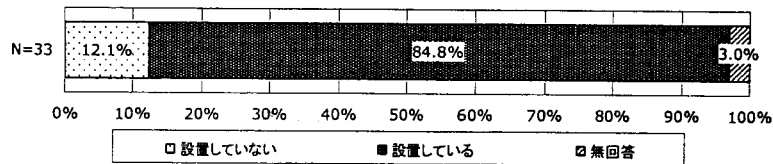
□ 病院における他の医療機関との連携体制

○ 退院調整に関する部門の設置状況

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-12)



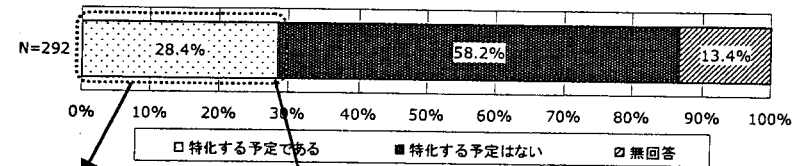
・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-13)



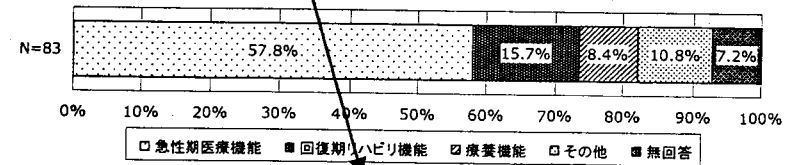
□ 病院の医療機能に係る今後の予定

○ 医療機能に係る今後の方針

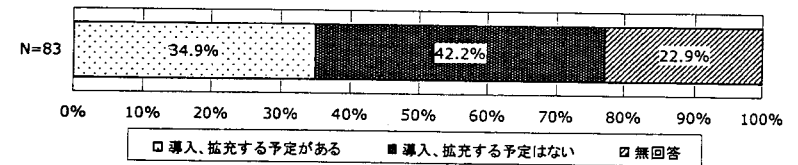
・亜急性期入院医療管理料1における医療機能に係る今後の方針 (図表 3-14)



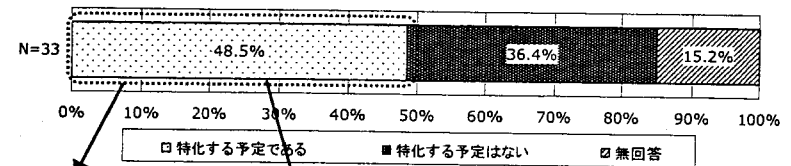
・特化する予定の医療機能 (図表 3-15)



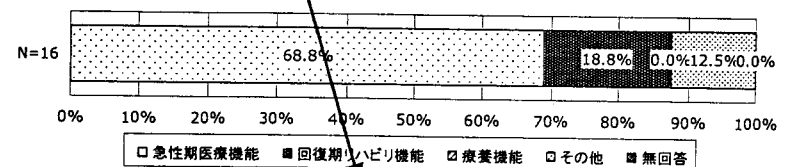
・今後、亜急性期医療機能を導入、拡充する予定の有無 (図表 3-16)



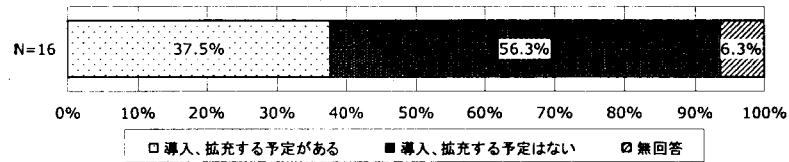
・亜急性期入院医療管理料2における医療機能に係る今後の方針 (図表 3-17)



・特化する予定の医療機能 (図表 3-18)



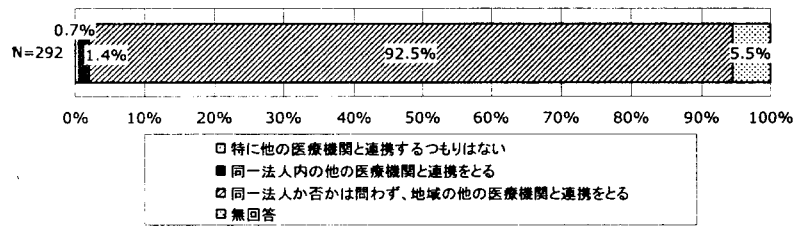
・今後、亜急性期医療機能を導入、拡充する予定の有無 (図表 3-19)



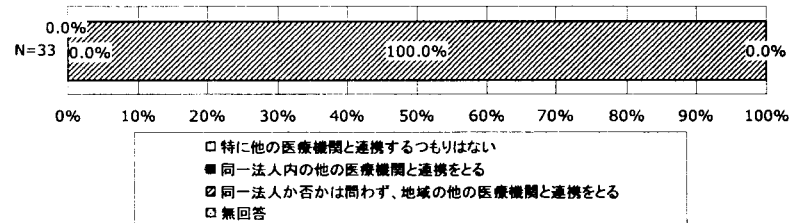
□ 病院の今後の医療機関との連携に関する意向

○ 他の医療機関との連携に対する意向

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-20)

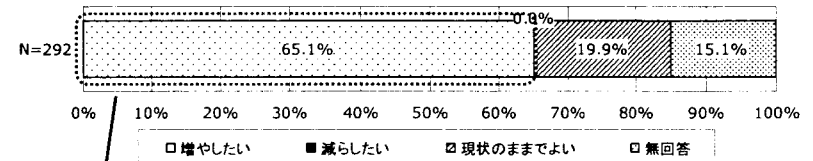


・亜急性期入院医療管理料 2 (図表 3-21)

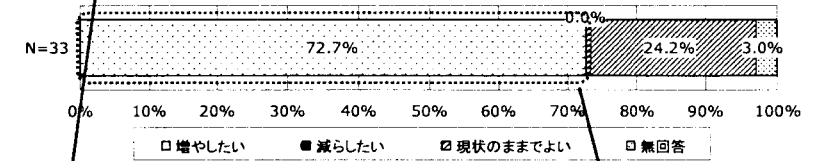


○ 連携する医療機関数に対する意向

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-22)

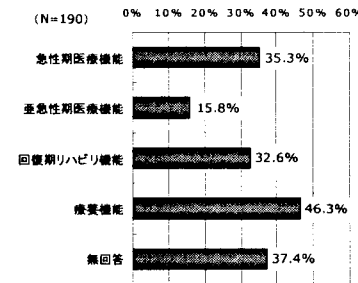


・亜急性期入院医療管理料 2 (図表 3-23)

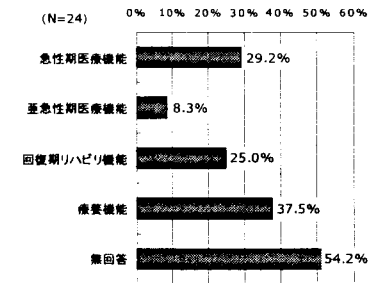


○ 連携先として増やしたい医療機能 [複数回答]

・亜急性期入院医療管理料 1 (図表 3-24)

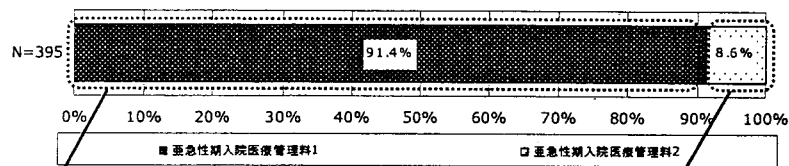


・亜急性期入院医療管理料 2 (図表 3-25)

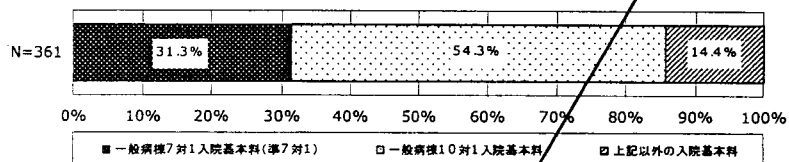


■ 病棟調査概要

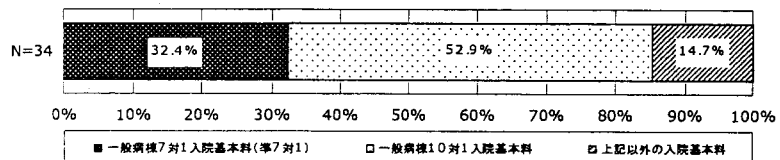
○ 算定している診療報酬 (図表 3-26)



・ 亜急性期入院医療管理料1における入院基本料 (図表 3-27)



・ 亜急性期入院医療管理料2における入院基本料 (図表 3-28)



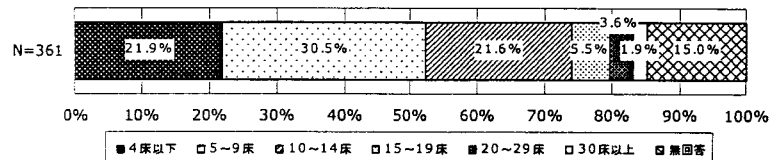
○ 1病棟当たりの亜急性期入院医療管理料届出病床

・ 亜急性期入院医療管理料1

[H21.6] (図表 3-29)

病床種別	1病棟当たり病床数	割合
亜急性期入院医療管理料届出病床	9.2床	21.5%
1病棟当たり病床数	42.6床	100.0%

※有効回答 307 病棟で集計



(参考) [H20.6] (図表 3-30)

病床種別	1病棟当たり病床数	割合
亜急性期入院医療管理料届出病床	9.6床	22.3%
1病棟当たり病床数	43.0床	100.0%

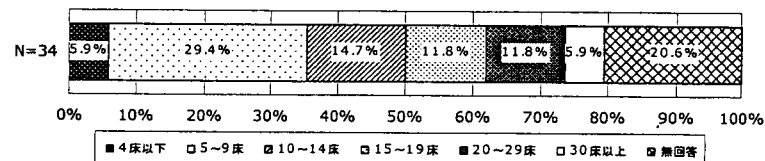
※有効回答 251 病棟で集計

・ 亜急性期入院医療管理料2

[H21.6] (図表 3-31)

病床種別	1病棟当たり病床数	割合
亜急性期入院医療管理料届出病床	13.5床	40.5%
1病棟当たり病床数	33.4床	100.0%

※有効回答 27 病棟で集計



(参考) [H20.6] (図表 3-32)

病床種別	1病棟当たり病床数	割合
亜急性期入院医療管理料届出病床	8.3床	30.0%
1病棟当たり病床数	27.5床	100.0%

※有効回答 8 病棟で集計

○ 1病棟当たりの配置している看護職員数（非常勤職員は常勤換算人数）

・亜急性期入院医療管理料1（図表 3-33）

職 種	1病棟当たり看護職員数			病棟病床50床当たり常勤・非常勤看護職員数
	常勤	非常勤	合計	
看護 師	19.9人	0.9人	20.7人	20.7人
准看護 師	2.7人	0.3人	3.0人	3.2人
看護補助者	2.7人	0.6人	3.2人	3.2人
1病棟当たり病床数	51.4床			

※有効回答 223 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2（図表 3-34）

職 種	1病棟当たり看護職員数			病棟病床50床当たり常勤・非常勤看護職員数
	常勤	非常勤	合計	
看護 師	15.1人	0.4人	15.5人	22.8人
准看護 師	2.6人	0.1人	2.8人	4.3人
看護補助者	3.0人	0.3人	3.3人	4.8人
1病棟当たり病床数	37.5床			

※有効回答 17 病棟で集計

○ 1病棟当たりの専従・専任している職員数（専任職員は常勤換算人数）

・亜急性期入院医療管理料1（図表 3-35）

職 種	1病棟当たり職員数			病棟病床50床当たり専従・専任職員数
	専従	専任	合計	
薬 剤 師	0.05人	0.53人	0.58人	0.65人
理学療法士	0.05人	0.66人	0.72人	0.93人
作業療法士	0.01人	0.25人	0.27人	0.35人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	0.06人	0.25人	0.31人	0.37人
事務職員	0.37人	0.29人	0.66人	0.76人
1病棟当たり病床数	51.4床			

※有効回答 223 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2（図表 3-36）

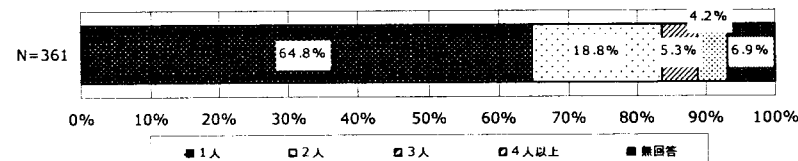
職 種	1病棟当たり職員数			病棟病床50床当たり専従・専任職員数
	専従	専任	合計	
薬 剤 師	0.12人	0.61人	0.73人	1.07人
理学療法士	0.00人	0.81人	0.81人	1.02人
作業療法士	0.00人	0.18人	0.18人	0.19人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	0.00人	0.39人	0.39人	0.52人
事務職員	0.12人	1.93人	2.05人	2.28人
1病棟当たり病床数	37.5床			

※有効回答 17 病棟で集計

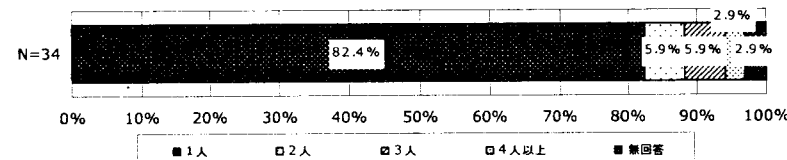
□ 亜急性期病室の概況

○ 在宅復帰支援担当者数

・亜急性期入院医療管理料1（図表 3-37）… 平均 1.7人 ※有効回答 336 病棟で集計

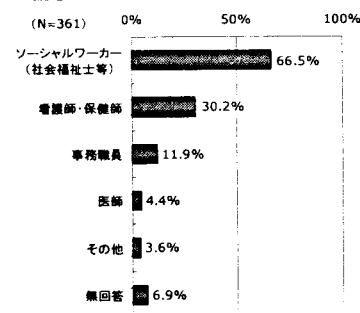


・亜急性期入院医療管理料2（図表 3-38）… 平均 1.3人 ※有効回答 33 病棟で集計

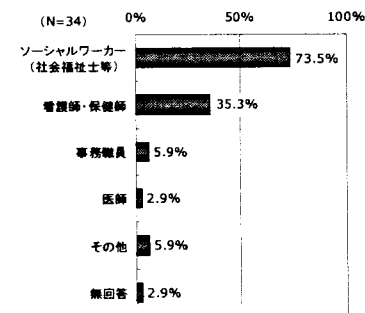


○ 在宅復帰支援担当者の職種

・亜急性期入院医療管理料1（図表 3-39）

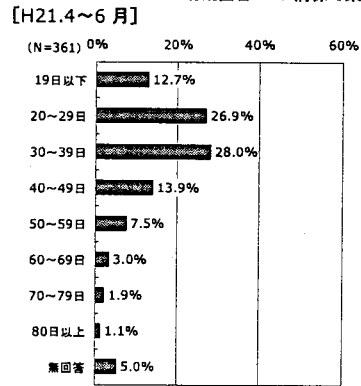


・亜急性期入院医療管理料2（図表 3-40）



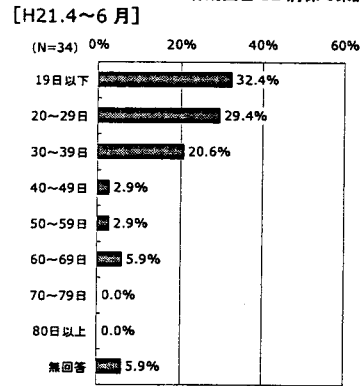
○ 平均在院日数

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-41)  
 … [H21.4~6月] 平均 34.5日  
 ※有効回答 343 病棟で集計



(参考) [H20.4~6月] 平均 36.5日  
 ※有効回答 289 病棟で集計

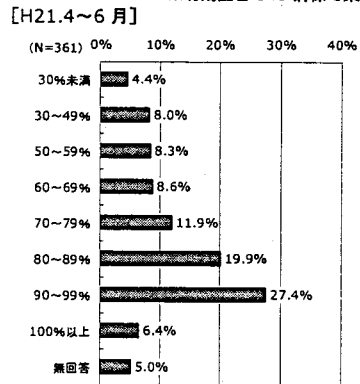
・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-42)  
 … [H21.4~6月] 平均 27.5日  
 ※有効回答 32 病棟で集計



(参考) [H20.4~6月] 平均 29.0日  
 ※有効回答 23 病棟で集計

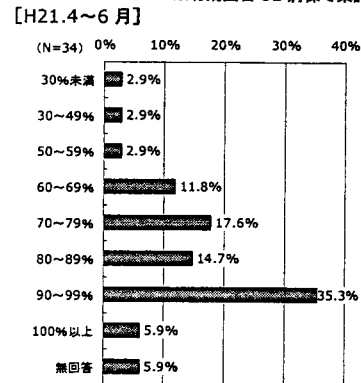
○ 病床利用率

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-43)  
 … [H21.4~6月] 平均 77.2%  
 ※有効回答 343 病棟で集計



(参考) [H20.4~6月] 平均 77.2%  
 ※有効回答 289 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-44)  
 … [H21.4~6月] 平均 81.3%  
 ※有効回答 32 病棟で集計

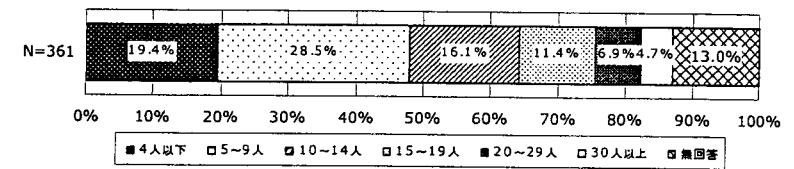


(参考) [H20.4~6月] 平均 83.3%  
 ※有効回答 23 病棟で集計

□ 在室患者の状況

○ 在室患者数

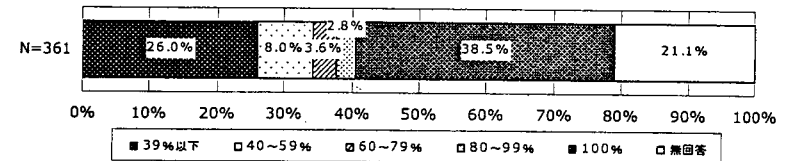
・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-45) … [H21.6] 平均 16.7人 ※有効回答 314 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 17.5人 ※有効回答 256 病棟で集計

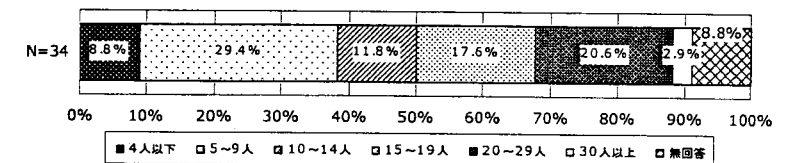
[7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合] (図表 3-46)

… [H21.6] 平均 62.8% ※有効回答 285 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 64.1% ※有効回答 235 病棟で集計

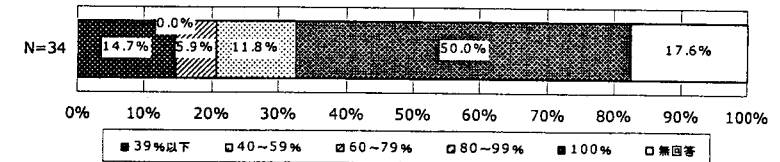
・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-47) … [H21.6] 平均 14.5人 ※有効回答 31 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 11.4人 ※有効回答 19 病棟で集計

[7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合] (図表 3-48)

… [H21.6] 平均 77.7% ※有効回答 28 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 81.5% ※有効回答 16 病棟で集計

○ 在室患者の入院理由

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-49)

入院理由	人数	割合
急性期治療を経過した患者	16.3人	97.3%
在宅・介護施設等からの患者であって症状の急性増悪した患者	0.2人	1.4%
その他	0.2人	1.3%
合計	16.7人	100.0%

※有効回答 314 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-50)

入院理由	人数	割合
急性期治療を経過した患者	13.7人	94.2%
在宅・介護施設等からの患者であって症状の急性増悪した患者	0.3人	2.0%
その他	0.5人	3.8%
合計	14.5人	100.0%

※有効回答 31 病棟で集計

○ 在室患者の入室前の居場所

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-51)

入室前の居場所		人数	割合
自院	自院の7対1入院基本料等を算定している病床	11.04人	66.1%
	自院のその他の病床	5.05人	30.3%
他院	他病院の7対1入院基本料等を算定している病床	0.09人	0.5%
	他病院のその他の病床	0.02人	0.1%
	有床診療所	0.00人	0.0%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.03人	0.2%
	その他居住系サービス等の施設	0.00人	0.0%
	在宅	0.44人	2.6%
	その他	0.04人	0.2%
合計		16.71人	100.0%

※有効回答 314 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-52)

入室前の居場所		人数	割合
自院	自院の7対1入院基本料等を算定している病床	12.52人	86.2%
	自院のその他の病床	1.55人	10.7%
他院	他病院の7対1入院基本料等を算定している病床	0.13人	0.9%
	他病院のその他の病床	0.06人	0.4%
	有床診療所	0.00人	0.0%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.13人	0.9%
	その他居住系サービス等の施設	0.00人	0.0%
	在宅	0.13人	0.9%
	その他	0.00人	0.0%
合計		14.52人	100.0%

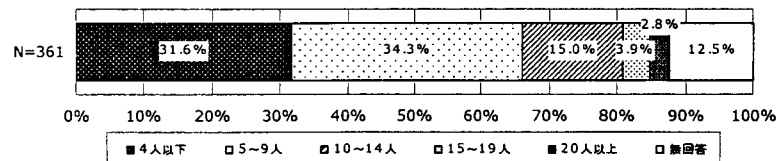
※有効回答 31 病棟で集計



□ 退室患者の状況

○ 退室患者数

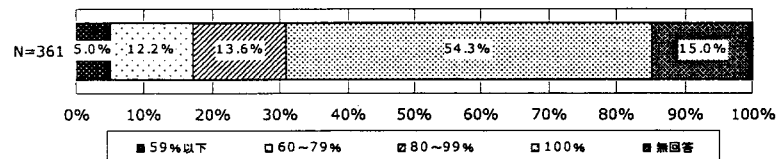
・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-53) ... [H21.6] 平均 7.1 人 ※有効回答 316 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 7.6 人 ※有効回答 248 病棟で集計

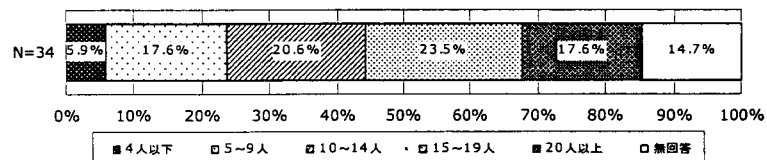
[退院患者のうち、他の保険医療機関へ転院した者等を除く者の割合] (図表 3-54)

... [H21.6] 平均 90.2% ※有効回答 307 件で集計



(参考) [H20.6] 平均 86.5% ※有効回答 242 病棟で集計

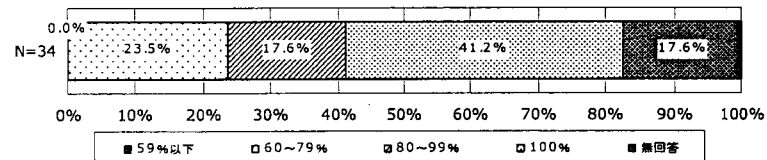
・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-55) ... [H21.6] 平均 15.6 人 ※有効回答 29 病棟で集計



(参考) [H20.6] 平均 10.9 人 ※有効回答 18 病棟で集計

[退院患者のうち、他の保険医療機関へ転院した者等を除く者の割合] (図表 3-56)

... [H21.6] 平均 88.6% ※有効回答 28 件で集計



(参考) [H20.6] 平均 76.3% ※有効回答 17 病棟で集計

○ 在室患者の退室先

・亜急性期入院医療管理料1 (図表 3-57)

退室先		人数	割合
自 院	自院の回復期リハ病棟	0.01 人	0.1%
	自院の回復期リハ病棟以外の一般病棟	0.27 人	3.9%
	自院の回復期リハ病棟以外の療養病棟	0.03 人	0.4%
	自院のその他の病棟	0.04 人	0.6%
他 院	他病院	0.37 人	5.3%
	有床診療所	0.03 人	0.4%
そ の 他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.77 人	10.9%
	その他居住系サービス等の施設	0.19 人	2.6%
	在宅	5.24 人	74.2%
	その他	0.11 人	1.6%
合 計		7.06 人	100.0%

※有効回答 316 病棟で集計

・亜急性期入院医療管理料2 (図表 3-58)

退室先		人数	割合
自 院	自院の回復期リハ病棟	0.03 人	0.2%
	自院の回復期リハ病棟以外の一般病棟	0.72 人	4.6%
	自院の回復期リハ病棟以外の療養病棟	0.10 人	0.7%
	自院のその他の病棟	0.00 人	0.0%
他 院	他病院	1.52 人	9.7%
	有床診療所	0.00 人	0.0%
そ の 他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1.24 人	8.0%
	その他居住系サービス等の施設	0.07 人	0.4%
	在宅	11.86 人	76.1%
	その他	0.03 人	0.2%
合 計		15.59 人	100.0%

※有効回答 29 病棟で集計

■ 患者調査概要

□ 亜急性期病室（入院中）の患者概況

○ 主傷病（図表 3-59）

[亜急性期入院医療管理料 1] (N=2,552)

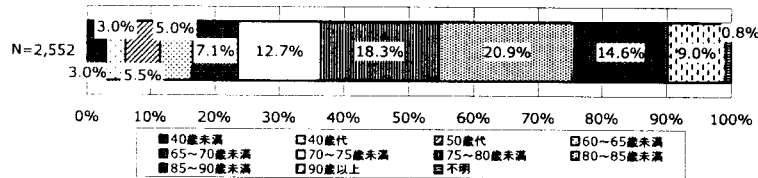
順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	31.2%
2	関節症	9.8%
3	脳梗塞	7.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5.0%
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	4.4%
6	肺炎	3.6%
7	その他の損傷及びその他の外因の影響	2.8%
8	脳内出血	2.7%
9	糖尿病	2.2%
10	その他の心疾患	1.9%

[亜急性期入院医療管理料 2] (N=414)

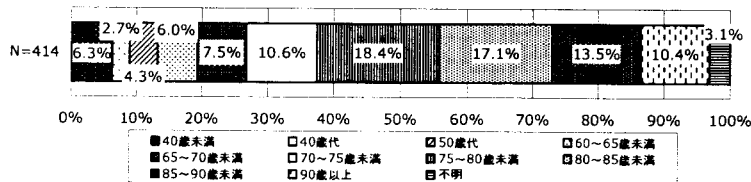
順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	29.0%
2	関節症	11.1%
3	脳梗塞	10.6%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	7.2%
5	その他の損傷及びその他の外因の影響	4.1%
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	3.9%
7	肩の傷害<損傷>	2.9%
8	脳内出血	2.7%
9	肺炎	2.7%
10	腰痛症及び坐骨神経痛	2.2%

○ 年齢（図表 3-60）

[亜急性期入院医療管理料 1] …平均 75.18 歳

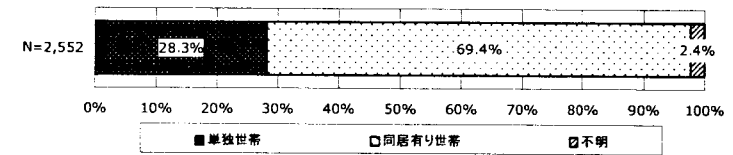


[亜急性期入院医療管理料 2] …平均 73.33 歳

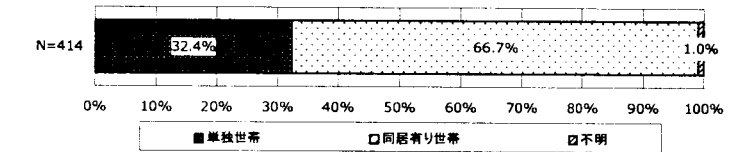


○ 世帯構成（図表 3-61）

[亜急性期入院医療管理料 1]



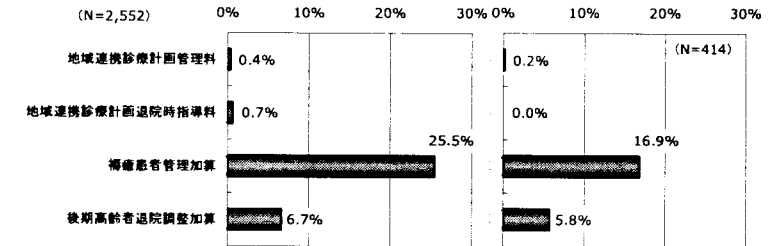
[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 算定状況（図表 3-62）

[亜急性期入院医療管理料 1]

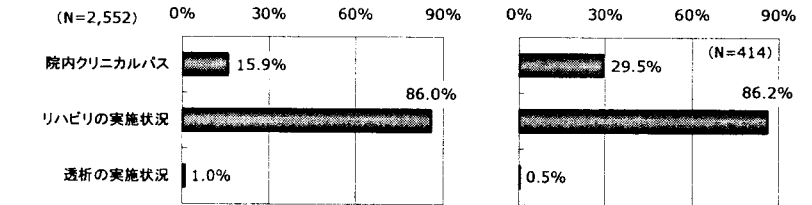
[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況（図表 3-63）

[亜急性期入院医療管理料 1]

[亜急性期入院医療管理料 2]

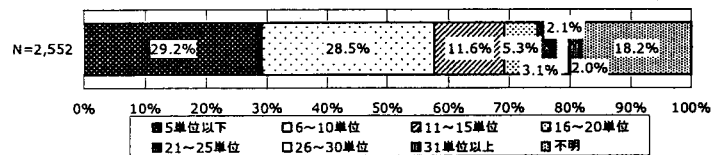


・リハビリ種類 → 運動器 : 75.1%  
脳血管疾患等 : 25.0%

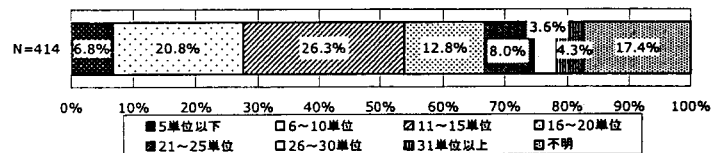
運動器 : 73.5%  
脳血管疾患等 : 27.3%

○ リハビリ提供（当たり）単位数（図表 3-64）

[亜急性期入院医療管理料 1]



[亜急性期入院医療管理料 2]

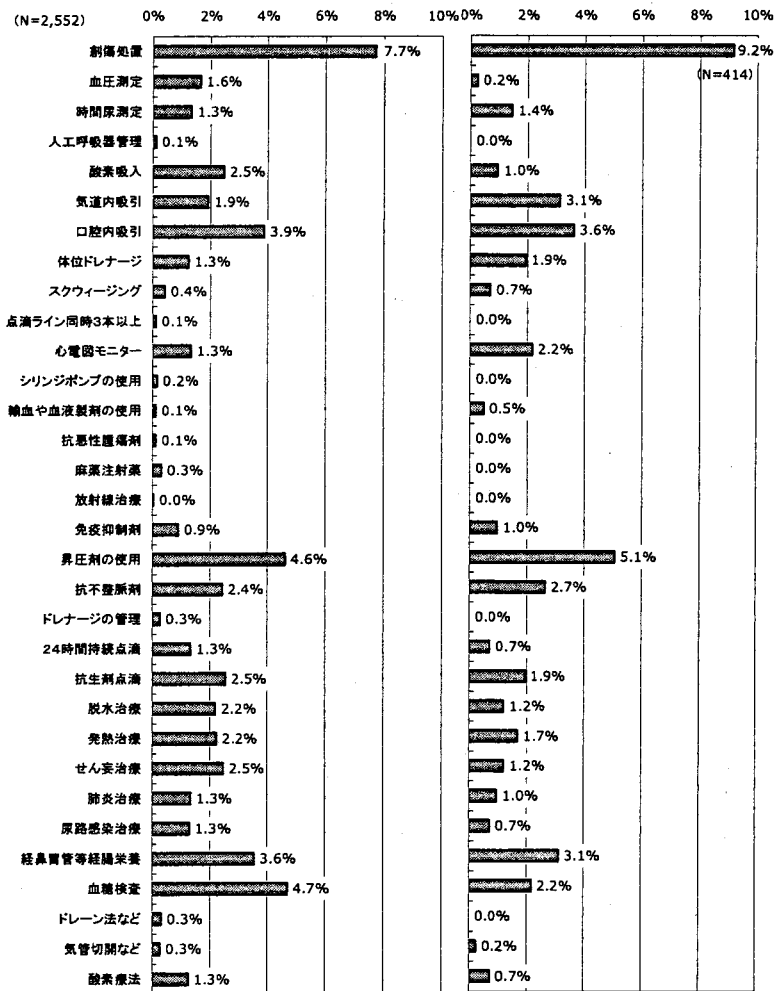


□ 現在（入院中）の状態

○ モニタリング及び処置等の状況（図表 3-65）

[亜急性期入院医療管理料 1]

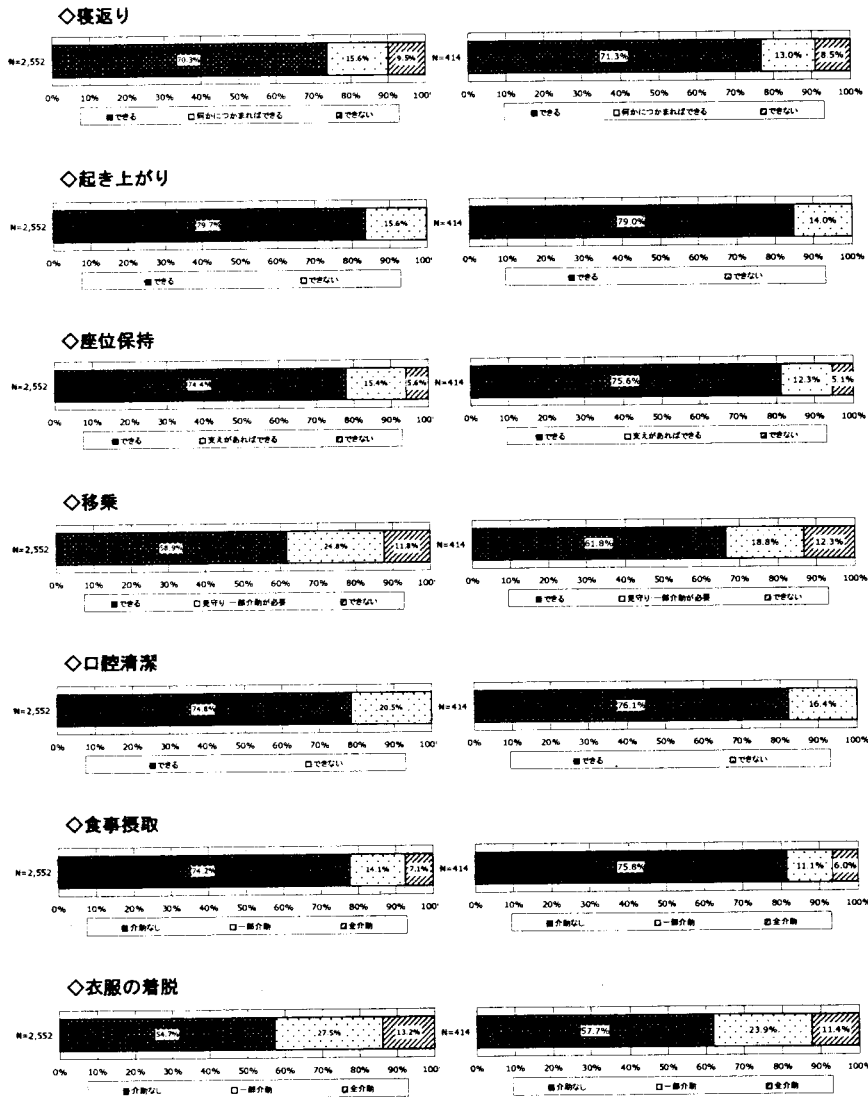
[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 患者の状態像 (図表 3-66)

[亜急性期入院医療管理料 1]

[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布 (図表 3-67)

[亜急性期入院医療管理料 1]

A	B	N	B患者の状況等					合計
			0~2点	3点	4点	5点	6~10点	
A モニタリング 及び処置等	0~1点	2,383	66.7%	4.8%	3.6%	2.5%	12.3%	89.9%
	2点		5.1%	0.3%	0.4%	0.2%	1.8%	7.8%
	3点		0.6%	0.1%	0.1%	0.0%	0.7%	1.5%
	4点		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%
	5~10点		0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
	合計			72.7%	5.2%	4.1%	2.8%	15.2%

[亜急性期入院医療管理料 2]

A	B	N	B患者の状況等					合計
			0~2点	3点	4点	5点	6~10点	
A モニタリング 及び処置等	0~1点	382	72.3%	3.4%	3.1%	1.3%	10.2%	90.3%
	2点		3.9%	0.3%	0.8%	0.3%	2.6%	7.9%
	3点		0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%
	4点		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%
	5~10点		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
	合計			76.7%	3.7%	3.9%	1.6%	14.1%

(参考) 7対1、10対1、亜急性期(入院中)のA得点及びB得点の状況 (図表 3-68)

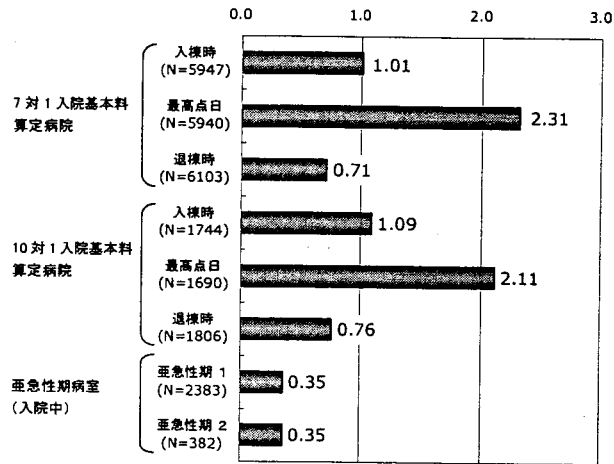
A得点	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1	亜急性期入院 医学管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時		
N数	5,947	5,940	6,103	1,744	1,690	1,806	2,383	382
平均値	1.01	2.31	0.71	1.09	2.11	0.76	0.35	0.35
標準偏差	1.845	2.427	1.634	1.836	2.337	1.669	0.789	0.752
最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	10	10	8	5

B得点	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1	亜急性期入院 医学管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時		
N数	5,947	5,940	6,103	1,744	1,690	1,806	2,383	382
平均値	2.79	5.00	2.10	2.94	4.49	2.34	2.14	1.91
標準偏差	3.893	4.370	3.594	4.174	4.588	4.005	3.237	3.204
最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
最大値	12	12	12	12	12	12	11	11

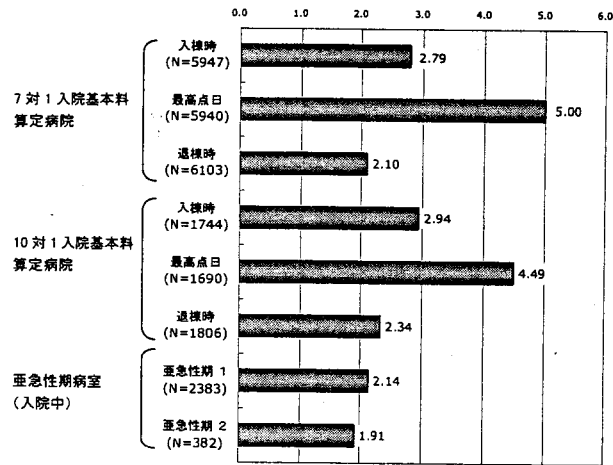
注) 亜急性期入院医学管理料の欄は、患者票(亜急性期病室用(入院中))の値である。

(参考) 7対1、10対1、亜急性期(入院中)のA得点平均値及びB得点平均値(図表3-69)

○ A得点平均値



○ B得点平均値



○ 退棟日「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布(図表3-70)

[亜急性期入院医療管理料1]

項目	B患者の状況等						
	搬送り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置	2.89%	2.89%	3.27%	4.24%	3.23%	3.11%	4.70%
血圧測定	0.38%	0.38%	0.48%	0.80%	0.55%	0.42%	0.97%
時間測定	0.50%	0.50%	0.55%	0.80%	0.46%	0.55%	0.71%
呼吸ケア	4.53%	4.53%	4.74%	5.25%	4.83%	4.62%	5.46%
点滴ライン同時3本以上	0.08%	0.08%	0.08%	0.13%	0.08%	0.08%	0.13%
心電図モニター	0.83%	0.83%	0.80%	1.09%	0.80%	0.76%	1.05%
シリンジポンプの使用	0.04%	0.04%	0.08%	0.13%	0.08%	0.04%	0.13%
輸血や血液製剤の使用	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%	0.04%	0.08%	0.08%
専門的な治療・処置	1.38%	1.38%	1.80%	2.98%	1.80%	2.08%	3.44%

[亜急性期入院医療管理料2]

項目	B患者の状況等						
	搬送り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
創傷処置	0.79%	0.79%	1.83%	2.36%	1.05%	1.31%	2.36%
血圧測定	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
時間測定	1.31%	1.31%	1.57%	1.57%	1.05%	1.05%	1.57%
呼吸ケア	3.66%	3.66%	3.93%	4.71%	3.93%	3.93%	4.19%
点滴ライン同時3本以上	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
心電図モニター	1.31%	1.31%	1.57%	1.83%	1.57%	1.57%	1.83%
シリンジポンプの使用	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
輸血や血液製剤の使用	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%
専門的な治療・処置	2.62%	2.62%	2.88%	3.53%	3.40%	3.66%	4.71%

(参考) 7対1、10対1、亜急性期(入院中)のA得点及びB得点の項目別平均点数(図表3-71)

項目	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院医療管理料1	亜急性期入院医療管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時	(N=2383)	(N=382)
創傷処置	0.09	0.23	0.11	0.10	0.23	0.10	0.08	0.10
血圧測定	0.16	0.39	0.06	0.24	0.42	0.16	0.02	0.00
時間測定	0.05	0.12	0.03	0.06	0.13	0.04	0.01	0.02
呼吸ケア	0.17	0.35	0.11	0.17	0.30	0.11	0.00	0.00
点滴ライン同時3本以上	0.06	0.12	0.03	0.06	0.11	0.04	0.01	0.02
心電図モニター	0.19	0.35	0.11	0.16	0.30	0.09	0.00	0.00
シリンジポンプの使用	0.06	0.10	0.03	0.06	0.11	0.04	0.00	0.01
輸血や血液製剤の使用	0.03	0.07	0.02	0.03	0.06	0.02	0.06	0.05
専門的な治療・処置	0.22	0.58	0.18	0.21	0.45	0.16	0.16	0.16

項目	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院医療管理料1	亜急性期入院医療管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時	(N=2383)	(N=382)
搬送り	0.41	0.79	0.32	0.43	0.71	0.35	0.16	0.15
起き上がり	0.25	0.47	0.18	0.28	0.43	0.20	0.16	0.15
座位保持	0.42	0.83	0.27	0.43	0.71	0.33	0.27	0.24
移乗	0.60	1.04	0.41	0.59	0.88	0.44	0.50	0.46
口腔清潔	0.29	0.48	0.23	0.29	0.43	0.23	0.21	0.18
食事摂取	0.25	0.43	0.25	0.34	0.46	0.30	0.29	0.24
衣服の着脱	0.58	0.95	0.45	0.61	0.87	0.48	0.56	0.50

注) 亜急性期入院医療管理料の欄は、患者(亜急性期病室用(入院中))の値である。

□ 亜急性期病院（退室）の患者状況

○ 主傷病（図表 3-72）

[亜急性期入院医療管理料 1] (N=2,355)

順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	30.7%
2	関節症	9.6%
3	脳梗塞	7.6%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5.1%
5	肺炎	4.3%
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	3.7%
7	その他の損傷及びその他の外因の影響	3.3%
8	その他の消化器系の疾患	2.1%
9	脳内出血	2.0%
10	糖尿病	1.7%

(参考) 主な傷病別にみた発症から入院までの期間

順位	傷病名	発症から入院までの期間					
		1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6~9ヶ月未満	9~12ヶ月未満
1	骨折(N=722)	62.3%	23.7%	4.6%	1.7%	0.4%	0.3%
2	関節症(N=226)	14.6%	19.0%	12.4%	8.0%	1.3%	3.5%
3	脳梗塞(N=180)	46.7%	25.6%	4.4%	8.3%	2.2%	0.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	46.2%	22.7%	6.7%	3.4%	1.7%	0.0%
5	肺炎(N=101)	45.5%	33.7%	5.9%	3.0%	0.0%	0.0%

順位	傷病名	発症から入院までの期間					合計
		12~18ヶ月未満	18~24ヶ月未満	24~36ヶ月未満	36ヶ月以上	不明	
1	骨折(N=722)	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	6.6%	100.0%
2	関節症(N=226)	4.4%	1.8%	2.7%	6.2%	26.1%	100.0%
3	脳梗塞(N=180)	0.6%	0.6%	0.6%	2.2%	8.9%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	0.8%	0.0%	0.8%	2.5%	15.1%	100.0%
5	肺炎(N=101)	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2] (N=528)

順位	傷病名	割合(全体)
1	骨折	27.3%
2	関節症	9.8%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	7.4%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響	6.3%
5	脳梗塞	6.1%
6	その他の消化器系の疾患	3.8%
7	肺炎	3.4%
8	脳内出血	3.0%
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	3.0%
10	その他の脊椎障害	2.7%

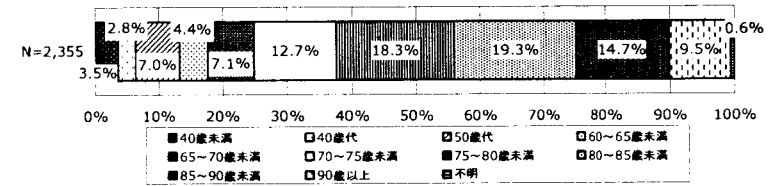
(参考) 主な傷病別にみた発症から入院までの期間

順位	傷病名	発症から入院までの期間					
		1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6~9ヶ月未満	9~12ヶ月未満
1	骨折(N=144)	81.3%	8.3%	3.5%	2.8%	0.7%	0.0%
2	関節症(N=52)	23.1%	9.6%	5.8%	7.7%	9.6%	0.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	64.1%	12.8%	10.3%	10.3%	0.0%	0.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	48.5%	15.2%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%
5	脳梗塞(N=32)	68.8%	18.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%

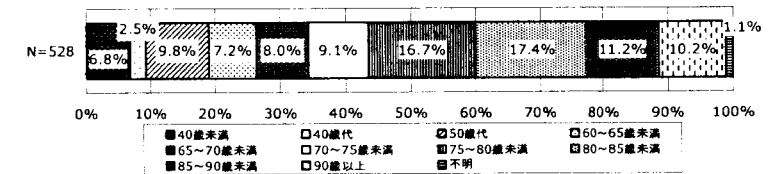
順位	傷病名	発症から入院までの期間					合計
		12~18ヶ月未満	18~24ヶ月未満	24~36ヶ月未満	36ヶ月以上	不明	
1	骨折(N=144)	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.8%	100.0%
2	関節症(N=52)	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	15.2%	100.0%
5	脳梗塞(N=32)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	100.0%

○ 年齢（図表 3-73）

[亜急性期入院医療管理料 1] ...平均 74.8 歳

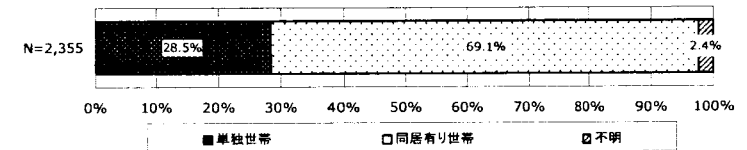


[亜急性期入院医療管理料 2] ...平均 72.1 歳

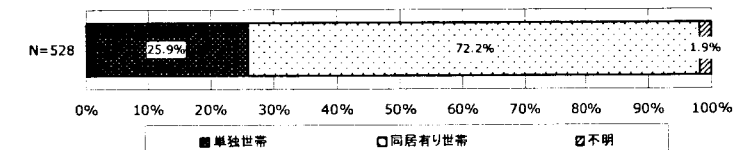


○ 世帯構成（図表 3-74）

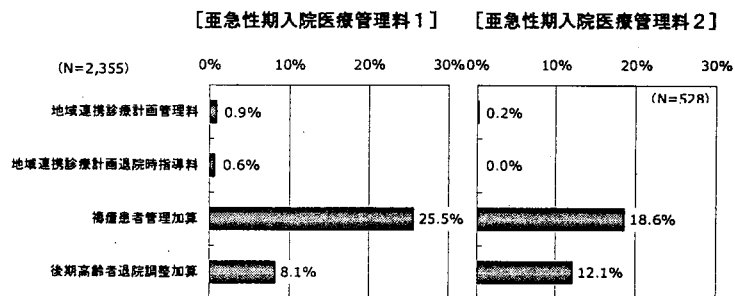
[亜急性期入院医療管理料 1]



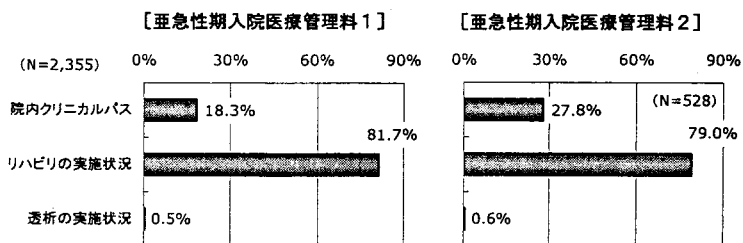
[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 算定状況 (図表 3-75)



○ 院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況 (図表 3-76)



・リハビリ種類 → 運動器 : 76.5%      運動器 : 72.4%  
 脳血管疾患等 : 23.6%      脳血管疾患等 : 26.8%

(参考) 主な傷病別にみた院内クリニカルパスの実施状況 (図表 3-77)

[亜急性期入院医療管理料 1]

順位	傷病名	院内クリニカルパス		合計
		有	無	
1	骨折(N=703)	21.9%	78.1%	100.0%
2	関節症(N=221)	57.5%	42.5%	100.0%
3	脳梗塞(N=175)	5.7%	94.3%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=113)	14.2%	85.8%	100.0%
5	肺炎(N=98)	7.1%	92.9%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

順位	傷病名	院内クリニカルパス		合計
		有	無	
1	骨折(N=140)	22.1%	77.9%	100.0%
2	関節症(N=51)	68.6%	31.4%	100.0%
3	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=32)	46.9%	53.1%	100.0%
4	脳梗塞(N=32)	53.1%	46.9%	100.0%
5	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=29)	13.8%	86.2%	100.0%

(参考) 主な傷病別にみたリハビリの実施状況 (図表 3-78)

[亜急性期入院医療管理料 1]

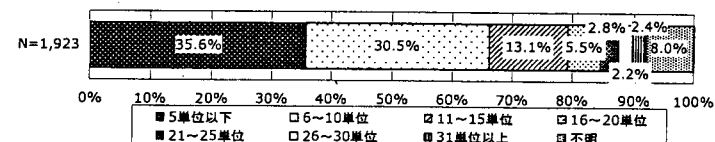
順位	傷病名	リハビリの実施状況		合計
		有	無	
1	骨折(N=699)	96.9%	3.1%	100.0%
2	関節症(N=218)	98.6%	1.4%	100.0%
3	脳梗塞(N=176)	92.8%	7.4%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=112)	92.0%	8.0%	100.0%
5	肺炎(N=98)	48.0%	52.0%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

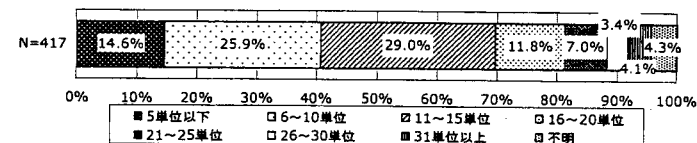
順位	傷病名	リハビリの実施状況		合計
		有	無	
1	骨折(N=143)	94.4%	5.6%	100.0%
2	関節症(N=51)	98.0%	2.0%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=38)	87.1%	12.9%	100.0%
4	脳梗塞(N=32)	100.0%	0.0%	100.0%
5	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=31)	97.4%	2.6%	100.0%

○ リハビリ提供 (適当たり) 単位数 (図表 3-79)

[亜急性期入院医療管理料 1]



[亜急性期入院医療管理料 2]



(参考) 傷病大分類にみた院内クリニカルバス、リハビリ、透析の実施状況 (図表 3-80)

【亜急性期入院医療管理料 1】

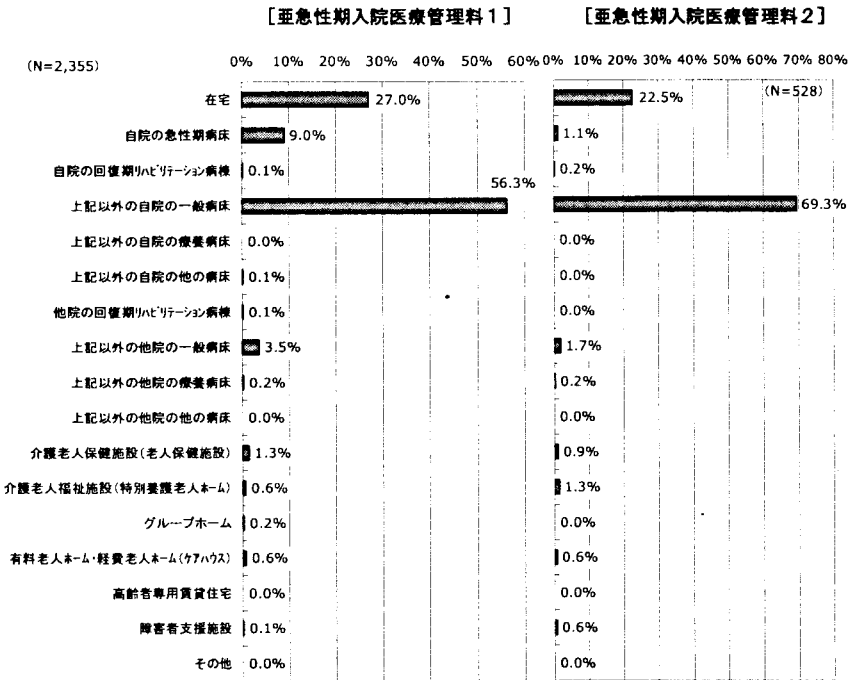
	院内クリニカルバスの使用実施状況		リハビリの実施状況		透析の実施状況	
	割合	N数	割合	N数	割合	N数
感染症及び寄生虫	0.0%	16	81.3%	16	0.0%	16
新生物	14.3%	49	58.0%	50	0.0%	47
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0.0%	1000.0%	60.0%	1000.0%	0.0%	1000.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患	5.5%	55	42.9%	56	0.0%	56
精神及び行動の障害	0.0%	16	43.8%	16	0.0%	16
神経系の疾患	5.9%	51	60.8%	52	0.0%	51
眼及び付属器の疾患	33.3%	3	33.3%	3	0.0%	3
耳及び乳突炎の疾患	0.0%	6	50.0%	6	0.0%	6
循環器系の疾患	6.6%	362	82.1%	357	0.3%	362
呼吸器系の疾患	7.5%	146	51.0%	145	1.7%	149
消化器系の疾患	5.4%	93	43.8%	96	0.7%	94
皮膚及び皮下組織の疾患	6.0%	25	52.0%	25	0.0%	25
筋骨格系及び結合組織の疾患	33.7%	597	94.8%	591	0.3%	588
腎臓泌尿器系の疾患	3.0%	33	62.5%	32	8.7%	30
症状、徴候等で他に分類されないもの	0.0%	14	53.3%	15	0.0%	15
誤嚥、中毒及びその他の外因の影響	21.1%	791	95.9%	786	0.5%	798
不明	21.2%	33	89.7%	38	0.0%	35
合計	18.8%	2300	83.8%	2,295	0.5%	2,301

【亜急性期入院医療管理料 2】

	院内クリニカルバスの使用実施状況		リハビリの実施状況		透析の実施状況	
	割合	N数	割合	N数	割合	N数
感染症及び寄生虫	0.0%	2	100.0%	2	0.0%	2
新生物	0.0%	6	80.0%	5	0.0%	6
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	0.0%	5	60.0%	5	0.0%	5
精神及び行動の障害	0.0%	5	100.0%	5	0.0%	5
神経系の疾患	33.3%	9	80.0%	10	0.0%	9
眼及び付属器の疾患	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	3
耳及び乳突炎の疾患	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	1
循環器系の疾患	41.9%	74	81.1%	74	0.0%	72
呼吸器系の疾患	8.3%	24	43.5%	23	0.0%	24
消化器系の疾患	6.5%	31	29.8%	27	3.2%	31
皮膚及び皮下組織の疾患	0.0%	5	40.0%	5	20.0%	5
筋骨格系及び結合組織の疾患	45.8%	136	94.5%	145	0.7%	143
腎臓泌尿器系の疾患	0.0%	8	44.4%	9	0.0%	9
症状、徴候等で他に分類されないもの	0.0%	4	75.0%	4	0.0%	4
誤嚥、中毒及びその他の外因の影響	26.1%	176	92.1%	177	0.0%	176
不明	12.5%	8	100.0%	8	0.0%	8
合計	29.8%	497	83.1%	502	0.6%	503

□ 退室患者の入室時の状況

○ 入室前の居場所 (図表 3-81)



(参考) 傷病大分類にみた入室前の居場所 (図表 3-82)

【亜急性期入院医療管理料 1】

	入室前の居場所							合計
	在宅	自院の急性期病床	自院の回復期リハビリ病棟	自院の他の病床	他院の回復期リハビリ病棟	他院の他の病床	介護施設等	
感染症及び寄生虫 (N=16)	12.5%	6.3%	0.0%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
新生物 (N=50)	18.0%	2.0%	0.0%	62.0%	0.0%	16.0%	6.0%	100.0%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=55)	16.1%	8.9%	0.0%	64.3%	0.0%	5.4%	5.4%	100.0%
精神及び行動の障害 (N=16)	18.8%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
神経系の疾患 (N=52)	44.2%	5.8%	0.0%	38.5%	1.9%	9.8%	1.9%	100.0%
眼及び付属器の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
耳及び乳突炎の疾患 (N=6)	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%
循環器系の疾患 (N=367)	22.9%	11.7%	0.0%	55.0%	0.5%	4.9%	4.9%	100.0%
呼吸器系の疾患 (N=148)	22.3%	8.1%	0.0%	55.4%	0.0%	5.4%	8.8%	100.0%
消化器系の疾患 (N=96)	25.0%	5.2%	0.0%	58.3%	0.0%	7.3%	4.2%	100.0%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	24.0%	12.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	4.0%	100.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=606)	35.8%	9.9%	0.2%	52.0%	0.0%	1.3%	0.8%	100.0%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=33)	18.2%	6.1%	0.0%	57.6%	0.0%	18.2%	0.0%	100.0%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=15)	13.3%	13.3%	0.0%	53.3%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
誤嚥、中毒及びその他の外因の影響 (N=805)	24.7%	8.8%	0.2%	61.4%	0.0%	3.4%	1.5%	100.0%



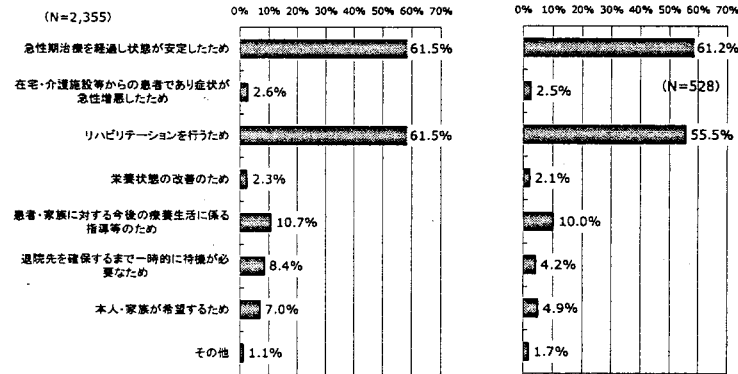
[亜急性期入院医療管理料 2]

	入室した背景							合計
	在宅	自らの急性期病床	自らの回復期病床	自らの他の病床	他院の回復期病床	他院の他の病床	介護施設等	
感染症及び寄生虫症 (N=2)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
新生物 (N=6)	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
精神及び行動の障害 (N=5)	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
神経系の疾患 (N=10)	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
腫瘍及び付随物の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
耳及び乳突炎の疾患 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
循環器系の疾患 (N=75)	20.0%	2.7%	0.0%	73.3%	1.3%	2.7%	0.0%	100.0%
呼吸器系の疾患 (N=28)	11.5%	0.0%	0.0%	85.4%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%
消化器系の疾患 (N=32)	28.1%	3.1%	3.1%	59.4%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=148)	17.8%	1.4%	0.0%	78.4%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=9)	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
腫瘍、中風及びその他の外因の影響 (N=178)	23.1%	0.8%	0.0%	87.4%	0.0%	2.6%	1.1%	100.0%

○ 入室した背景 (図表 3-83)

[亜急性期入院医療管理料 1]

[亜急性期入院医療管理料 2]



(参考) 傷病大分類にみた入室した背景 (図表 3-84)

[亜急性期入院医療管理料 1]

	入室した背景							合計
	急性期治療を終了した状態が安定したため	在宅・施設等からの患者で急性増悪したため	リハビリテーションを行うため	栄養状態の改善のため	患者・家族に対する今後の療養生活に係る指導等のため	退院先を確保するまで一時的に特設が必要のため	本人・家族が希望するため	
感染症及び寄生虫症 (N=18)	75.0%	6.3%	43.8%	6.3%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%
新生物 (N=6)	62.0%	0.0%	38.0%	4.0%	16.0%	10.0%	10.0%	2.0%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	80.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=58)	66.1%	3.8%	28.8%	3.8%	35.7%	3.6%	5.4%	5.4%
精神及び行動の障害 (N=18)	31.3%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	31.3%	6.3%
神経系の疾患 (N=52)	28.8%	5.8%	57.3%	3.8%	30.8%	18.2%	15.4%	0.0%
腫瘍及び付随物の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
耳及び乳突炎の疾患 (N=6)	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
循環器系の疾患 (N=264)	61.0%	4.4%	56.9%	2.5%	9.8%	14.0%	11.0%	1.1%
呼吸器系の疾患 (N=148)	80.4%	9.5%	23.6%	8.1%	14.9%	4.1%	0.7%	0.7%
消化器系の疾患 (N=55)	70.5%	3.2%	20.0%	6.3%	10.5%	15.8%	6.3%	2.1%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	72.0%	4.0%	28.0%	16.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=804)	59.1%	1.8%	79.0%	0.7%	8.2%	4.1%	6.0%	0.7%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=33)	63.6%	0.0%	27.3%	3.0%	21.2%	12.1%	12.1%	6.1%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=15)	80.0%	13.3%	26.7%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	6.7%
腫瘍、中風及びその他の外因の影響 (N=800)	63.0%	0.9%	73.3%	0.9%	9.4%	6.4%	5.3%	0.5%

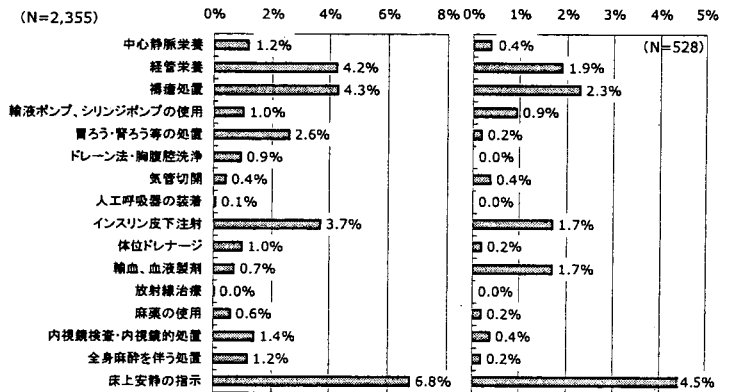
[亜急性期入院医療管理料 2]

	入室した背景							合計
	急性期治療を終了した状態が安定したため	在宅・施設等からの患者で急性増悪したため	リハビリテーションを行うため	栄養状態の改善のため	患者・家族に対する今後の療養生活に係る指導等のため	退院先を確保するまで一時的に特設が必要のため	本人・家族が希望するため	
感染症及び寄生虫症 (N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新生物 (N=6)	50.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	57.1%	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%
精神及び行動の障害 (N=5)	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
神経系の疾患 (N=9)	77.8%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
腫瘍及び付随物の疾患 (N=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
耳及び乳突炎の疾患 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
循環器系の疾患 (N=74)	71.6%	2.7%	52.7%	0.0%	17.8%	8.8%	2.7%	0.0%
呼吸器系の疾患 (N=28)	57.1%	15.4%	15.4%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%
消化器系の疾患 (N=31)	87.7%	3.2%	22.8%	6.5%	6.5%	9.7%	3.2%	12.9%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=147)	42.9%	2.0%	71.4%	0.0%	4.1%	2.0%	6.1%	0.7%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=9)	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	75.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
腫瘍、中風及びその他の外因の影響 (N=178)	75.3%	0.6%	65.2%	0.6%	9.8%	4.5%	5.1%	0.0%

○ 入室中の患者の状況 (図表 3-85)

[亜急性期入院医療管理料 1]

[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 入室した背景「急性期治療を経過し状態が安定したため」にみる入室中の患者状況(図表 3-86)

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

患者の状況等	亜急性期入院医療管理料 1 (N=1448)	亜急性期入院医療管理料 2 (N=323)
中心静脈栄養	0.9%	0.0%
経管栄養	4.1%	1.5%
導管処置	4.2%	1.2%
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.97%	0.31%
胃ろう・胃ろう等の処置	2.6%	0.0%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	1.0%	0.0%
気管切開	0.4%	0.3%
人工呼吸器の装着	0.07%	0.0%
インスリン皮下注射	3.5%	1.6%
体位ドレーン	1.3%	0.3%
輸血・血液製剤	0.7%	0.6%
放射線治療	0.0%	0.0%
麻薬の使用	0.7%	0.0%
内視鏡検査・内視鏡的処置	1.3%	0.0%
全身麻酔を伴う処置	1.1%	0.3%
床上安静の指示	7.1%	4.3%

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

患者の状況等	亜急性期入院医療管理料 1 (N=1448)	亜急性期入院医療管理料 2 (N=293)
中心静脈栄養	0.4%	0.6%
経管栄養	2.2%	0.3%
導管処置	3.4%	2.3%
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.35%	0.3%
胃ろう・胃ろう等の処置	1.5%	0.0%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.8%	0.0%
気管切開	0.2%	0.0%
人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%
インスリン皮下注射	2.9%	1.3%
体位ドレーン	0.9%	0.0%
輸血・血液製剤	0.6%	0.3%
放射線治療	0.0%	0.0%
麻薬の使用	0.4%	0.0%
内視鏡検査・内視鏡的処置	0.2%	0.3%
全身麻酔を伴う処置	1.5%	0.3%
床上安静の指示	5.6%	1.0%

(参考) 傷病大分類にみた入室中の患者状況 (図表 3-87)

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

患者の状況等	傷病大分類									
	感染症及び寄生虫	新生物	血液及び造血系の疾患並びに免疫機能の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び聴覚系の疾患	循環器系の疾患	
中心静脈栄養	0.7%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	1.7%	
経管栄養	0.0%	0.0%	20.0%	3.9%	0.0%	17.0%	0.0%	0.0%	13.0%	
導管処置	6.7%	3.2%	10.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%		
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.3%		
胃ろう・胃ろう等の処置	0.0%	2.0%	0.0%	3.8%	0.0%	13.7%	0.0%	5.8%		
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%		
気管切開	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.2%		
人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
インスリン皮下注射	0.0%	4.1%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	3.5%		
体位ドレーン	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.9%	0.0%	0.9%		
輸血・血液製剤	0.0%	2.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%		
放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
麻薬の使用	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.7%		
内視鏡検査・内視鏡的処置	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%		
全身麻酔を伴う処置	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%		
床上安静の指示	0.0%	8.2%	0.0%	1.9%	0.0%	2.0%	0.0%	4.9%		
傷病大分類合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

患者の状況等	傷病大分類									
	感染症及び寄生虫	新生物	血液及び造血系の疾患並びに免疫機能の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び聴覚系の疾患	循環器系の疾患	
中心静脈栄養	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
経管栄養	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	
導管処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	
胃ろう・胃ろう等の処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
気管切開	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
人工呼吸器の装着	50.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	
インスリン皮下注射	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
体位ドレーン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
輸血・血液製剤	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	
放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
麻薬の使用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
内視鏡検査・内視鏡的処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
全身麻酔を伴う処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
床上安静の指示	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	
傷病大分類合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

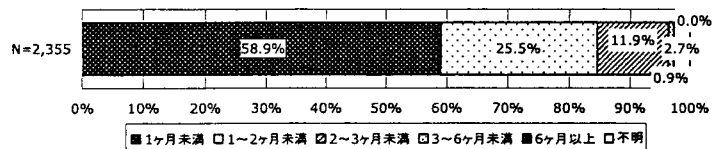
患者の状況等	傷病大分類									
	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎臓泌尿生殖器系の疾患	産科、産科等では分類されないものの	眼、中聴及びその他の外因の影響	不明	合計	
中心静脈栄養	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.4%
経管栄養	21.7%	0.0%	0.0%	0.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
導管処置	4.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	2.8%	1.1%
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	9.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
胃ろう・胃ろう等の処置	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管切開	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
インスリン皮下注射	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.2%
体位ドレーン	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
輸血・血液製剤	17.4%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
麻薬の使用	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
内視鏡検査・内視鏡的処置	4.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
全身麻酔を伴う処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
床上安静の指示	17.4%	3.8%	20.0%	4.4%	50.0%	25.0%	3.7%	0.0%	5.1%	0.0%
傷病大分類合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

患者の状況等	傷病大分類									
	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	腎臓泌尿生殖器系の疾患	産科、産科等では分類されないものの	眼、中聴及びその他の外因の影響	不明	合計	
中心静脈栄養	2.9%	2.9%	4.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	
経管栄養	16.7%	9.0%	16.0%	0.4%	6.1%	0.0%	0.4%	0.0%	4.6%	
導管処置	5.1%	6.7%	32.0%	2.0%	12.1%	3.3%	3.2%	0.0%	4.6%	
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	6.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	
胃ろう・胃ろう等の処置	12.3%	5.0%	8.0%	0.4%	6.1%	0.0%	0.4%	0.0%	2.6%	
ドレーン法・胸腹腔洗浄	1.4%	4.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.0%	
気管切開	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
人工呼吸器の装着	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	
インスリン皮下注射	4.3%	0.0%	0.0%	2.0%	6.7%	3.1%	3.2%	0.0%	4.0%	
体位ドレーン	3.6%	3.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.1%	
輸血・血液製剤	1.4%	2.2%	0.0%	0.2%	3.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.8%	
放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
麻薬の使用	1.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	
内視鏡検査・内視鏡的処置	3.6%	11.2%	0.0%	0.4%	3.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.5%	
全身麻酔を伴う処置	0.7%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.3%	
床上安静の指示	9.4%	9.0%	4.0%	6.9%	3.0%	20.0%	9.4%	0.0%	7.3%	
傷病大分類合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

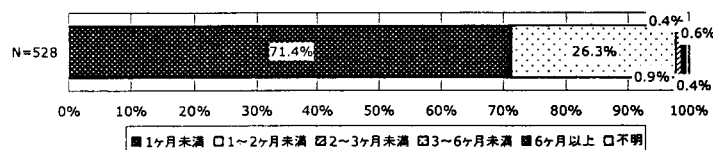
□ 退室患者の退室時の状況

○ 入室から退室までの期間 (図表 3-88)

[亜急性期入院医療管理料 1] ...平均 30.3 日



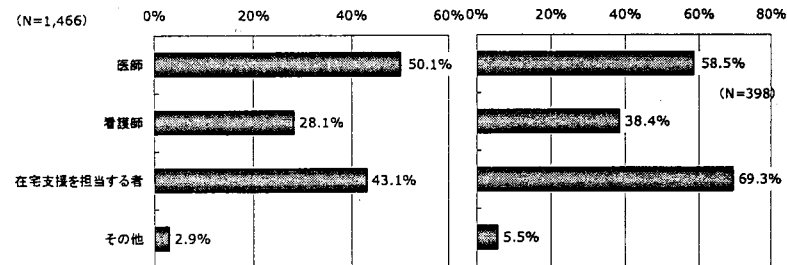
[亜急性期入院医療管理料 2] ...平均 24.5 日



○ 退院支援計画書の作成者 (図表 3-89)

[亜急性期入院医療管理料 1]

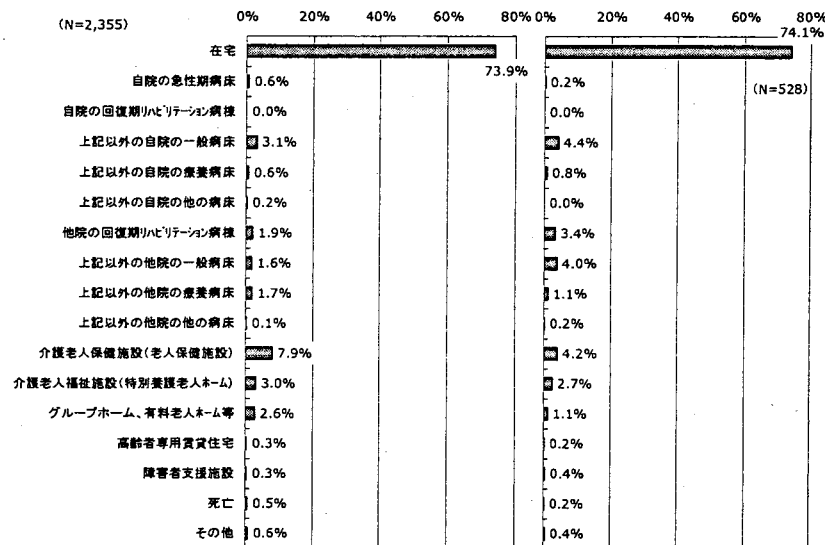
[亜急性期入院医療管理料 2]



○ 退室先 (図表 3-90)

[亜急性期入院医療管理料 1]

[亜急性期入院医療管理料 2]



(参考) 主な傷病別にみた退室先 (図表 3-91)

[亜急性期入院医療管理料 1]

順位	傷病名	退室先							合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
1	骨折(N=722)	78.3%	3.2%	4.7%	10.7%	0.1%	0.7%	1.7%	100.0%
2	関節症(N=226)	93.4%	3.1%	1.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%
3	脳梗塞(N=180)	58.9%	8.3%	8.9%	21.1%	0.6%	1.7%	0.6%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	88.2%	3.4%	0.8%	5.9%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
5	肺炎(N=101)	41.6%	5.0%	11.9%	34.7%	5.0%	2.0%	0.0%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

順位	傷病名	退室先							合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
1	骨折(N=144)	70.1%	4.2%	13.2%	10.4%	0.0%	0.0%	2.1%	100.0%
2	関節症(N=52)	88.5%	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	5.8%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	87.2%	2.6%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	脳梗塞(N=32)	59.4%	6.3%	15.6%	9.4%	0.0%	0.0%	9.4%	100.0%

(参考) 傷病大分類にみた退室先 (図表 3-92)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

傷病大分類	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他		
感染症及び寄生虫 (N=16)	68.8%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
癌 (N=49)	61.2%	10.2%	10.2%	16.3%	0.0%	2.0%	100.0%	
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	50.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%	
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=56)	76.8%	5.4%	3.6%	12.5%	0.0%	1.8%	100.0%	
精神及び行動の障害 (N=16)	75.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	100.0%	
神経系の疾患 (N=51)	66.7%	9.8%	2.0%	21.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
聴及び付属器の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視及び視覚系の疾患 (N=6)	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
循環器系の疾患 (N=364)	57.4%	7.1%	6.6%	24.7%	0.6%	1.1%	100.0%	
呼吸器系の疾患 (N=147)	48.3%	4.8%	9.5%	32.0%	3.4%	2.0%	100.0%	
消化器系の疾患 (N=86)	57.3%	6.3%	6.3%	26.1%	1.0%	1.0%	100.0%	
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	52.0%	16.0%	16.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=604)	89.9%	2.8%	2.3%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
腎臓泌尿器系の疾患 (N=33)	60.6%	9.1%	0.0%	30.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
症状、徴候等では分類されないもの (N=14)	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=78)	80.5%	3.0%	5.4%	10.4%	0.1%	0.6%	100.0%	
不明 (N=38)	84.2%	0.0%	7.9%	7.9%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計 (N=2,330)	74.7%	4.5%	5.4%	14.3%	0.9%	0.8%	100.0%	

[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]

傷病大分類	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他		
感染症及び寄生虫 (N=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
癌 (N=6)	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
精神及び行動の障害 (N=5)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
神経系の疾患 (N=10)	60.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
聴及び付属器の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
視及び視覚系の疾患 (N=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
循環器系の疾患 (N=74)	60.8%	6.8%	18.9%	12.2%	0.0%	1.4%	100.0%	
呼吸器系の疾患 (N=25)	44.0%	12.0%	12.0%	32.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
消化器系の疾患 (N=31)	74.2%	12.9%	0.0%	12.9%	0.0%	0.0%	100.0%	
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	100.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=143)	92.3%	2.1%	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
腎臓泌尿器系の疾患 (N=9)	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
症状、徴候等では分類されないもの (N=4)	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=178)	75.8%	3.9%	11.2%	9.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
不明 (N=10)	80.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%	
合計 (N=513)	76.2%	5.5%	9.0%	8.8%	0.2%	0.4%	100.0%	

(参考) 年齢階級別にみた退室先 (図表 3-93)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

年齢	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
40歳未満 (N=83)	91.6%	2.4%	3.6%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	100.0%
40歳代 (N=65)	92.3%	3.1%	1.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代 (N=185)	92.1%	1.8%	3.6%	1.2%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
60~65歳未満 (N=104)	87.5%	1.9%	1.9%	7.7%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
65~70歳未満 (N=168)	81.0%	1.8%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
70~75歳未満 (N=300)	79.0%	4.3%	6.0%	8.0%	0.3%	1.0%	1.3%	100.0%
75~80歳未満 (N=430)	79.5%	4.0%	5.6%	9.1%	0.2%	0.5%	1.2%	100.0%
80~85歳未満 (N=455)	68.8%	5.3%	5.5%	16.9%	0.7%	1.1%	1.8%	100.0%
85~90歳未満 (N=346)	59.5%	6.9%	5.8%	24.9%	1.2%	0.9%	0.9%	100.0%
90歳以上 (N=224)	52.7%	5.4%	5.4%	34.4%	0.9%	0.4%	0.9%	100.0%
不明 (N=15)	60.0%	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]

年齢	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
40歳未満 (N=36)	91.7%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%
40歳代 (N=13)	92.3%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代 (N=52)	84.6%	1.9%	5.8%	5.8%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
60~65歳未満 (N=38)	86.8%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	100.0%
65~70歳未満 (N=42)	95.2%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
70~75歳未満 (N=48)	89.6%	2.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	100.0%
75~80歳未満 (N=88)	69.3%	8.0%	13.6%	5.7%	0.0%	0.0%	3.4%	100.0%
80~85歳未満 (N=92)	70.7%	4.3%	9.8%	8.7%	1.1%	0.0%	5.4%	100.0%
85~90歳未満 (N=59)	50.8%	8.5%	8.5%	28.8%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%
90歳以上 (N=54)	48.1%	9.3%	18.5%	20.4%	0.0%	1.9%	1.9%	100.0%
不明 (N=6)	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

(参考) 世帯構成別にみた退室先 (図表 3-94)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

世帯構成	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
単独世帯 (N=671)	63.3%	4.3%	5.5%	23.8%	0.6%	1.5%	0.9%	100.0%
同居有り世帯 (N=1,827)	78.2%	4.5%	5.2%	10.2%	0.5%	0.3%	1.1%	100.0%
不明 (N=57)	73.7%	3.5%	8.8%	12.3%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]

世帯構成	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
単独世帯 (N=137)	55.5%	8.0%	15.3%	19.0%	0.0%	1.5%	0.7%	100.0%
同居有り世帯 (N=381)	80.1%	4.5%	6.6%	5.0%	0.3%	0.0%	3.7%	100.0%
不明 (N=10)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

(参考) 院内クリニカルパスの実施の有無別にみた退室先 (図表 3-95)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

院内クリニカルパス	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
有(N=432)	79.6%	3.2%	5.8%	9.7%	0.2%	0.9%	0.5%	100.0%
無(N=1,868)	72.1%	4.8%	5.4%	15.5%	0.6%	0.6%	1.2%	100.0%
合計	73.5%	4.5%	5.4%	14.4%	0.5%	0.7%	1.0%	100.0%

[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]

院内クリニカルパス	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
有(N=147)	72.1%	4.8%	12.2%	6.8%	0.0%	0.0%	4.1%	100.0%
無(N=350)	74.0%	5.7%	7.7%	9.4%	0.3%	0.6%	2.3%	100.0%
合計	73.4%	5.4%	9.1%	8.7%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

(参考) 日常生活機能評価別にみた退室先 (図表 3-96)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

日常生活機能評価	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
0点(N=521)	89.3%	1.9%	1.9%	5.4%	0.0%	0.2%	1.3%	100.0%
1~4点(N=351)	79.2%	3.1%	4.0%	12.0%	0.3%	0.6%	1.0%	100.0%
5~9点(N=100)	49.0%	15.0%	10.0%	23.0%	0.0%	2.0%	1.0%	100.0%
10~14点(N=85)	44.7%	12.9%	10.6%	30.6%	0.0%	1.2%	0.0%	100.0%
15~19点(N=51)	17.6%	15.7%	29.4%	31.4%	3.9%	2.0%	0.0%	100.0%
不明(N=1,247)	72.3%	3.5%	5.5%	15.9%	0.7%	0.6%	1.2%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

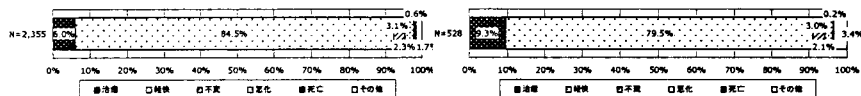
[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]

日常生活機能評価	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
0点(N=142)	90.8%	2.8%	2.8%	1.4%	0.0%	0.7%	1.4%	100.0%
1~4点(N=56)	51.8%	8.3%	19.6%	17.9%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
5~9点(N=14)	21.4%	7.1%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%
10~14点(N=23)	78.3%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15~19点(N=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明(N=291)	72.9%	4.8%	8.2%	9.6%	0.3%	0.3%	3.8%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

○ 転帰 (図表 3-97)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

[ 亜急性期入院医療管理料 2 ]



○ 日常生活機能評価とバーゼル指数 (図表 3-98)

[ 亜急性期入院医療管理料 1 ]

	0点	1~4点	5~9点	10~14点	15~19点	不明	合計
日常生活機能評価(N=2,355)	22.1%	14.9%	4.2%	3.6%	2.2%	53.0%	100.0%

	0点	5~20点	25~50点	55~75点	80~100点	不明	合計
バーゼル指数(N=2,355)	4.5%	3.8%	5.1%	6.8%	27.4%	52.3%	100.0%

日常生活機能評価	平均値	標準偏差	バーゼル指数	平均値	標準偏差
床上安静の指示(N=1,434)	0.06点	0.23	食事(N=1,197)	8.22点	3.34
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる(N=1,426)	0.09点	0.28	移乗(N=1,192)	10.98点	5.48
寝返り(N=1,520)	0.31点	0.62	整容(N=1,191)	3.52点	2.31
起き上がり(N=1,494)	0.18点	0.39	トイレ動作(N=1,194)	7.23点	3.95
座位保持(N=1,518)	0.26点	0.56	入浴(N=1,168)	2.27点	2.49
移乗(N=1,513)	0.45点	0.71	平地歩行(N=1,166)	9.99点	5.97
移動方法(N=1,164)	0.40点	0.49	階段昇降(N=1,168)	5.33点	4.30
口腔清潔(N=1,499)	0.22点	0.42	更衣(N=1,193)	6.83点	4.00
食事摂取(N=1,519)	0.28点	0.59	排泄コントロール(N=1,194)	7.51点	3.85
衣服の着脱(N=1,516)	0.51点	0.72	排泄コントロール(N=1,194)	7.49点	3.87
他者への意思の伝達(N=1,431)	0.24点	0.55			
診療・療養上の指示が通じる(N=1,417)	0.16点	0.37			
危険行動(N=1,418)	0.14点	0.35			

(参考) 傷病大分類別にみた日常生活機能評価点数とバーゼル指数

○ 日常生活機能評価

日常生活機能評価	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫	10	3.7	6.273	0	19
新生物	23	4.3	6.079	0	17
血液及び造血系の疾患並びに免疫機能的障害	6	3.2	4.997	0	11
内分泌、栄養及び代謝疾患	18	4.7	5.050	0	17
精神及び行動的障害	9	2.7	4.717	0	14
神経系の疾患	20	5.8	5.730	0	17
眼及び付属器の疾患	2	0.5	0.707	0	1
耳及び乳突突起の疾患	2	2.5	3.536	0	5
循環器系の疾患	165	4.9	5.474	0	18
呼吸器系の疾患	44	8.7	7.201	0	18
消化器系の疾患	37	4.1	5.477	0	17
皮膚及び皮下組織の疾患	16	4.9	6.183	0	17
筋骨格系及び結合組織の疾患	314	1.3	2.610	0	18
腎臓泌尿器系の疾患	19	3.9	5.512	0	15
症状、徴候等で他に分類されないもの	5	4.0	4.899	0	12
損傷、中毒及びその他の外因的影響	397	2.0	3.330	0	16
不明	21	3.6	5.372	0	16
合計	1,108	2.9	4.531	0	19

○ バーゼル指数

バーゼル指数	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫	9	67.2	37.175	0	100
新生物	17	50.3	39.901	0	100
血液及び造血系の疾患並びに免疫機能的障害	6	55.8	47.583	0	100
内分泌、栄養及び代謝疾患	28	66.1	39.962	0	100
精神及び行動的障害	9	79.4	32.639	0	100
神経系の疾患	19	44.2	38.632	0	100
眼及び付属器の疾患	2	50.0	70.711	0	100
耳及び乳突突起の疾患	4	93.8	12.500	75	100
循環器系の疾患	176	53.7	37.471	0	100
呼吸器系の疾患	64	34.5	42.155	0	100
消化器系の疾患	47	59.3	40.900	0	100
皮膚及び皮下組織の疾患	15	37.3	43.089	0	100
筋骨格系及び結合組織の疾患	292	81.4	27.118	0	100
腎臓泌尿器系の疾患	20	63.8	38.040	0	100
症状、徴候等で他に分類されないもの	4	57.5	44.441	0	95
損傷、中毒及びその他の外因的影響	395	79.5	26.224	0	100
不明	16	46.6	39.821	0	100
合計	1,123	69.2	35.123	0	100

[亜急性期入院医療管理料 2]

	0点	1~4点	5~9点	10~14点	15~19点	不明	合計
日常生活機能評価(N=528)	26.9%	10.6%	2.7%	4.4%	0.4%	55.1%	100.0%
	0点	5~20点	25~50点	55~75点	80~100点	不明	合計
バーゼル指数(N=528)	3.0%	3.2%	7.8%	7.8%	36.0%	42.2%	100.0%

日常生活機能評価	平均値	標準偏差	バーゼル指数	平均値	標準偏差
床上安静の指示(N=279)	0.13点	0.34	食事(N=314)	8.66点	2.79点
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる(N=266)	0.13点	0.34	移乗(N=313)	12.16点	4.62
寝返り(N=283)	0.28点	0.60	整容(N=312)	3.64点	2.23
起き上がり(N=276)	0.18点	0.39	トイレ動作(N=314)	7.64点	3.60
座位保持(N=288)	0.29点	0.59	入浴(N=312)	2.58点	2.50
移乗(N=316)	0.41点	0.63	平地歩行(N=310)	10.50点	5.76
移動方法(N=245)	0.29点	0.46	階段昇降(N=312)	5.66点	4.44
口腔清潔(N=271)	0.17点	0.38	更衣(N=313)	7.54点	3.61
食事摂取(N=319)	0.33点	0.59	排便コントロール(N=313)	8.15点	3.46
衣服の着脱(N=316)	0.50点	0.68	排尿コントロール(N=312)	8.11点	3.51
他者への意思の伝達(N=266)	0.26点	0.55			
診療・療養上の指示が通じる(N=251)	0.16点	0.37			
危険行動(N=260)	0.18点	0.39			

(参考) 傷病大分類にみた日常生活機能評価点とバーゼル指数

○日常生活機能評価

日常生活機能評価	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫症	2	0.5	0.707	0	1
新生物	1	6.0		6	6
血液及び血管系の疾患並びに免疫機能的障害	0	0.0	0.000	0	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	4	7.0	6.976	0	13
精神及び行動的障害	5	0.0	0.000	0	0
神経系の疾患	0	0.0	0.000	0	0
眼及び付属部の疾患	3	0.0	0.000	0	0
耳及び乳突突起の疾患	0	0.0	0.000	0	0
循環器系の疾患	16	4.5	5.453	0	14
呼吸器系の疾患	8	6.3	6.692	0	13
消化器系の疾患	12	5.3	6.358	0	14
皮膚及び皮下組織の疾患	3	0.0	0.000	0	0
筋骨格系及び結合組織の疾患	61	1.1	3.009	0	14
腎臓泌尿器系の疾患	2	7.5	10.607	0	15
症状、徴候等で他に分類されないもの	1	0.0		0	0
構傷、中毒及びその他の外因の影響	114	1.8	3.139	0	15
不明	5	3.0	5.657	0	13
合計	237	2.2	4.065	0	15

○バーゼル指数

バーゼル指数	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫症	2	72.5	3.536	70	75
新生物	3	36.7	37.528	0	75
血液及び血管系の疾患並びに免疫機能的障害	0	0.0	0.000	0	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	5	70.0	42.279	0	100
精神及び行動的障害	5	99.0	2.236	95	100
神経系の疾患	3	50.0	45.826	10	100
眼及び付属部の疾患	0	0.0	0.000	0	0
耳及び乳突突起の疾患	0	0.0	0.000	0	0
循環器系の疾患	50	63.1	32.715	0	100
呼吸器系の疾患	15	44.0	43.268	0	100
消化器系の疾患	16	74.7	31.805	15	100
皮膚及び皮下組織の疾患	5	71.0	44.215	0	100
筋骨格系及び結合組織の疾患	64	87.9	23.340	0	100
腎臓泌尿器系の疾患	5	24.0	37.815	0	90
症状、徴候等で他に分類されないもの	3	30.0	51.962	0	90
構傷、中毒及びその他の外因の影響	102	78.4	26.820	0	100
不明	7	77.1	28.847	25	100
合計	305	74.6	32.182	0	100

○退室までの経緯 (図表 3-99)

	亜急性期入院医療管理料1 (N=2,355)	亜急性期入院医療管理料2 (N=528)
診療計画書にある推定入院期間より早く退室	20.0%	17.8%
診療計画書にある推定入院期間どおりの退室	45.5%	46.6%
病状が安定せず、退室が延びた	12.0%	13.1%
入所・転院する施設の都合で、退室が延びた	5.1%	4.9%
退室先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退室が延びた	6.7%	4.0%
退室先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退室が延びた	1.5%	0.9%
その他	5.0%	5.9%
無回答	4.2%	6.8%
合計	100.0%	100.0%

(参考) 傷病大分類にみた退室までの経緯 (図表 3-100)

[亜急性期入院医療管理料 1]

傷病大分類	退室までの経緯							合計
	診療計画書にある推定入院期間より早く退室	診療計画書にある推定入院期間どおりの退室	病状が安定せず、退室が延びた	入所・転院する施設の都合で、退室が延びた	退室先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退室が延びた	退室先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退室が延びた	その他	
感染症及び寄生虫症 (N=16)	31.3%	15.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	25.0%	100.0%
新生物 (N=6)	14.3%	50.0%	6.3%	10.4%	6.3%	0.0%	10.4%	100.0%
血液及び血管系の疾患並びに免疫機能的障害 (N=10)	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=5)	34.0%	38.0%	7.5%	5.7%	9.4%	0.0%	5.3%	100.0%
精神及び行動的障害 (N=16)	18.0%	56.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
神経系の疾患 (N=5)	21.0%	52.0%	5.0%	11.0%	7.0%	0.0%	0.0%	100.0%
眼及び付属部の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
耳及び乳突突起の疾患 (N=6)	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
循環器系の疾患 (N=36)	23.0%	39.9%	8.3%	10.5%	6.9%	3.0%	5.5%	100.0%
呼吸器系の疾患 (N=14)	17.9%	43.4%	16.8%	9.1%	6.3%	0.7%	6.3%	100.0%
消化器系の疾患 (N=21)	31.9%	41.0%	7.7%	6.0%	2.2%	0.0%	7.7%	100.0%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=24)	16.7%	41.7%	25.0%	12.5%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=57)	18.0%	52.3%	15.3%	1.9%	5.5%	0.8%	4.3%	100.0%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=3)	34.7%	29.0%	9.7%	3.2%	0.0%	9.7%	0.0%	100.0%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=12)	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	100.0%
構傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=78)	18.2%	50.4%	13.2%	3.8%	1.9%	4.9%	0.0%	100.0%
不明 (N=34)	17.6%	55.9%	6.8%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	100.0%
合計 (N=2,256)	20.0%	47.5%	12.5%	5.4%	7.0%	1.6%	5.2%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

傷病大分類	退室までの経緯							合計
	診療計画書にある推定入院期間より早く退室	診療計画書にある推定入院期間どおりの退室	病状が安定せず、退室が延びた	入所・転院する施設の都合で、退室が延びた	退室先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退室が延びた	退室先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退室が延びた	その他	
感染症及び寄生虫症 (N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
新生物 (N=6)	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	100.0%
血液及び血管系の疾患並びに免疫機能的障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=6)	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
精神及び行動的障害 (N=5)	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
神経系の疾患 (N=10)	10.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
眼及び付属部の疾患 (N=3)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
耳及び乳突突起の疾患 (N=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
循環器系の疾患 (N=24)	18.8%	58.1%	4.1%	3.5%	4.1%	0.0%	5.4%	100.0%
呼吸器系の疾患 (N=25)	18.0%	56.0%	8.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	100.0%
消化器系の疾患 (N=32)	9.4%	56.3%	9.4%	9.4%	6.3%	3.1%	6.3%	100.0%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=124)	16.9%	42.7%	23.4%	2.4%	7.3%	2.4%	4.6%	100.0%
腎臓泌尿器系の疾患 (N=8)	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
構傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=176)	22.5%	46.8%	15.7%	6.2%	2.2%	0.6%	6.2%	100.0%
不明 (N=8)	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%
合計 (N=492)	19.1%	50.0%	14.0%	5.3%	4.3%	1.0%	6.3%	100.0%

(参考) 年齢階級別にみた入室から退室までの期間 (図表 3-101)

[亜急性期入院医療管理料 1]

年齢	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	不明	
40歳未満 (N=83)	54.2%	30.1%	10.8%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
40歳代 (N=65)	53.8%	20.0%	18.5%	3.1%	0.0%	4.6%	100.0%
50歳代 (N=165)	54.5%	27.9%	15.2%	1.2%	0.6%	0.8%	100.0%
60~65歳未満 (N=104)	62.5%	29.8%	6.7%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
65~70歳未満 (N=168)	64.9%	19.0%	12.5%	0.0%	0.6%	3.0%	100.0%
70~75歳未満 (N=300)	65.7%	21.3%	9.3%	1.0%	0.0%	2.7%	100.0%
75~80歳未満 (N=430)	60.2%	25.6%	10.7%	0.7%	0.0%	2.8%	100.0%
80~85歳未満 (N=455)	56.5%	27.5%	12.1%	0.7%	0.2%	3.1%	100.0%
85~90歳未満 (N=346)	56.6%	26.0%	14.7%	0.9%	0.0%	1.7%	100.0%
90歳以上 (N=224)	59.8%	26.8%	11.2%	0.9%	0.0%	1.3%	100.0%
不明 (N=15)	53.3%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

年齢	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	5~8ヶ月未満	8~12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
40歳未満 (N=8)	77.8%	19.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
40歳代 (N=13)	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代 (N=52)	84.6%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
60~65歳未満 (N=38)	80.5%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	100.0%
65~70歳未満 (N=42)	59.5%	33.3%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	100.0%
70~75歳未満 (N=48)	85.4%	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
75~80歳未満 (N=88)	88.2%	29.9%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	100.0%
80~85歳未満 (N=92)	67.4%	30.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
85~90歳未満 (N=59)	78.0%	20.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
90歳以上 (N=54)	66.7%	31.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明 (N=8)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.8%	100.0%

(参考) 世帯構成別にみた入室から退室までの期間 (図表 3-102)

[亜急性期入院医療管理料 1]

世帯構成	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	不明	
単独世帯 (N=671)	57.8%	26.5%	11.6%	0.7%	0.0%	3.3%	100.0%
同居有り世帯 (N=1,627)	59.8%	24.8%	12.2%	0.9%	0.2%	2.2%	100.0%
不明 (N=57)	59.6%	35.1%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

世帯構成	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	5~8ヶ月未満	8~12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
単独世帯 (N=137)	66.4%	31.4%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
同居有り世帯 (N=381)	73.0%	24.7%	0.8%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	100.0%
不明 (N=10)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%

(参考) 院内クリニカルパスの実施の有無別にみた入室から退室までの期間 (図表 3-103)

[亜急性期入院医療管理料 1]

院内クリニカルパス	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	不明	
有 (N=432)	68.5%	19.4%	9.3%	1.2%	0.0%	1.6%	100.0%
無 (N=1,868)	57.3%	26.5%	12.7%	0.7%	0.2%	2.6%	100.0%
合計	59.4%	25.2%	12.0%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

院内クリニカルパス	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	5~8ヶ月未満	8~12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
有 (N=147)	77.6%	19.0%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
無 (N=350)	69.7%	28.6%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	72.0%	25.8%	1.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.4%	100.0%

(参考) 日常生活機能評価別にみた入室から退室までの期間 (図表 3-104)

[亜急性期入院医療管理料 1]

日常生活機能評価	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	不明	
0点 (N=521)	65.6%	24.0%	9.4%	0.6%	0.0%	0.4%	100.0%
1~4点 (N=351)	61.3%	24.8%	12.8%	0.9%	0.0%	0.3%	100.0%
5~9点 (N=100)	57.0%	24.0%	17.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10~14点 (N=85)	58.8%	25.9%	11.8%	1.2%	1.2%	1.2%	100.0%
15~19点 (N=51)	66.7%	19.6%	11.8%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明 (N=1,247)	55.9%	26.7%	12.3%	0.7%	0.2%	4.3%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料 2]

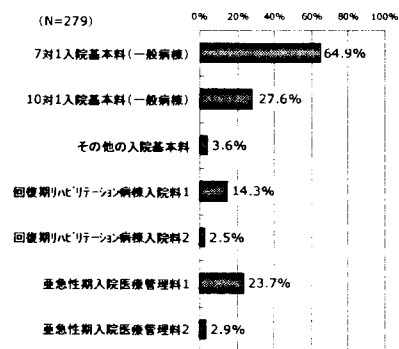
日常生活機能評価	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~4ヶ月未満	4~5ヶ月未満	5~8ヶ月未満	8~12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
0点 (N=142)	74.6%	24.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
1~4点 (N=56)	51.8%	46.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5~9点 (N=14)	71.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%
10~14点 (N=22)	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15~19点 (N=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明 (N=291)	73.9%	23.4%	1.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%

(4) 地域連携診療計画管理料及び地域連携診療計画退院時指導料 回答病院

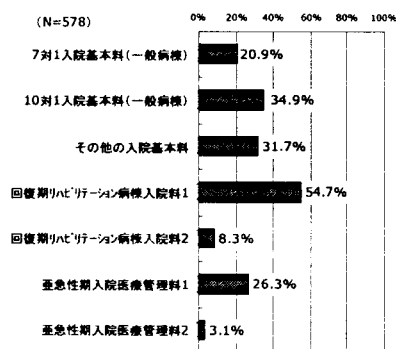
■ 回答病院の概況

○ 診療報酬に係る届出状況 [複数回答]

・ 計画管理料算定病院 (図表 4-1)



・ 退院時指導料算定病院 (図表 4-2)



■ 計画管理料、退院時指導料に係る状況

○ 1施設当たりの計画管理病院、連携保険医療機関の施設数

・ 地域連携診療計画管理料算定病院 [大腿骨頭部骨折] (図表 4-3)

連携保健医療機関	1施設当たり連携施設数	割合
7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.59施設	9.3%
10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	1.31施設	20.9%
13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.50施設	8.0%
15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.93施設	14.8%
療養病棟入院基本料届出病院	1.20施設	20.1%
回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設	2.31施設	37.0%
亜急性期入院医療管理料届出施設	0.17施設	2.7%
1施設当たり連携保健医療機関 病院	6.26施設	100.0%
1施設当たり連携保健医療機関 有床診療所	0.72施設	

※有効回答 147 件で集計

・ 地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [大腿骨頭部骨折] (図表 4-4)

計画管理病院	1施設当たり連携施設数	割合
7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	1.45施設	67.7%
10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.60施設	27.8%
13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.03施設	1.4%
15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.00施設	0.1%
療養病棟入院基本料届出病院	0.00施設	0.1%
1施設当たり計画管理病院	2.14施設	100.0%

※有効回答 371 件で集計

・ 地域連携診療計画管理料算定病院 [脳卒中] (図表 4-5)

連携保健医療機関	1施設当たり連携施設数	割合
7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	1.01施設	8.9%
10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	2.05施設	18.0%
13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.67施設	5.9%
15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	1.14施設	10.0%
療養病棟入院基本料届出病院	2.28施設	20.1%
回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設	5.63施設	49.6%
亜急性期入院医療管理料届出施設	0.40施設	3.5%
1施設当たり連携保健医療機関 病院	11.34施設	100.0%
1施設当たり連携保健医療機関 有床診療所	0.69施設	

※有効回答 169 件で集計

・ 地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [脳卒中] (図表 4-6)

計画管理病院	1施設当たり連携施設数	割合
7対1入院基本料(一般病棟)届出病院	2.79施設	63.2%
10対1入院基本料(一般病棟)届出病院	1.21施設	27.3%
13対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.04施設	1.0%
15対1入院基本料(一般病棟)届出病院	0.03施設	0.6%
療養病棟入院基本料届出病院	0.01施設	0.1%
1施設当たり計画管理病院	4.41施設	100.0%

※有効回答 326 件で集計



○ 1施設当たり算定患者数

・地域連携診療計画管理料算定病院【大腿骨頭部骨折】(図表 4-7)

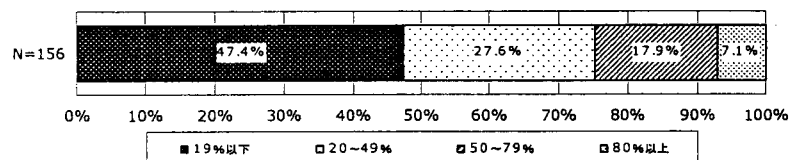
算定	1施設当たり患者数	割合
大腿骨頭部骨折に係る計画管理料算定患者	30.2人	36.1%
設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者	21.0人	25.1%
連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者	24.2人	28.9%
1施設当たり大腿骨頭部骨折による入院患者	83.5人	100.0%

※有効回答 156 件で集計

大腿骨頭部骨折に係る計画管理料を算定している患者の割合 (図表 4-8)

… 平均 29.5%

※有効回答 156 件で集計



・地域連携診療計画退院時指導料算定病院【大腿骨頭部骨折】(図表 4-9)

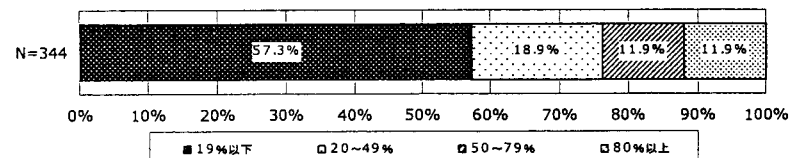
算定	1施設当たり患者数	割合
大腿骨頭部骨折に係る退院時指導料算定患者	10.8人	21.0%
設定した入院期間内に退院・転院できた患者	8.0人	15.6%
1施設当たり大腿骨頭部骨折による入院患者	51.4人	100.0%

※有効回答 344 件で集計

大腿骨頭部骨折に係る退院時指導料を算定している患者の割合 (図表 4-10)

… 平均 26.3%

※有効回答 344 件で集計



・地域連携診療計画管理料算定病院【脳卒中】(図表 4-11)

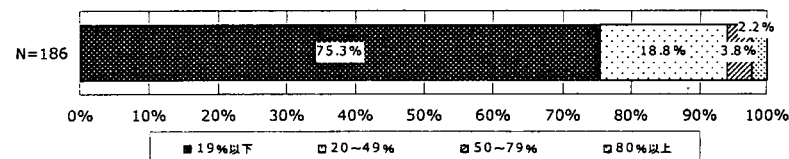
算定	1施設当たり患者数	割合
脳卒中に係る計画管理料算定患者	32.8人	12.9%
設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者	22.7人	8.9%
連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者	22.2人	8.8%
1施設当たり脳卒中による入院患者	254.0人	100.0%

※有効回答 186 件で集計

脳卒中に係る計画管理料を算定している患者の割合 (図表 4-12)

… 平均 13.2%

※有効回答 186 件で集計



・地域連携診療計画退院時指導料算定病院【脳卒中】(図表 4-13)

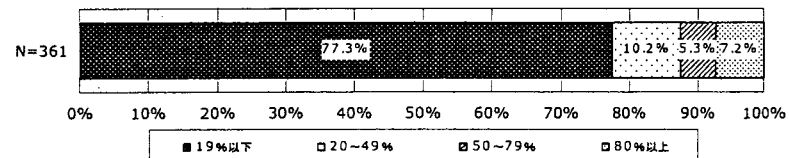
算定	1施設当たり患者数	割合
脳卒中に係る退院時指導料算定患者	13.5人	8.5%
設定した入院期間内に退院・転院できた患者	9.5人	6.0%
1施設当たり脳卒中による入院患者	159.0人	100.0%

※有効回答 361 件で集計

脳卒中に係る退院時指導料を算定している患者の割合 (図表 4-14)

… 平均 16.1%

※有効回答 361 件で集計



○ 1施設当たりの算定患者の平均在院日数

・地域連携診療計画管理料算定病院 [大腿骨頭部骨折]		
[H19] 計画管理料算定患者…	平均 26.6 日	
大腿骨頭部骨折による入院患者…	平均 31.2 日	※有効回答 82 件で集計
[H20] 計画管理料算定患者…	平均 26.4 日	
大腿骨頭部骨折による入院患者…	平均 31.6 日	※有効回答 118 件で集計
・地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [大腿骨頭部骨折]		
[H19] 退院時指導料算定患者…	平均 61.2 日	
大腿骨頭部骨折による入院患者…	平均 64.0 日	※有効回答 114 件で集計
[H20] 退院時指導料算定患者…	平均 61.4 日	
大腿骨頭部骨折による入院患者…	平均 65.3 日	※有効回答 218 件で集計

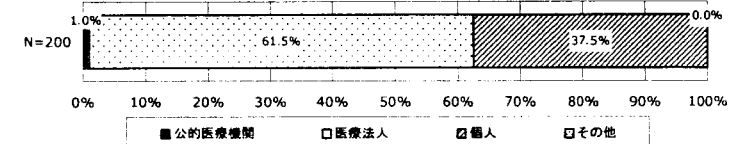
・地域連携診療計画管理料算定病院 [脳卒中]		
[H20] 計画管理料算定患者…	平均 33.3 日	
脳卒中による入院患者…	平均 30.0 日	※有効回答 138 件で集計
・地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [脳卒中]		
[H20] 退院時指導料算定患者…	平均 84.0 日	
脳卒中による入院患者…	平均 89.1 日	※有効回答 226 件で集計

○ 1施設当たりの地域連携診療計画に係る情報交換のための会合の開催回数

・地域連携診療計画管理料算定病院		
… [大腿骨頭部骨折 H20]	平均 2.58 回	※有効回答 205 件で集計
[脳卒中 H20]	平均 2.84 回	※有効回答 236 件で集計
・地域連携診療計画退院時指導料算定病院		
… [大腿骨頭部骨折 H20]	平均 3.11 回	※有効回答 492 件で集計
[脳卒中 H20]	平均 3.70 回	※有効回答 497 件で集計

(5) 診療所調査 回答診療所

○ 開設者 (図表 5-1)



○ 主たる診療科 (図表 5-2)

順位	全体 (N=117)	地域連携診療計画退院時指導料			
		届出なし (N=92)		届出あり (N=23)	
1	内科 31.6%	内科 30.4%	内科 34.8%		
2	外科 16.2%	外科 17.4%	整形外科 21.7%		
3	整形外科 14.5%	整形外科 13.0%	外科 13.0%		
4	産婦人科 11.1%	産婦人科 12.0%	脳神経外科 8.7%		
5	脳神経外科 4.3%	消化器科 4.3%	産婦人科 8.7%		

○ 医師数 (図表 5-3)

	全体 (N=199)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=162)	届出あり (N=31)
医師数	1.7 人	1.7 人	1.5 人

○ 稼働病床数 (図表 5-4)

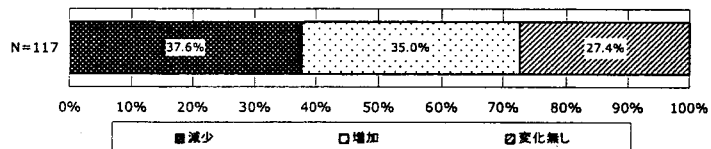
	全体 (N=82)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=64)	届出あり (N=15)
稼働病床数	10.4 床	10.2 床	12.0 床
一般病床数	8.5 床	8.5 床	8.9 床
療養病床数	1.3 床	1.1 床	2.7 床
後期高齢者医療管理料算定病床数	0.5 床	0.6 床	0.0 床

○ 平均在院日数 (図表 5-5)

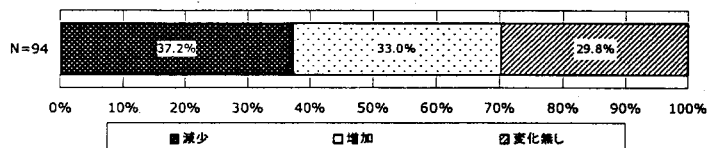
	全体 (N=118)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=95)	届出あり (N=19)
平均在院日数(平成20年4~6月)	36.5日	29.9日	51.3日
平均在院日数(平成21年4~6月)	35.5日	30.0日	48.8日

・平均在院日数変化 (図表 5-6)

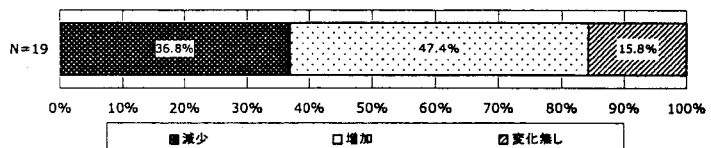
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>

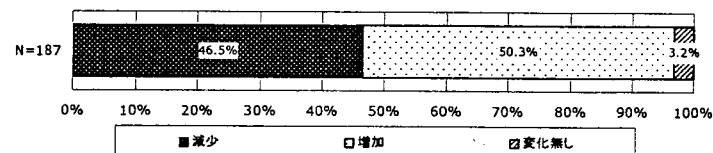


○ 外来患者延べ数・入院患者延べ数 (図表 5-7)

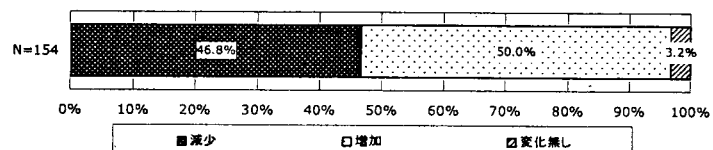
	全体 (N=164)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=134)	届出あり (N=26)
外来患者延べ数(平成20年6月)	1,616.4人	1,637.3人	1,530.7人
(平成21年6月)	1,624.2人	1,621.5人	1,674.1人
入院患者延べ数(平成20年6月)	119.0人	112.6人	129.3人
(平成21年6月)	115.6人	108.8人	127.0人

・外来患者延べ数変化 (図表 5-8)

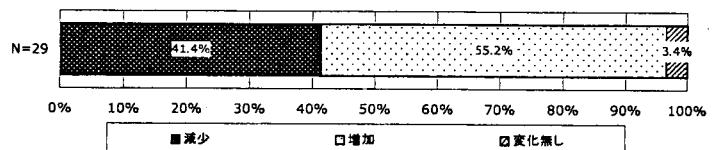
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>

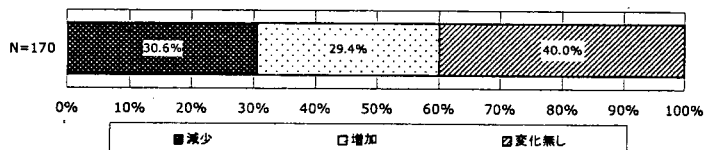


<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>

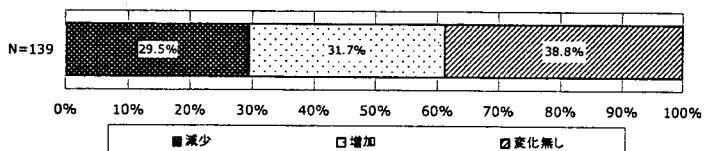


・入院患者延べ数変化 (図表 5-9)

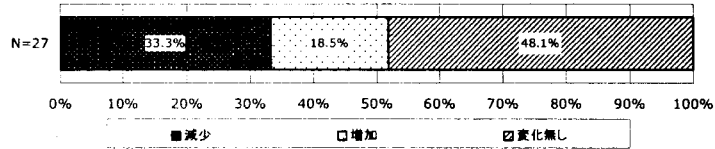
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>



○ 外来患者実人数・病院からの紹介患者数 (図表 5-10)

	全体 (N=142)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=119)	届出あり (N=21)
外来患者数	778.9 人	798.7 人	630.0 人
病院からの紹介患者数	5.1 人	5.2 人	4.3 人

○ 新規入院患者数・病院からの転院患者、他診療所からの紹介患者 (図表 5-11)

	全体 (N=84)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=67)	届出あり (N=16)
新規入院患者数	13.5 人	14.2 人	8.1 人
病院からの転院患者	0.6 人	0.6 人	0.6 人
三次、二次救急病院	0.3 人	0.2 人	0.6 人
亜急性期病室を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
回復期リハビリ病棟を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
療養病床を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
他診療所紹介患者	0.8 人	1.0 人	0.1 人

○ 退院患者数・他院へ転院した患者など (図表 5-12)

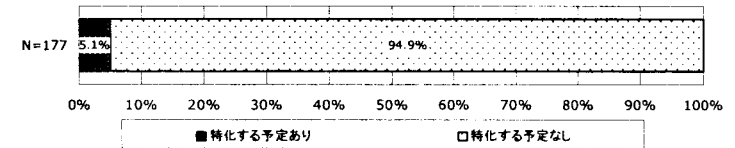
	全体 (N=85)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=65)	届出あり (N=19)
退院患者数	11.8 人	12.1 人	8.7 人
他院へ転院	0.5 人	0.4 人	0.6 人
自院の外来	8.1 人	7.9 人	6.6 人
他診療所の外来	0.5 人	0.6 人	0.1 人
死亡退院	0.1 人	0.1 人	0.1 人

○ 紹介・逆紹介の実績がある保険医療機関数 (図表 5-13)

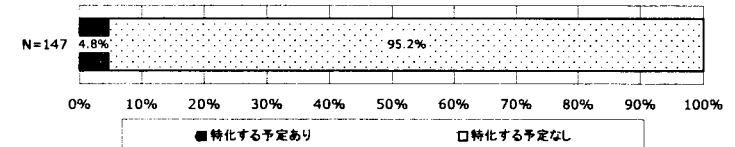
	全体 (N=68)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=52)	届出あり (N=15)
病院	5.4 施設	5.8 施設	3.5 施設
三次、二次救急病院	2.7 施設	3.0 施設	1.8 施設
亜急性期病室を有する病院	0.8 施設	0.8 施設	0.7 施設
回復期リハビリ病棟を有する病院	0.6 施設	0.5 施設	0.7 施設
療養病床を有する病院	0.7 施設	0.8 施設	0.5 施設
一般診療所	6.2 施設	6.6 施設	5.1 施設

○ 医療機能に係る今後の方針 (図表 5-14)

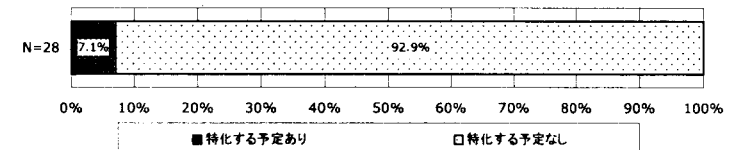
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>



○ 他の医療機関との連携に関する意向（図表 5-15）

	全体 (N=188)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=153)	届出あり (N=30)
増やしたい	20.7%	19.6%	26.7%
急性期医療機能	94.6%	92.9%	100.0%
亜急性期医療機能	64.9%	57.1%	87.5%
回復期リハビリ機能	51.4%	42.9%	75.0%
療養機能	67.6%	64.3%	75.0%
減らしたい	0.5%	0.7%	0.0%
現状のままでよい	78.7%	79.7%	73.3%